

大阪府茨木市

## 平成19年度発掘調査概報

平成20年3月



茨木市教育委員会

平成19年度発掘調査概報 正誤表  
訂正項目が2ヶ所ありましたので、ご確認願います。

100ページ	誤 第64図 <u>郡遺跡(KC07-1)</u> 調査区配置図
	正 第64図 上中条遺跡 調査区配置図
100ページ	誤 第65図 <u>郡遺跡(KC07-1)</u> 調査区平面図
	正 第65図 上中条遺跡 調査区平面図



東奈良遺跡(HN06-3) A トレンチ第2面完掘状況全景1 南西から



東奈良遺跡(HN06-3) A トレンチ第2面完掘状況全景2 北西から



東奈良遺跡(HN06-3) B トレンチ第2面検出状況全景 南西から



東奈良遺跡(HN06-3) B トレンチ第2面完掘状況全景 東から

## はじめに

私たちが暮らしているこの茨木は、姥の坂山地のある北部の山並みと、南部を流れる豊かな水源の淀川に囲まれた三島平野の中心部に位置し、温暖な気候と豊かな自然に恵まれた過ごしやすい環境の土地として、はるか昔から、多くの人たちが生活してきました。そうした人びとの生活は風習として現在に伝えられ、また人びとの生活した足跡は、土に埋もれた文化財として今に残されてきました。

このような先人たちの生活や文化は、現代の私たちの生活の基となるものであり、また、土の中で残された遺構や遺物は、過去の人びとの生活を知る手がかりとなる貴重な文化遺産として、次代に残し伝えていくべきものであります。

しかし、社会情勢、経済の発展や昨今の生活様式の変化などにより、茨木市内においても住宅開発を始め、様々な開発が計画され、事業が進められています。こうしたことにより、私たちの生活は便利になってきていますが、反面、人々の関係は希薄になりつつあり、また後世に伝えるべき先人達からの貴重な文化財を現状のまま残すことが困難になっています。

そのため、文化財を記録として保存し、また出土した遺物や遺構などの資料から古代の人々の生活像を捉るために、開発者の方々のご協力をえて開発に先立ち、発掘調査を実施し、文化財の記録保存に努めております。

平成18~19年度はおもに東奈良遺跡、上中条遺跡、宿久庄遺跡、郡遺跡、総持寺遺跡などの調査を実施し、本冊子はそのうち平成18年12月から平成19年11月に実施した発掘調査について概略を述べたものです。いずれの調査地からも先人達の生活を知る上で貴重な遺物、遺構が出土しており、今後の研究が期待されます。

終わりになりましたが、調査にあたって惜しみのないご協力をいただきました関係の皆様に深く感謝するとともに、今後とも本市の埋蔵文化財の保存・保護に一層の温かいご理解とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

平成20年3月31日

茨木市教育委員会  
教育長 八木 章治

# 目 次

はじめに

## 例 言

茨木市内遺跡分布図

平成19年度埋蔵文化財発掘調査一覧表

1. 穂積廃寺跡(上穂積二丁目1201)京阪不動産㈱	1
2. 宿久庄遺跡(豊原124)アバ建設㈱	5
3. 東奈良遺跡(若草町375,377)東急不動産㈱	14
4. 総持寺遺跡(総持寺一丁目380-3,他)近鉄不動産㈱	79
5. 郡遺跡(上穂積四丁目1-37)伊藤忠都市開発㈱	97
6. 上中条遺跡(駅前四丁目7-83)東急不動産㈱	99
7. 東奈良遺跡(若草町279-1,3,295)(㈱)ニッケイ	101
8. 東奈良遺跡(小川町967-2)住友不動産㈱	105
9. 東奈良遺跡(天王一丁目220)中井 壽子	115

- 1 この概報は、茨木市教育委員会が平成19年度に実施した発掘調査事業報告です。
- 2 本書に使用した地図は「茨木市地域計画図－1／2,500」です。
- 3 本書は各調査担当者が執筆を行ない、編集は主査 川井 いゆ子が行なった。  
整理作業は高橋公子・堀沢照美・下口法子・和田恵津子・高瀬隆治、実測 西坂泰子、  
遺物トレース 菅原麻里、遺構トレース 辻本祐布子が担当した。

## 平成19年度 埋蔵文化財発掘調査事業の概要

### 1. 平成19年度発掘調査事業

茨木市における平成19年度の発掘件数は8件で、うち2件が専用住宅における部分発掘調査で、埋蔵文化財確認試掘・立会調査件数は199件ありました。発掘調査原因は、すべて民間事業で公共事業ではなく、殆どが共同住宅建設工事でした。

発掘調査件数は前年に比べてやや減少傾向にありますが、確認試掘・立会調査件数は30件ほど増加しています。また、今年度も民間企業の土地の売却が進み、交通の利便性や公共施設の充実等からか、ここ数年大規模な共同住宅の開発が顕著に見られ、建設があちこちで行われるようになってきました。

### 2. 平成19年度発掘調査における主要な調査の概要

平成19年度において茨木市教育委員会が実施した発掘調査のなかで、特徴のある調査は東奈良遺跡の調査があげられます。

東奈良遺跡では毎年3～4件の発掘調査が実施されていますが、今年度は規模は小さいながらこれまで調査事例の少なかった阪急京都線南茨木駅北側の若草町・天王地区での発掘調査が増加しています。昨年度末に実施された発掘調査では弥生時代中期の集落をめぐる環濠が4条並行して検出されたほか、1世紀後半の破鏡（方両規矩鏡・漢鏡）が出土した弥生時代後期～古墳時代前期初頭頃の大溝の続きが検出されています。また、その環濠の外側には墓域がひろがり方形周溝墓群も検出され東奈良遺跡の全容が徐々に明らかになりつつあります。

前述した昨年度の調査区北西に隣接した場所では、弥生時代中期の環濠1条、方形周溝墓2基、土坑墓1基などが検出されています。特に集落をめぐる環濠がさらに1条増えたことで、昨年度の調査で判明した集落規模がさらに広がりをみせる結果となりました。また、同様に南茨木駅の北西では、5世紀～6世紀にかけての古墳（方墳）が確認されており、周辺では東奈良遺跡の北に隣接する中条小学校遺跡の新中条町や岩倉町・奈良町で、ここ数年古墳（円・方墳）が相次いで発見されていることなどから、この地域を中心とした古墳群の存在があげられます。さらに、古代（飛鳥時代～平安時代）の建物等も検出されていることからも、東奈良を中心とする地域では弥生時代から古代に至るまで茨木市内における重要な位置を占めていたことがあらためてわかる調査となりました。

## 用語等

S B : 建物跡・掘立柱建物跡  
 S C : 柱列群  
 S R : 流路

S E : 井戸  
 S K : 土塙

S X : 落込み・不定形土塙  
 S D : 溝・雨落溝

島内第I・II・III・IV・V様式：縦内から出土する弥生土器を基準とした土器区分で、機種構成やプロポーション（土器の形態）で、おおよそ5つに分けられI様式が弥生時代前期、II～IV様式が弥生時代中期、V様式が弥生時代後期の年代観が与えられている。

**庄内式併行期：**豊中市庄内遺跡から出土した土器を基準とした時代区分で、おおよそ弥生時代後期末から古墳時代前期初頭にあたる。

## 図版目次

第1図 穂積廢寺跡 調査地位置図	P. 1	第40図 東奈良遺跡 (HN06-3) 発掘写真 (6)	P. 73
第2図 穂積廢寺跡 調査区全体図	P. 3	第41図 東奈良遺跡 (HN06-3) 発掘写真 (7)	P. 74
第3図 穂積廢寺跡 発掘写真	P. 4	第42図 東奈良遺跡 (HN06-3) 発掘写真 (8)	P. 75
第4図 宿久庄遺跡 調査地位置図	P. 5	第43図 東奈良遺跡 (HN06-3) 発掘写真 (9)	P. 76
第5図 宿久庄遺跡 第1面平面図	P. 7・8	第44図 東奈良遺跡 (HN06-3) 発掘写真 (10)	P. 77
第6図 宿久庄遺跡 第2面平・断面図	P. 9・10	第45図 東奈良遺跡 (HN06-3) 発掘写真 (11)	P. 78
第7図 宿久庄遺跡 発掘写真 (1)	P. 12	第46図 總持寺遺跡 調査地位置図	P. 79
第8図 宿久庄遺跡 発掘写真 (2)	P. 13	第47図 總持寺遺跡 第1面調査区全体図	P. 82
第9図 東奈良遺跡 (HN06-3) 調査地位置図	P. 14	第48図 總持寺遺跡 第2面調査区全体図	P. 83
第10図 東奈良遺跡 (HN06-3) 環濠概略図	P. 15	第49図 總持寺遺跡 第3面調査区全体図	P. 85
第11図 東奈良遺跡 (HN06-3) 調査区全体図	P. 19・20	第50図 總持寺遺跡 第4面調査区全体図	P. 86
第12図 東奈良遺跡 Aトレンチ平・断面図	P. 23・24	第51図 總持寺遺跡 出土遺物 (1)	P. 87
第13図 東奈良遺跡 Aトレンチ遺構断面図	P. 25	第52図 總持寺遺跡 出土遺物 (2)	P. 88
第14図 東奈良遺跡 Aトレンチ第3面平面図	P. 26	第53図 總持寺遺跡 出土遺物 (3)	P. 89
第15図 東奈良遺跡 B・Cトレンチ第1面平面図	P. 28	第54図 總持寺遺跡 発掘写真 (1)	P. 91
第16図 東奈良遺跡 B・Cトレンチ第2面平・断面図	P. 29・30	第55図 總持寺遺跡 発掘写真 (2)	P. 92
第17図 東奈良遺跡 B・Cトレンチ第3面平面図	P. 33	第56図 總持寺遺跡 発掘写真 (3)	P. 93
第18図 東奈良遺跡 Dトレンチ平・断面図	P. 34	第57図 總持寺遺跡 発掘写真 (4)	P. 94
第19図 東奈良遺跡 BSD-4遺物出土状況図	P. 35	第58図 總持寺遺跡 発掘写真 (5)	P. 95
第20図 東奈良遺跡 BSD-6ほか遺物出土状況図	P. 36	第59図 總持寺遺跡 発掘写真 (6)	P. 96
第21図 東奈良遺跡 BSD-7遺物出土状況図	P. 37	第60図 郡遺跡 調査地位置図	P. 97
第22図 東奈良遺跡 (HN06-3) 出土遺物 (1)	P. 42	第61図 郡遺跡 調査区全体図	P. 98
第23図 東奈良遺跡 (HN06-3) 出土遺物 (2)	P. 43	第62図 郡遺跡 発掘写真	P. 98
第24図 東奈良遺跡 (HN06-3) 出土遺物 (3)	P. 44	第63図 上中条遺跡 調査地位置図	P. 99
第25図 東奈良遺跡 (HN06-3) 出土遺物 (4)	P. 45	第64図 上中条遺跡 調査区配置図	P. 100
第26図 東奈良遺跡 (HN06-3) 出土遺物 (5)	P. 46	第65図 上中条遺跡 調査区全体図	P. 100
第27図 東奈良遺跡 (HN06-3) 出土遺物 (6)	P. 47	第66図 東奈良遺跡 (HN07-1) 調査地位置図	P. 101
第28図 東奈良遺跡 (HN06-3) 出土遺物 (7)	P. 48	第67図 東奈良遺跡 (HN07-1) 遺構平面図	P. 103
第29図 東奈良遺跡 (HN06-3) 出土遺物 (8)	P. 49	第68図 東奈良遺跡 (HN07-1) 発掘写真	P. 104
第30図 東奈良遺跡 (HN06-3) 出土遺物 (9)	P. 50	第69図 東奈良遺跡 (HN07-2) 調査地位置図	P. 105
第31図 東奈良遺跡 (HN06-3) 出土遺物 (10)	P. 51	第70図 東奈良遺跡 (HN07-2) 調査区全体図	P. 107
第32図 東奈良遺跡 (HN06-3) 出土遺物 (11)	P. 52	第71図 東奈良遺跡 (HN07-2) 第2面全体図	P. 108
第33図 東奈良遺跡 (HN06-3) 出土遺物 (12)	P. 53	第72図 東奈良遺跡 (HN07-2) 出土遺物	P. 110
第34図 東奈良遺跡 (HN06-3) 土地利用想定図	P. 54	第73図 東奈良遺跡 (HN07-2) 発掘写真 (1)	P. 111
第35図 東奈良遺跡 (HN06-3) 発掘写真 (1)	P. 68	第74図 東奈良遺跡 (HN07-2) 発掘写真 (2)	P. 112
第36図 東奈良遺跡 (HN06-3) 発掘写真 (2)	P. 69	第75図 東奈良遺跡 (HN07-2) 発掘写真 (3)	P. 113
第37図 東奈良遺跡 (HN06-3) 発掘写真 (3)	P. 70	第76図 東奈良遺跡 (HN07-2) 発掘写真 (4)	P. 114
第38図 東奈良遺跡 (HN06-3) 発掘写真 (4)	P. 71	第77図 東奈良遺跡 (HN07-3) 調査地位置図	P. 115
第39図 東奈良遺跡 (HN06-3) 発掘写真 (5)	P. 72	第78図 東奈良遺跡 (HN07-3) 平面図・写真	P. 116



平成19年度 埋蔵文化財発掘調査一覧表

No.	遺跡名	調査担当	調査位置	調査期間	調査面積	調査内容	調査原因
1	慈祐庵寺跡 (HZ06-1)	中東	上梗積二丁目1201	H18.12.15～ H19.2.2	1,077m <sup>2</sup>	奈良時代・平安時代～中世 平安時代中期の掘立柱建物跡 溝・土塀・柱穴	マンション 新築工事
2	宿久庄遺跡 (SH06-1)	宮本	豊原124	H18.12.18～ H19.2.1	660m <sup>2</sup>	弥生時代～古墳時代(第2面) 溝・上塁・柱穴 平安時代～室町時代(第1面) 駿六住居跡・掘立柱建物跡・ 井戸・柱穴・土塀・溝	マンション 新築工事
3	東奈良遺跡 (HN06-3)	黒須	若草町375,377	H19.1.5～ H19.3.31	1,033m <sup>2</sup>	弥生時代・古墳時代 奈良時代・鎌倉時代 弥生時代中期の環濠4条とそ の外側に方形周溝墓群 弥生時代後期～古墳時代前期 初頭の大溝や円形周溝	マンション 新築工事
4	總持寺遺跡 (SJ06-2)	黒須	總持寺一丁目380-3	H19.1.16～ H19.2.9	203m <sup>2</sup>	縄文時代・弥生時代・古墳時 代・古代(飛鳥～平安時代)・ 中世 弥生時代～中世まで 生活面4面 弥生時代の溝群 古墳時代の大溝 古代～中世の 掘立柱建物跡 柱穴 土塀	マンション 新築工事
5	郡遺跡 (KH06-1)	宮脇	上梗積四丁目1-37	H18.12.13～ H19.2.2	498m <sup>2</sup>	飛鳥時代・奈良時代 2間×2間の掘立柱建物跡1棟 土塀 溝	共同住宅
6	上中条遺跡 (KC07-1)	宮脇	駅前四丁目7-83	H19.8.21～ H19.10.9	545m <sup>2</sup>	古墳時代 溝・柱穴	共同住宅
7	東奈良遺跡 (HN07-1)	中東	若草町279-1,3 295	H19.10.15～ H19.11.15	240m <sup>2</sup>	弥生時代・古墳時代 平安時代 弥生時代中期の環濠1条 方形周溝墓2基 土塀墓1基 溝・上塁・柱穴 平安時代の溝・土塀 ピット	マンション 新築工事
8	東奈良遺跡 (HN07-2)	黒須	小川町967-2	H19.10.29～ H19.12.1	480m <sup>2</sup>	弥生時代・古墳時代 鎌倉時代 古墳時代中期の溝3条 柱穴 上塁 鎌倉時代の柱穴群	マンション 新築工事
9	東奈良遺跡 (HN07-3)	中東	大王一丁目220	H19.11.12～ H19.12.14	333m <sup>2</sup>	古墳時代後期 中世 古墳(方墳)1基	マンション 新築工事
10	宿久庄遺跡 (SH07-1)	宮本	藤の里二丁目 485-1・495-1	H19.11.8～ H20.1.23	1,140m <sup>2</sup>	古墳時代・飛鳥時代 奈良時代・平安時代 中世～近世 井戸・土塀 溝・柱穴 ピット	工場建設 工事
11	總持寺遺跡 (SJ07-1)	黒須	庄一丁目347-1	H19.12.10～ H20.7.23(予定)	6,750m <sup>2</sup>	発掘調査中	マンション 新築工事

No.10～11についての報告は「平成20年度発掘調査概報」にて掲載します。

## 穂積廃寺跡

所在地 茨木市上穂積二丁目1201番地

調査原因 マンション新築工事

調査期間 平成18年12月15日～平成19年2月2日

調査面積 1077m<sup>2</sup>

調査担当 中東 正之

### 調査結果

経過 穂積廃寺跡は、7世紀後半から8世紀頃にかけて有力氏族であった穂積氏によって創建され、中世期まで存続したとされる寺院遺跡である。

推定地は、現在の上穂積の集落の西方、春日神社の位置する丘陵の裾部から集落にかけての田畠が広がる地区である。当地区には、かつての寺域を思われる「千現寺」という字名が含まれており、以前から古代瓦の散布が確認されていた。推定地内では、昭和56年の最初の調査からこれまでに6カ所以上の発掘調査が実施され、蓮華文端丸瓦や重弧文端平瓦をはじめとする7世紀後半の古代瓦や、火災痕のある12～13世紀頃の瓦などが出土している。建物の遺構も多数検出されているが、礎石建物などの伽藍遺構は、いまだ確認されていない。本調査地は穂積廃寺跡推定地の東辺に位置し、一部は弥生時代中期から中世の複合遺跡である郡遺跡にもまたがっている。調査は、マンション住戸部分の南北で反転したため、南側を第1調査区、機械式駐車場部分を含めた北側を第2調査区とした。

遺構と遺物 調査地は、西方の千里丘陵端部からなだらかに下る段丘上に立地する水田面であった。第1調査区西側では、耕土を除去すると即ち山層となっており、その標高は約18.2mを測る。第1調査区東側に至ると、地山面は東西で0.1m、南西から北東にかけては0.2mほど自然地形に従って下っており、漸次耕作関連土や中世包含層の堆積が加わって第2調査区東側に連なる。第2調査区は、東側・中央・西側の3カ所に分かれる。いずれも基本層序がほぼ普遍的に堆積していたが、その地山面は平坦で標高約18.0mと一段低い。基本層序は、上層より暗灰色シルト(耕土10～25cm)、橙色シルト(床土3～5cm)、黄灰色砂質土(旧耕土5～30cm)、黄橙色粘質土(旧床土3～10cm)、褐灰色粘質土(中世包含層3～15cm)、明黄褐色粘質土(地山層、遺構検出面)となる。各調査区とも地山層上面で古代から中・近世の遺構を検出した。遺構からの遺物出土が少ないうえ、柱穴などでは形態や埋土に明瞭な差異が認められないことから、時期比定は困難であった。主要時期とみられるのは奈良時代から平安時代中頃であるが、同時期の包含層はすべて削平されていた。以下、主要な遺構について概説する。

第1調査区では奈良時代から平安時代中期の掘立柱建物、溝、土塙、柱穴・ピット、中世の溝、土塙、柱穴などを検出した。とくに微高となる西側で多数の柱穴を検出している。多くの柱穴に規則性が認められたが、柱穴が密集していることと時期比定の難しさから、建物としてまとまりを把握したのは奈良時代と思われるSB-1・2のみであった。SB-1は、梁間2間×桁行3間に南北が付くと判断されるが、総柱建物の可能性もある。調査区と丁度一致する棟方向は、真北方向から東へ12°傾く。SB-2は、東西4間、南北6間で間隔が狭く不揃いであることから、梁間2間×桁行3間に補強柱を配したものと判断される。棟方向は、SB-1よりもすこし東へ傾く。SD-3は、



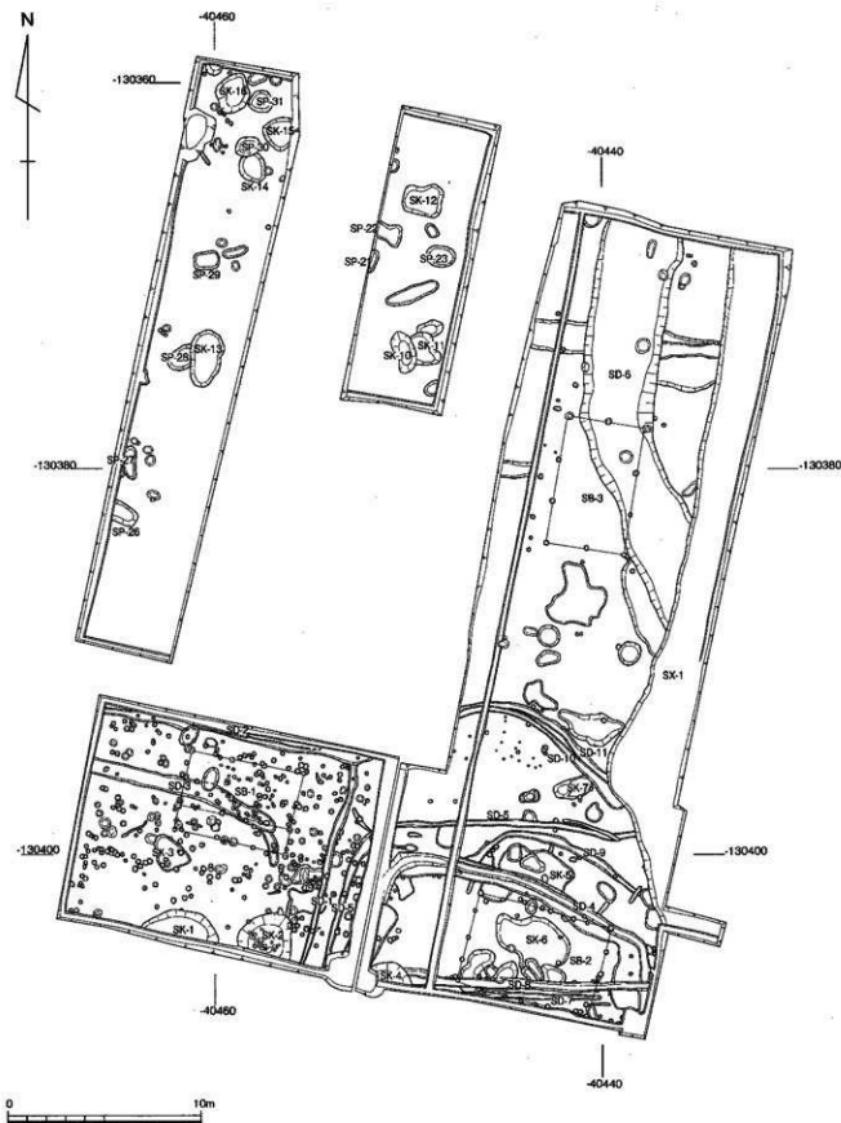
第1図 位置図

幅0.8~1m、深さ0.1m程度の東西溝である。SB-1を構成する柱穴を切って終わっており、埋土は暗褐色粘土である。SD-4は幅0.4~0.8m、深さ0.2~0.3mのコの字状に屈曲する溝で、その内法肩部は幅1~1.5mまで浅く広げられている。SB-2の柱穴を切る北辺は約14mにわたるが、その全容は調査区外に至るために不明である。広げられた上層には、下層と同一の暗褐色粘土に地山ブロックが混入する。SD-1・2・5・7~11は、幅0.2~0.5m、深さ0.05~0.1m、いずれも溝底は平坦で、中世包含層と通有する褐灰色土が堆積する。おもに中世の耕作関連溝と思われるが、東西で方向性に違いがある。調査区南壁断面で検出した土塙SK-1・2・4は、いずれも3m以上の最大径を測る不整円形で、深さ0.5m程度の船底型を呈する。埋土は砂を含んだ4層以上のレンズ状堆積で、瓦や中世土器などが出土した。SK-2では底部に拳~人頭大の石が認められており、いわゆる井戸上部土塙の特徴を示すが、井戸は確認されなかった。また、第1調査区東側から第2調査区東側にかけてSK-3、5~7など不整円形や不定形の土塙が並ぶ。埋土の暗褐色粘土には上層から擾乱された痕跡がみられるが、時期や用途は不明である。

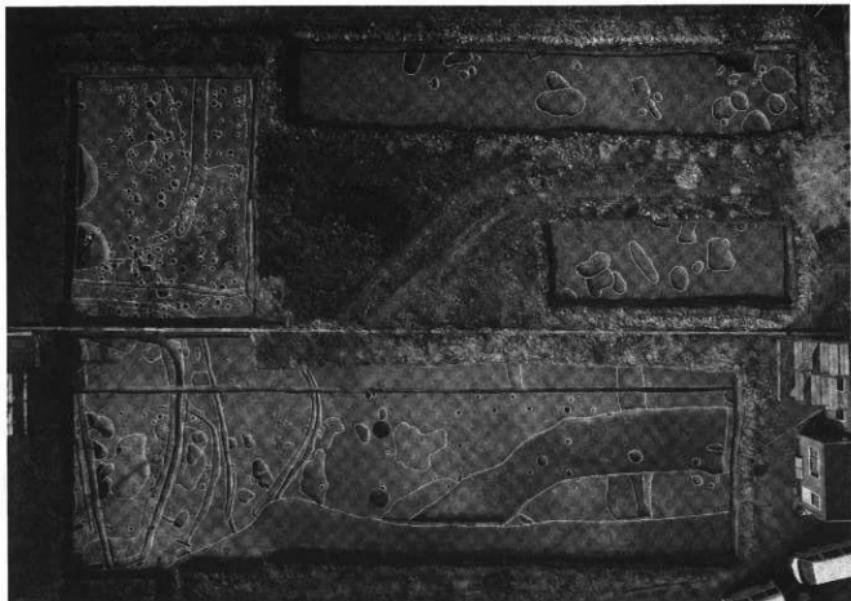
第2調査区では遺構数が減少する。第2調査区東側のSD-6は、幅3~4m、深さ0.25~0.45mで、北から南へ流れる流路である。長さ約20mを検出したが、SX-1に切られており詳細は不明である。埋土は6層に分かれ、その堆積状況から開削時期は不明であるが、後年規模を減じながらも流路としての機能は維持し、完全に埋没するのは11世紀頃であったと判断される。SD-6埋没後に成立したSB-3は、梁間2間×桁行3間の南北建物である。棟方向は真北方向から東へ10°傾く。第2調査区中央と西側では、土塙・ピットがやや密集して不規則に並ぶ。SK-10~16は円形もしくは不整円形で、1~3mの最大径ながらも深さは0.3m程度のものが多い。埋土は、いずれも古代包含層と通有する暗褐色粘土に地山ブロックや炭化物が混入するが、土器等の遺物はまったく出土しなかった。SP-21では、8世紀の須恵器の壺が出土している。調査区外に至るために形状は不明であるが、径1.2m、深さ0.2mで、埋土は暗褐色粘土に地山ブロックが混入する。SX-1は、第1調査区から第2調査区の東壁に沿って検出された落ち込みである。深さ0.15~0.2mと浅い底部は、疊混じりの堅い自然堆積層に達しておりほぼ平坦である。埋土は底部に至るまで耕作関連土である。水田等に伴う段状地形であると思われるが、畦等は残っておらず、その詳細は不明である。

遺物の総量は、コンテナパッド2箱のみと面積に比して少量であり、そのほとんどが瓦の破片であった。穗積廃寺所用の7世紀後半および12~13世紀の平瓦と丸瓦とみられるが、軒瓦等の文様のある瓦は出土しなかった。7世紀後半の平瓦には斜格子状の打痕が確認できる。12~13世紀の瓦については、これまでの調査で火災痕跡のあるものが出土しているが、同様のものは確認できなかった。瓦は中世包含層(整地層)のほか、第1調査区を中心に溝や土塙からも出土した。集積的に出土することはなく、一部は整地の際に混入した感がある。柱穴に伴うものとして、根石の代わりとされているものもあった。その他の遺物はおもに土器類で、弥生土器、奈良時代から平安時代中頃の土師器、須恵器、黒色土器、中・近世土器などがある。ほとんどが細片で、寺院に関連するとされるものは出土しなかった。

**小 結** 本調査地は、すくなくとも寺域の東側に近接しており、検出遺構の主要時期も穗積廃寺が存在した時期と重なるであろうことから、何らかの関連を持つことと考えられるが、遺構について、残存状況が良く寺域に近い第1調査区西側を精査しても、穗積廃寺と直接関連付けできる類のものは認められなかった。穗積廃寺に由来する証拠として瓦があるが、その出土状況からみて、多くが中世の土地改変に伴って穗積廃寺中心部から移動したものとも考えられる。調査区の南北における様相の違いは、緩やかな傾斜面として復元される旧地形を考慮して、耕作地化のための土地改変によるものと判断される。



第2図 穂積虎寺跡調査地平面図



穗積廃寺跡調査地垂直全景



第1調査区西半部(南東から俯瞰)



第1調査区東半部(南から俯瞰)



第2調査区東部(北から俯瞰)



第2調査区中央部および西部(北東から俯瞰)

### 第3図 穂積廃寺跡完掘状況

## 宿久庄遺跡

所在地 茨木市豊原町124

調査原因 マンション新築工事

調査期間 平成18年12月18日～平成19年2月1日

調査面積 660m<sup>2</sup>

調査担当 宮本 賢治

### 調査結果

経過 宿久庄遺跡は北摂山地を源流とする、勝尾寺川が河岸段丘を形成した扇状地と沖積低地上に立地している。遺跡の規模は、東西約0.5km、南北約0.3kmと東西方向に長く広がりを見せており、弥生時代中期から古墳時代、中世にかけて継続的に集落が営まれてきた複合遺跡である。

茨木市域は奈良時代の律令期の頃には摂津職島下郡に属しており、「新野」「宿人(久)」「安威」「穂積」の四つの郷が存在したといわれている。このうち、宿久庄遺跡は「宿人(久)」郷に属すると考えられている。なお「宿人(久)」の初源は、平安時代初期に著された『和名類聚抄』によってである。宿久庄遺跡における始めの調査では、昭和50年に府道茨木～能勢線の道路の拡幅工事によって発見され、大阪府教育委員会によって発掘調査が実施されている。その結果、弥生時代後期から古墳時代にかけての遺物・遺構が検出されている。その後、昭和60年以降は藤の里付近を中心に断続的に調査が行なわれている。周辺の既往の調査では、本調査区の南西約200mのところで平成11年度に大型店舗建設事業に伴う本発掘調査が行なわれている。調査の結果、中世前半を中心とする集落跡が検出されている。出土遺物は主に、13～14世紀頃の土師器皿が多く出土している。また、検出された主な遺構には、中世の掘立柱建物跡を8棟、宿久庄遺跡に多く見られる石積み遺構などが確認されている。この他の周辺の遺跡には、今回の調査区の北東400mのところには6世紀頃の築造とされる、大阪府史跡指定の海北塚古墳が存在する。この後期古墳からは、明治42(1909)年に石室の外の封土より金環や金銀鍍金製の勾玉、白銅獸帶鏡等の副葬品が発見されている。その後昭和10年の本格的な調査の結果、片袖式横穴式石室をもつ円墳である事が判明している。石室内からは太刀・槍身・鉄鎌等の武器類を始め、轡や杏葉・雲珠等の馬具類が副葬品として納められている。また、北方約600mのところには紫金山古墳や南塚古墳、西松塚古墳がそれぞれ点在する。宿久庄遺跡の西方には、宿久庄西遺跡が存在し、1998・1999年度に国際文化公園都市特定土地区画整理事業の一環であるモノレールの建設に伴い、大規模な発掘調査が行なわれている。この宿久庄西遺跡は、勝尾寺川を挟んだ南の丘陵地に立地する、奈良時代から中世にかけての遺構群が展開されているという。

今回の調査は、マンション建設に伴う事前の試掘調査を実施した結果、土器片を含む遺物包含層及び地山層に伴う遺構を検出した事から数度の協議を踏まえ、本発掘調査を実施するに至った。なお今回は、中世及び弥生時代を主とした遺構面を調査の対象とした。

### 基本層序

基本層序については、第1層～第7層に大別する事ができる。上層より順に、①現代の盛土層



第4図 位置図

(既存建物の基礎などの擾乱を含む。層厚、約2m50cm)、②旧耕土（層厚、約20cm）、③第1遺構面遺物包含層（オリーブ黄色粗砂S5Y6/4。層厚、約10~20cm）④第1遺構面遺物包含層（黒色砂質土SL5Y2/1。層厚、約10cm。1~5cm程の礫を多く含む）、⑤第2遺構面直上包含層（黄褐色粘質土SC5Y5/3。層厚、約30cm）、⑥第3遺構面遺物包含層（弥生~古墳時代遺物包含層。黄灰色砂質土SL2.5Y5/1に黄褐色砂粒S10YR5/8混じる。層厚約20~40cm）、⑦地山層（黄褐色粘質土HC10YR5/1）に分ける事ができる。

#### 検出遺構

第1遺構面では、主に中世の遺構面を調査の対象とした。主な遺構はピット状遺構128基、土塙遺構11基、溝状遺構6条、井戸遺構1基、竪穴住居跡2棟、掘立柱建物跡1棟を検出した。特に竪穴住居跡（SI-01）は、調査区外にかけて建物の範囲が広がるのであるが、南・西壁土層断面中において床面を検出した。この床面は、黄褐色粘質土（HC2.5Y3/2）と灰黄褐色砂質土（SL10YR4/2）がブロック状に混濁する様相がみられ、またこれらの混濁土と一緒に中世の土器片も一緒に含まれていた。この事から、建物を造る際に床面を整地したものと考えられる。この床面の中央よりやや南東付近において、炭化したと思われる焼土の痕跡を示す層を検出した。これは、住居内に備えられた炉跡だった可能性が考えられる。なお、西隣りの竪穴住居跡（SI-02）においては、北東隅の一部しか検出できなかった為、炉跡などの痕跡は確認できなかった。また、遺構面は調査区の西側から東側に向かって、緩やかな斜面となる。その比高差は、約1.2mを測る。

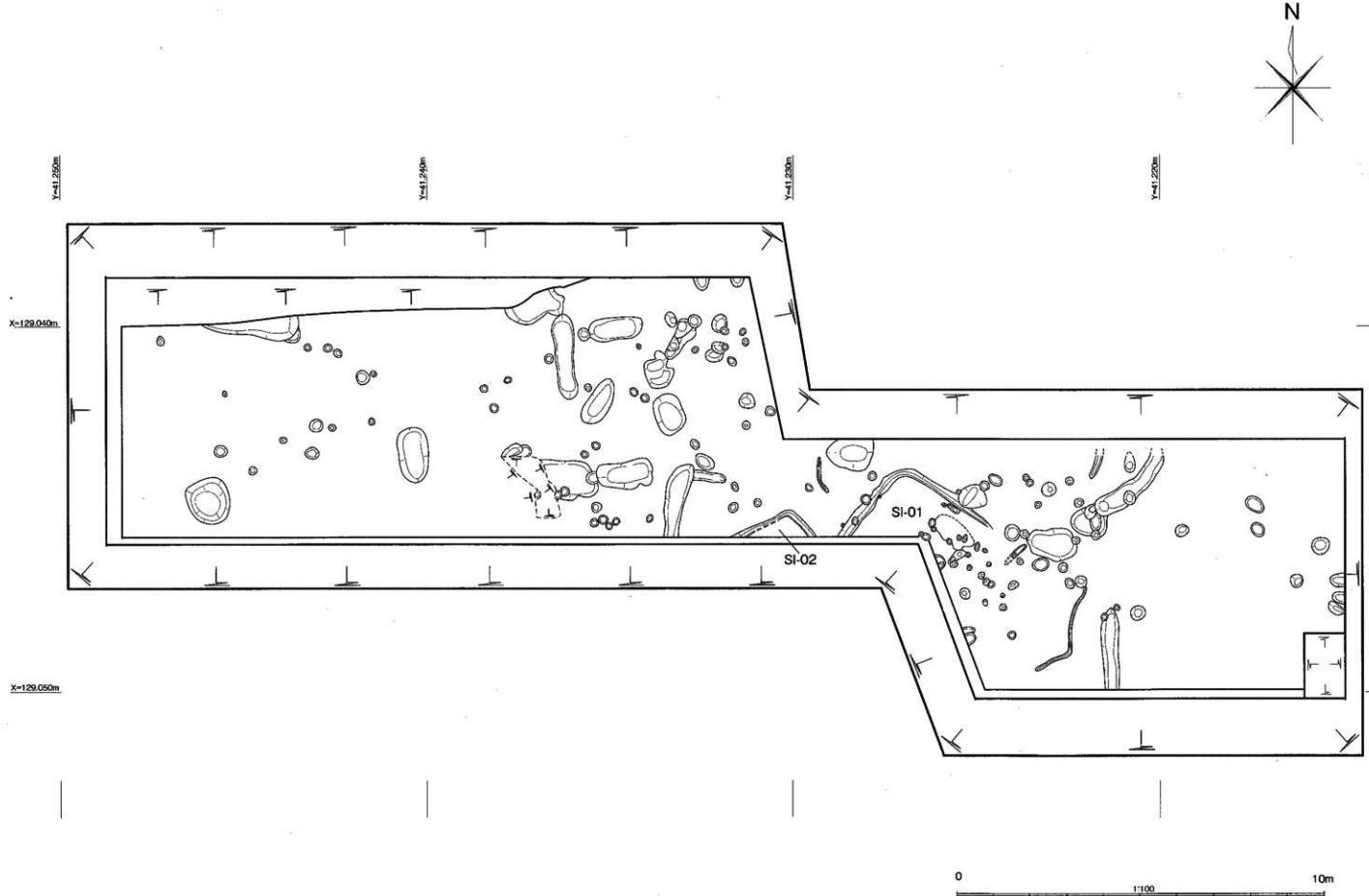
第2遺構面では、主に弥生時代の遺構面を調査の対象とした。主な遺構としてはピット状遺構83基、土塙遺構10基、溝状遺構8条を検出した。また、これらの遺構の他に旧河道を1条検出した。この旧河道は地形的な観点から、調査区の北東隅から南東隅にかけて走るものと考えられる。なお、第1遺構面同様、第2遺構面においても調査区の西側から東側に向かって、緩やかな斜面となる。その比高差は、約1.3mを測る。

#### 出土遺物

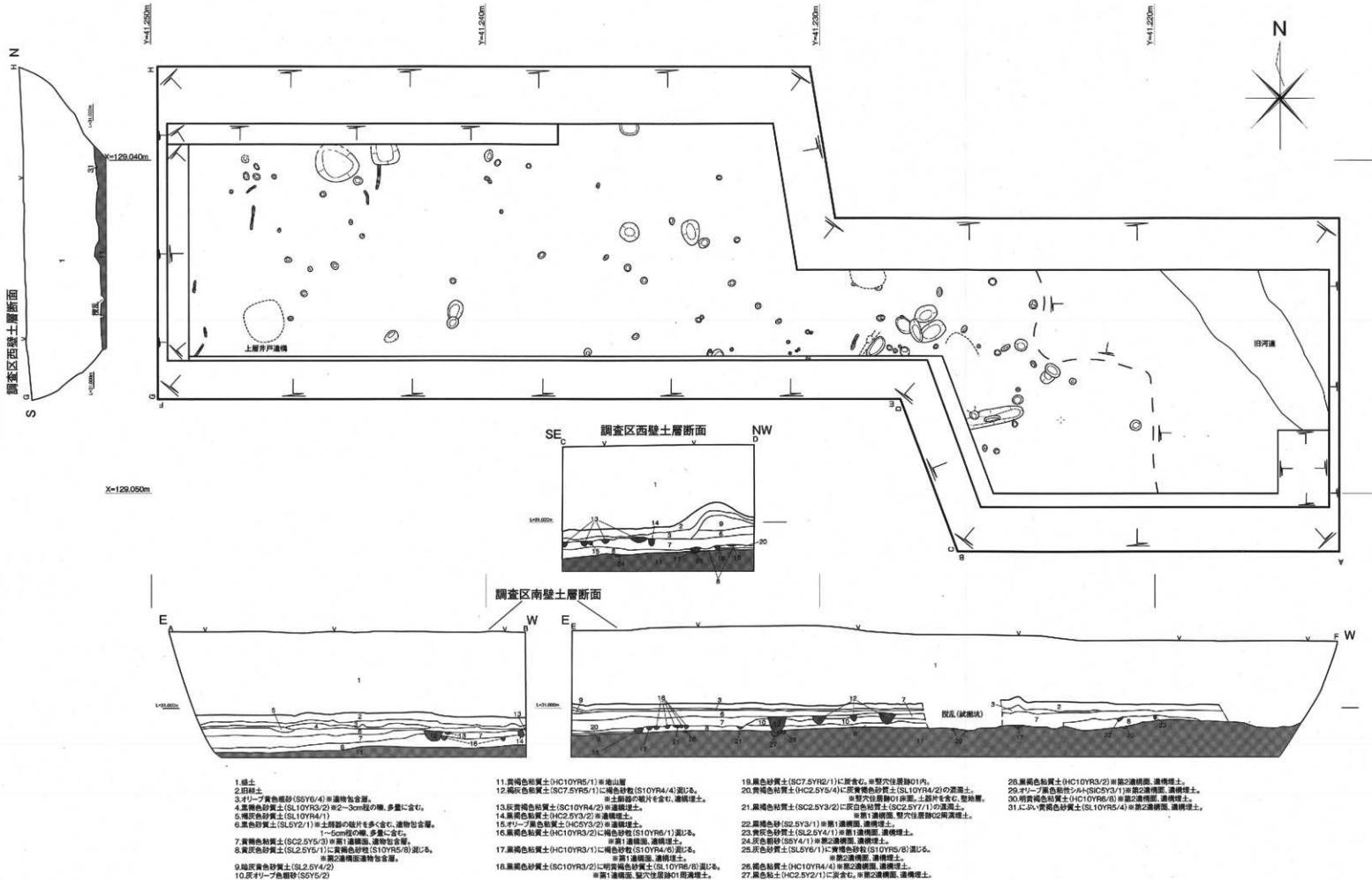
今回の調査において出土した遺物の量は、遺物収納用コンテナパッド（縦14cm×横36cm×奥行き56cm）に換算して4箱分である。そのほとんどは、第1遺構面より出土している。その種類と内訳は、第1遺構面である中世の土師器や陶磁器、瓦などが出土している。また、第2遺構面においては遺構面の直上包含層内ではあるが、弥生前期の「かめ」の口縁部の破片が数点出土した。この事から、この地において集落が弥生時代前期頃まで遡る可能性が出てきたのではないかと考えている。

#### まとめ

今回の調査では、主に中世と弥生時代の遺構面を調査した。第1遺構面では、調査区の西端附近において井戸遺構を、中央付近においては調査区の外側に広がる形で竪穴住居を2棟検出した。SI-01については約3/4、SI-02については約1/4の検出となっており、調査区外において遺構が切り合っているように見受けられる。この事から、建物の建て替えがあった事が考えられるが、全体の様相は判明できなかった。なお、調査区の西側から竪穴住居跡が検出された辺りまでは遺構が密に存在しているのに比べ、東側付近になるに従って遺構密度は希薄になる傾向がみられた。第2遺構面では調査区内において遺構密度に片寄りではなく、広く点在する傾向がみられた。ただし、第1遺構面でみられたような竪穴住居跡など、復元できるような柱穴列などは検出できなかった。但し、調査区の中央付近においては、土塙が5基密集するような形で検出されている。



第5図 宿久庄遺跡 第1造構面 遺構平面図



第6図 宿久庄遺跡第2遺構面(最終面) 遺構平面図及び西壁・南壁調査区土層断面図

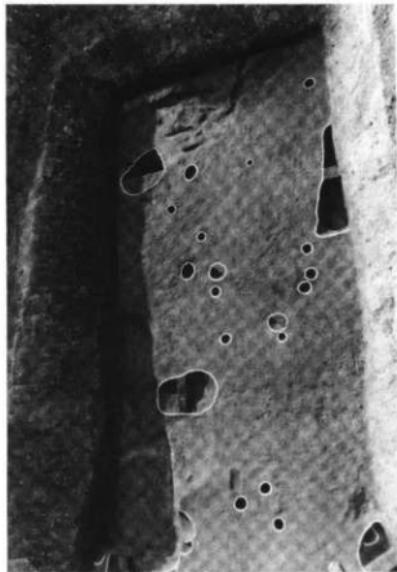
また、宿久庄遺跡の本発掘調査によってたびたび検出されている、勝尾寺川から採取された人頭大の川原石を積んだ石積み遺構については、今回の調査では確認できなかった。第1遺構面では約1.2mの、また、第2遺構面においては約1.3mの比高差がみられた。この事から、当時は緩やかな斜面地であった事が推測される。これらの斜面は、調査区南壁土層断面及び同西壁土層断面で、また調査区北壁土層断面においても、盛土直下の旧耕土を含めた層より下層においても、西側から東側において傾斜した様相がみられた。また、西壁土層断面中においては、旧耕土が一部褶曲しているのを確認した。これらの事から、弥生時代頃から旧耕作土がみられる近・現代頃まで緩やかな傾斜面において人々が生活していた事を伺わせる結果となった。

#### 参考文献

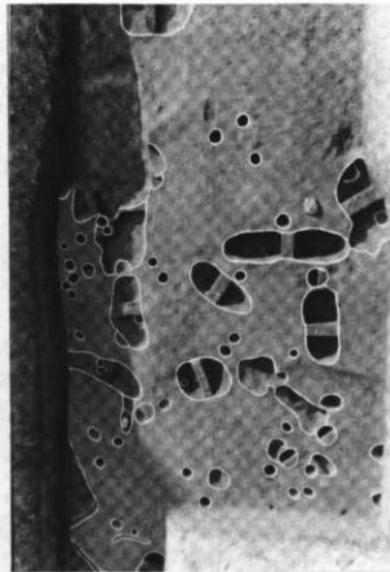
財団法人大阪府文化財センター『宿久庄西遺跡』平成12年2月

茨木市教育委員会『平成12年度発掘調査概報』平成13年3月

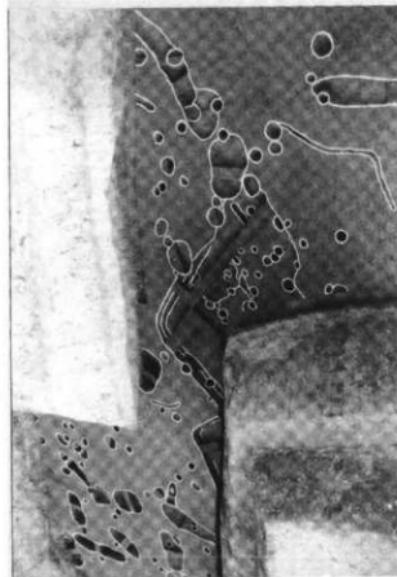
財団法人大阪府文化財センター『粟生間谷遺跡 古代・中世編』平成15年2月



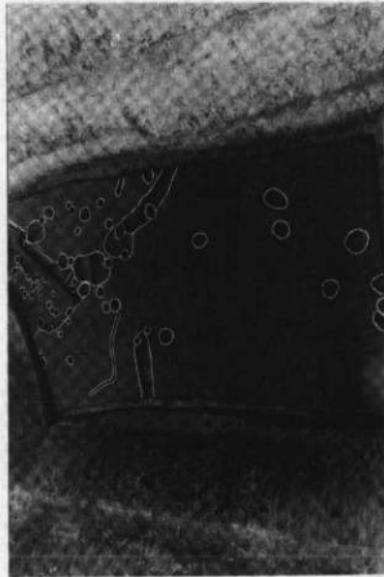
調査区西部 第1造構面完掘状況（北から）



調査区中央部 第1造構面完掘状況①（北から）

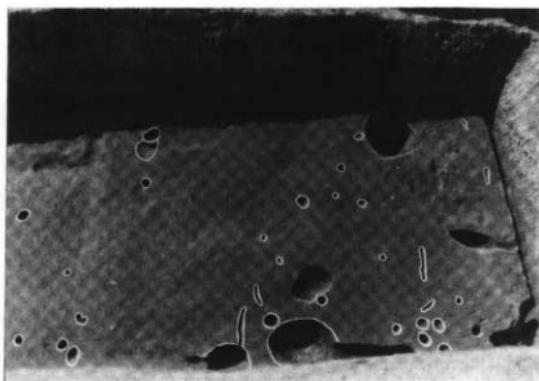


調査区中央部 第1造構面完掘状況②（北から）

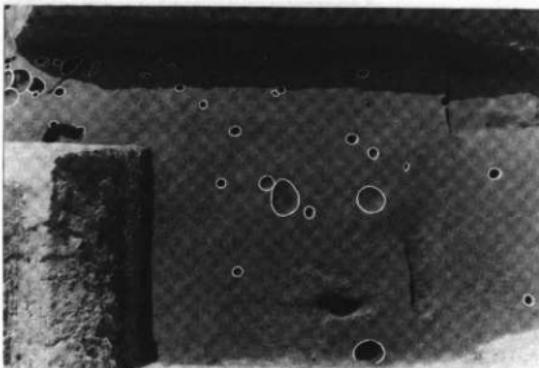


調査区東部 第1造構面完掘状況（東から）

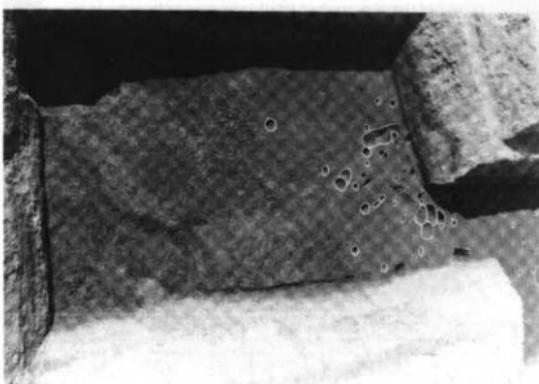
第7図 宿久庄遺跡 第1造構面完掘状況



調査区西部 第2(最終)遺構面完掘状況 (北から)



調査区中央部 第2(最終)遺構面完掘状況 (北から)



調査区東部 第2(最終)遺構面完掘状況 (北から)

第8図 宿久庄遺跡 第2(最終)遺構面完掘状況

## 東奈良遺跡

所在地 茨木市若草町

375.377

調査原因 マンション新築

調査期間 平成19年1月5日

～平成19年3月31日

調査面積 1033m<sup>2</sup>

調査担当 黒須 靖之

### 調査結果

aはじめに 東奈良遺跡は茨木市南部の標高6～8mの沖積平野上に位置し、地形的に北西から南東方向に向かって緩やかな傾きを持っている。約南北1.2km、東西1kmの遺跡範囲で弥生時代～中世にいたる複合遺跡で、特に弥生時代前期の北摺における拠点的集落として周知されている。東奈良遺跡からは遺跡発見段階から時を経ずに、重要文化財の銅鋸鑄型や鑄造関連遺物の出土があり、近年では小銅鋸や

破鏡等の歴史的意義深い遺物の出土が相次いでいる。近年、東奈良区画整理事業に伴う道路部分の発掘調査を皮切りに区画内の用地を中心に周辺の調査が増加しており、今回の調査も阪急南茨木駅北側の近畿道・中央環状線沿いのマンション開発に先立ち事前に発掘調査を実施したものである。

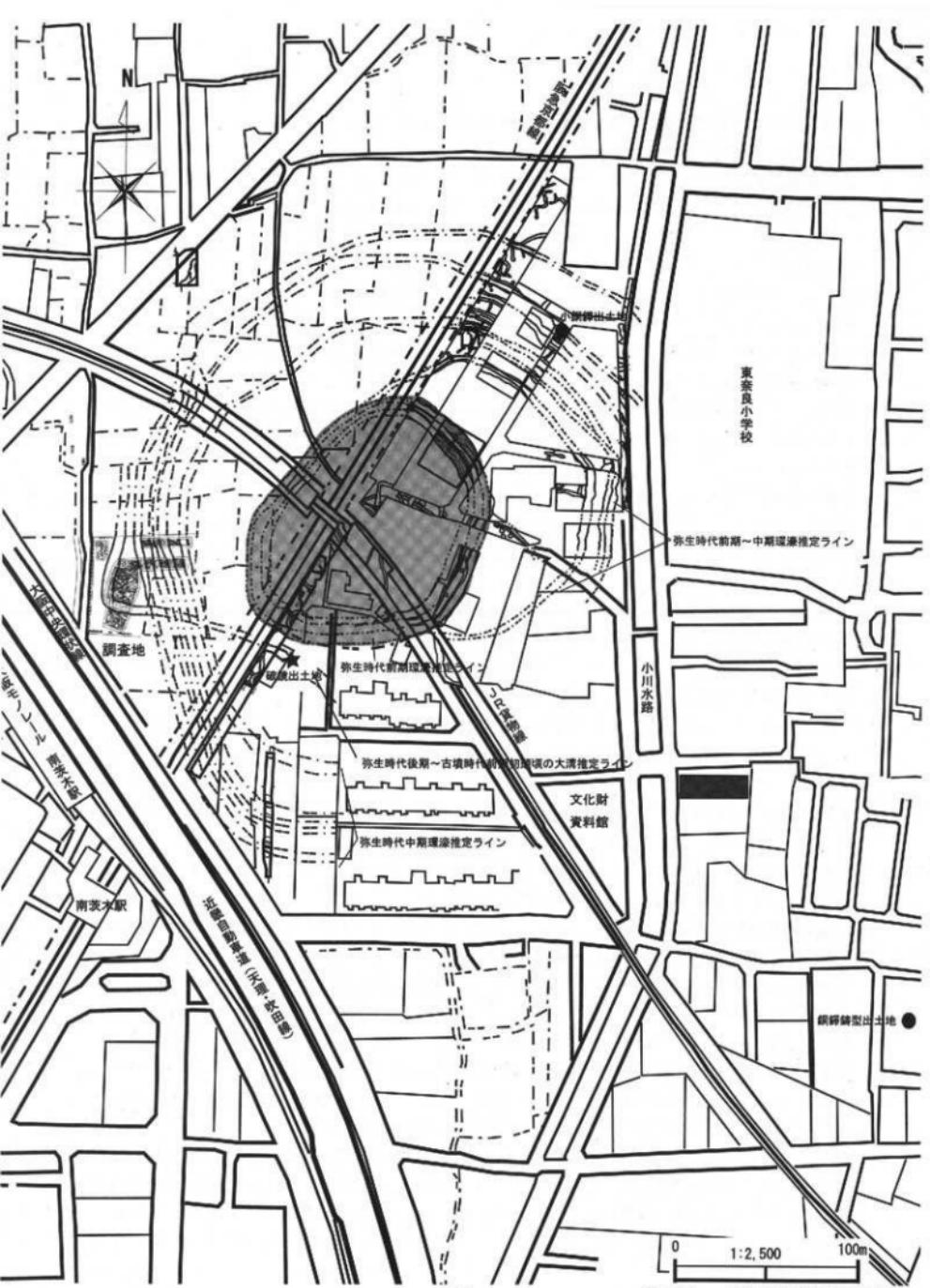
b周辺地域（第9図）東奈良遺跡の北側は中条小学校遺跡と重複しており、弥生時代中期～中世の複合遺跡として周知されている。東奈良遺跡と重複する地域では弥生時代後期～古墳時代前期初頭頃（庄内式併行期）の円形周溝・方形周溝・溝・土坑等の遺構が検出され、近年では古墳時代中期～後期の円墳や方墳がここ数年相次いで確認されているほか、古代（飛鳥～平安時代）の建物跡群も検出されている。

c調査概要（第10・11図）今回の調査では調査区がA～Dトレントの4ヵ所に分かれており、遺構面は都合3面確認されている。古墳時代後期・中世を主体とする第1面、弥生時代後期～古墳時代前期初頭頃を主体とする第2面、弥生時代前末～中期を主体とする第3面で遺構検出および精査を行った。3面とも確認されたのはB・Cトレント全域、Aトレントは2面（第1・2面は同一面にて検出）、Dトレントの大部分は1面（主に第3面）であった。

この遺構検出状況から推察すると、東に移動するほど地形が低くなってしまっており、遺物包含層の堆積も厚くなり、遺構が良好に残存していることを示すものと考えられる。逆にとらえれば西（北）



第9図 東奈良遺跡調査地位置図



に移動するほど地形は高くなり、遺構面が削平され遺物包含層の堆積も薄くなっていく状況を呈している。さらに、遺物の出土量からもそのことがうかがえる。A～Dトレントの地山検出面の標高を比較すると、A・Dトレントの西端は（T.P.）7.3m、B・Cトレントの東端は（T.P.）6.5mであることから比高差は0.8mで東に向かって緩い斜面を呈している。

遺構数はAトレントでは溝（S D）104条、土坑（S K）35基、落ち込み状遺構（S X）2基、竪穴住居跡（S A）1棟、柱穴（S P）569口、Bトレントでは溝51条、土坑44基、柱穴760口、Cトレントは溝52条、土坑30基、柱穴330口、Dトレントは溝10条、土坑7基、落ち込み状遺構2基、柱穴91口で、今回の調査区全体では溝（方形周溝墓や円形周溝を構成する溝を含む。）217条、土坑116基、落ち込み状遺構4基、竪穴住居跡1棟、柱穴1,750口を検出・精査している。

d 検出遺構（第12～18図） 検出された遺構は、古墳時代後期・中世を主体とする第1面では、Aトレントから調査区南側を北西—南東方向にとおるASD-4がある。ASD-4は中世溝で、埋土から上師器「て字状口縁」が出土している。また、調査区北側では南北方向にのびる耕作溝が多数みられ、B～Dトレントでは、ピットがみられる。古墳時代後期の遺構は、Aトレントからは鍛溝状のASD-14や真北方向の長楕円形の土坑ASK-16や不定形な落ち込み状のASX-2やピットがある。Bトレントでは南北方向の溝BSD1～3、Cトレントからは東西の溝CSD-1・2、BSD-1に繋がると推定されるCSD-3や土坑CSK-1などがある。このCSD-3からは須恵器蓋壺・高壺等（第33図）がまとまって出土した。

第2面ではAトレントから、L字に屈曲するASD-8（大溝）や不定形の落ち込み状のASX-1、円形周溝状のASD-11・16・19・32・33や竪穴住居跡のASA-1、柱穴、BトレントではBSD-11～13・15、BSK-3・8・11・12・17、大規模な廃棄土坑BSX-2がある。CトレントではCSD-13・15、円形周溝状の16・17、CSK-6・11などがある。

第3面ではAトレントから方形周溝墓12基ASZ1～12（ASD-1・2・5～6・9・21・26・30・31・36）、円形～楕円形を呈する土坑（ASK-2・3・5・12・13・17）、長楕円形を呈する土坑（ASK-7・8・10・18）方形を呈する土坑（ASK-6・11）がある。Bトレントからは南北方向の4条の環濠（BSD-4・6・7・8）を中心に方形周溝墓BSZ-1（BSD-9）や土坑や溝、柱穴群がある。Cトレントからも南北方向の環濠3条（CSD-4・5・7）を中心に方形（CSK-7）を呈する土坑や溝、柱穴がある。Dトレントでは方形周溝墓DSZ-1（DSD-2）と落ち込み状遺構（DSX-1）や溝、楕円形を呈する土坑（DSK-1・2）、柱穴がある。

e 出土遺物（第22～33図） 出土した遺物は遺物収納コンテナに換算して約370箱に及び、その種類と内訳は蓋・壺・甕・鉢・高杯・器台・水差し・ミニチュアなどの弥生土器や土製品、石製品、木製品が出土している。また、古墳時代～古代の上師器や須恵器、中世の土師皿や黒色土器椀、陶磁器類がある。これら多量の遺物のうち、実測可能なものは数千点を数えるが、今回の概報においてはB・Cトレントで検出された弥生時代前中期～中期の環濠4条の遺物と、一括りの高い弥生時代後期の土坑（BSK-8・BSX-2）や弥生時代後期～古墳時代前期初頭頃（庄内式併行期）の大溝と考えられるASD-8出土の遺物（土器）を中心に掲載した。なお、今回の報告では石器・木製品は掲載しておらず、掲載土器の詳細は遺物観察表に記した。

今回の発掘調査で出土した遺物量は、土器が2,493.3kg、石器が145.6kg、木器が15.4kgで計2,654.3kgをはかり、土器はm<sup>2</sup>当たり2.41kg/m<sup>2</sup>であった。また、各トレント及び遺構の土器量はAトレントが191.4kg、ASD-8（大溝）が41.2kg、Bトレントは1,543.3kgでBSD-4が94.6kg、BSD-5が5.2kg、BSD-6が32.0kg、BSD-7が399.8kg、BSD-8が50.8kg、BSK-8が120.4kg、BSX

-2が335.1kg、包含層が437.0kgである。このことから、BSD-7・BSK-8・BSX-2は出土量から考慮すると、一括性が高いと考えられる。Cトレンチは719.6kgでCSD-4は224.4kg、CSD-5が293.2kg、CSD-7が24.2kg、包含層が129.2kgを測る。Dトレンチは36.2kg、DSX-1が23.8kgを測る。

また、今回の調査で出土した石器の内訳は、チップ・フレーク（剥片）98点、コア（石核）15点、スクレイパー・石ペラ（搔器・削器）80点、ナイフ16点、石鎌は材質がサヌカイトで（打製・磨製）16点、中・大型尖頭器は23点、磨製石斧34点、石包丁48点、砥石165点、磨石55点、敲石5点、石皿5点、石製品107点、石材96点、その他634点となっており計1,397点を数える。石器の出土傾向については、砥石が相変わらず一番多く、スクレイパー類・磨石・石包丁・石斧が比較的多く出土している。石包丁の石材をみると、片理質の粘板岩や結晶片岩が多く、石斧では殆どが大型蛤刃石斧で泥岩・砂岩・緑泥片岩が多い。また、環状石斧や扁平片刃石斧・板状などが少量みられる。砥石には平らなものと、塊状（直方体）なものとがあり泥岩・砂岩・花崗岩等の目の粗い石材が多い。これらの石器の多くはCSD-4～5、BSD-7から多く出土している。木製品は合計137点出土し、柱材・板材・杭・棒状・鍤・皿状容器などがあり、その多くがBSD-6～7、CSD-4～5からの出土が日立つ。

周辺調査区の遺物量はHN03-3（H16年度概報P.1～22）が土器量5,153.3kg、石器307.5kg、木器16.2kg、骨23.2kgを計る。土器量はm<sup>2</sup>当たり10.39kg/m<sup>2</sup>であった。HN02-1が土器量1,893kg、石器80.4kg、木器20.2kg、骨4.6kg土器はm<sup>2</sup>当たり2.97kg/m<sup>2</sup>を計り、HN02-2では土器量1,398kg、石器13.6kg、土器量はm<sup>2</sup>当たり4.99kg/m<sup>2</sup>であった。

† 基本層序（第12・16・18図） 調査区の基本層序はI層からXX層まで大別されるが、前述したようにAトレンチから東に移動するにつれて地形が下がっていくことから、B・Cトレンチにおいては層の厚さや堆積層が異なってくる。I層が盛土層でAトレンチでは1.3m、B～Dトレンチでは0.8～0.9mの現代の盛土である。II層は褐灰色シルト質埴土や黒褐色土の近現代の耕作土で、層厚0.2～0.3mをはかる。III層はオリーブ灰色シルトや灰色シルトの床土で、層厚0.05～0.15mをはかる。IV層は黄橙色土や黄褐色土の耕土で、Aトレンチ北東部のみIV-1～3層まで細分できる。層厚は0.1～0.25mで、Aトレンチ北東部は0.35mをはかる。V層は褐灰色～灰白色シルトの中世耕土で0.1～0.15mをはかる。VI層～IX層・XI層～XVII層はAトレンチでは確認されていない。また、DトレンチではVII層～XIII層は確認されていない。VI層は褐灰色シルトに明緑灰色シルトを含んだ中世耕土で層厚は0.05～0.2mをはかる。VII層は灰白色土に明青灰色シルトを含んだ中世耕土で層厚は0.05～0.2mをはかる。VIII層は褐灰色シルトに多量のマンガンを含んだ床土で0.05～0.1mをはかる。IX層は褐灰色シルトにぶい黄橙色～黄褐色土を含んだ古代～中世整地土である。層厚は0.05～0.2mをはかる。X層は明黄褐色土に褐灰色シルトを含んだ古代整地土である。層厚は0.05～0.1mをはかる。XI層は明黄褐色土に褐灰～灰白色シルトを含んだ古墳時代後期の整地土である。層厚は0.05～0.1mをはかり、調査地西側のDトレンチのみにみられる。XII層は褐色土に灰黄褐色シルトを含んだ古墳時代後期の整地土である。層厚は0.05～0.1mをはかり、調査地北東のCトレンチのみにみられる。XIII層は灰黄褐色シルトに5cm大の黄褐色ブロック土を含んだ古墳時代中期～後期の整地土である。層厚は0.05～0.2mをはかる。XIV層は褐色～黄褐色土や黒褐色土に灰黄褐色シルトを含んだ古墳時代前期～中期の整地土である。層厚は0.1～0.2mをはかる。XV層は3層に細分でき、弥生時代後期～古墳時代前期初頭頃の二次堆積の遺物包含層を形成する整地層で、XVI-1層は黒褐色土にぶい黄褐色と

多量の土器片を含んでいる。層厚は0.1~0.15mをはかる。X V-2・3層は黒色粘土ににぶい黄橙色シルトを含んでおり、それぞれの層厚は0.2~0.25mをはかる。X VI層は褐色土に褐灰色土や浅黄橙色~黄褐色シルト・粘土塊を含んでおり、弥生時代中期後葉の整地層と考えられる。調査地北側のCトレント西側およびDトレントにのみみられ、層厚は0.1mをはかる。X VII層は黄橙色シルト質粘土ににぶい黄褐色土を含んだ弥生時代中期後葉以前の整地層で、BSD-6・7・8、CSD-4・5の環濠間に厚さ0.1~0.15mほど堆積する。X VIII層は明黄褐色シルト~粘土に褐灰色粘土を含んだ弥生時代中期後葉以前の整地層でX VII層同様、環濠間に層厚0.1~0.2mで堆積する。X IX層は2層に細分でき、褐灰色粘土に黒褐色粘土や黄褐色シルトを含んだ弥生時代前期末~中期前葉の整地層で層厚0.1~0.2mをはかる。X X層は灰白色や黄橙色・浅黄橙色・明黄褐色のシルト~粘土の地山である。

今回の調査では第1面をX III層およびX IV層検出面、第2面を整地層であるX V層直下、第3面を地山面（X X層）で構造を検出・精査している。

g 環濠（弥生時代前期後半~中期） 第10・11・16・17・22~27・29~33図 環濠は調査地東側に位置するB・Cトレントから合わせて4条検出された。南北方向にのびやや西寄りに弧を描く形で検出されている。外側の環濠からBSD-4、BSD-6・CSD-7、BSD-7・CSD-4、BSD-8・CSD-5である。BSD-4の続きはCトレントからは検出されていないことから、Cトレントの西側を通っているものと思われる。今回検出された環濠はどれも長さ17~18m程である。

これら環濠の開削時期は内側の2条の溝（BSD-7・8・CSD-4・5）が弥生時代前期後半~末頃にはじまり、少し遅れて外側2条（BSD-4・6・CSD-7）は弥生時代中期前葉には開削され、弥生時代中期後葉に4条の環濠はともに再び掘り直されている。環濠の規模は、以下に詳細を記す。

BSD-4は幅が2.7~3.2m、深さは検出面から0.9mで断面形は逆台形を呈する。底面の標高はT.P.6.1mをはかる。埋土は大きく分けてA~H層の8層に大別される。A層は2層に細分され、灰黄褐色土に明黄褐色シルトを含む。B層は褐灰色粘土が主体で、C層は灰白色粘土に黄褐色シルトブロックを含む。D層は明黄褐色シルトに黒褐色土を含む。E層は暗褐色土主体、F層は褐灰色粘土や粘土ブロック、G層は2層に細分され褐灰色粘土に明青灰色粘土や黒褐色粘土ブロックを含む。H層は黄褐色土に黒褐色土や褐灰色粘土を含む。遺物はA~F層まで弥生時代中期後葉の土器を多く含む。また、下層のG・H層からは中期前葉の土器が出土している。断面観察では中期後葉段階に再掘削された後にA~F層が堆積したものと推定される。

BSD-6・CSD-7は幅が2.8~3.4m、深さは検出面から0.9mで断面形はBSD-6が逆台形、CSD-7がU字形を呈する。底面の標高はT.P.6.1mをはかる。埋土は大きく分けてA~I層の9層に大別される。A層は2層に細分され、黒褐色土主体、B層も2層に細分され明黄褐色土に黒褐色土や褐灰色粘土を含む。C層は灰白色~褐灰色粘土に黒色粘土ブロックを含む。D層は2層に細分でき褐灰色~黒褐色粘土主体、E層も2層に細分でき黄褐色土~灰黄褐色土主体、F層も2層に細分でき褐灰色~灰黄褐色粘土主体で黒色粘土ブロックを含む。G層は褐灰色シルトや浅黄橙色シルト主体で黒色~褐灰色粘土ブロックを含む。H層は2層に細分でき褐灰色粘土に黑色粘土や灰白色粘土を含む。I層は褐灰色粘土を主体とする。遺物はA~C層までは弥生時代後期、D・E層は弥生時代中期後葉の土器を多く含む。また、下層のF~I層からは中期前葉の土器が多く出土している。断面観察では中期後葉段階に再掘削された後にA~E層が堆積したものと推定される。

BSD-7・CSD-4は幅が3.8~5.0m、深さは検出面からBSD-7が0.9m、CSD-4が1.2mで底面



の標高はT.P.5.6~5.7mをはかる。断面形は逆台形~U字形を呈する。埋土は大きく分けてA~G層の7層に大別される。A層は3層に細分され、黒色粘土主体でにぶい黄橙色シルトを含む。B層は2層に細分され、黒色粘土に灰白色~にぶい黄橙色土砂壤土を含む。C層は2層に細分でき、黒色粘土にやや粗いにぶい黄橙色土砂壤土を含む。D層は3層に細分でき、青灰色・にぶい黄褐色砂壤土に褐灰色~黒色粘土を含む。E層は単層で黄橙色砂壤土やにぶい黄褐色土に黑色粘土や褐灰色砂壤土を含む。F層は3層に細分でき、灰白色粘土~シルトに黑色粘土ブロックを含む。G層は褐灰色粘土に黑色粘土や灰白色シルトを含む。遺物はA・B層は弥生時代中期後葉、C・D層は弥生時代中期前葉~後葉、E~G層は弥生時代前期後葉~中期前葉の土器を多く含む。断面観察では中期後葉段階に再掘削された後にA~D層が堆積したものと推定される。

(BSD-8)・CSD-5は幅が4.2~4.4m、深さは検出面から1.2mで底面の標高はT.P.5.6mをはかり、断面形は逆台形を呈する。埋土は大きく分けてA~G層の7層に大別される。A層は3層に細分され、黒色粘土主体でにぶい黄橙色シルトや灰白色シルトを含む。B層は黒色粘土ににぶい黄褐色粘土や明緑灰色粘土を含む。C層は黒色~褐灰色粘土に黄橙色シルト~粘土を含む。D層は浅黄色粘土に灰オリーブ色粘土や黒色粘土を含む。E層は黒色粘土にや褐灰色粘土を含む。F層は2層に細分でき、黒色~褐褐色粘土に黄色系の粘土~シルトを含む。G層は黒色粘土に灰白色シルトを多量に含む。遺物はA層は弥生時代中期後葉、B~D層は弥生時代中期前葉~中葉、E~G層は弥生時代前期後葉~中期前葉の土器を多く含む。断面観察では中期後葉段階に再掘削された後にA層が堆積したものと推定される。

以上のことから、CSD-4 (BSD-7)・5 (BSD-8) は溝の幅や深さ・出土遺物などから、ほぼ同時期に掘削されたであろうことが伺える。また、再掘削の時期に關しても黒色粘土を主体にするなど埋土や出土遺物に共通点が多く、改修も同時期に行われたと考えている。また、CSD-7(BSD-6)とBSD-4についても前述した溝と比較すると環濠外側に位置するこれらの溝は内側の溝に比べて、幅や深さといった規模の点から一回り小規模といえる。開削時期に關しても弥生時代前期後葉の土器がはいってこないことから、内側2条の環濠を掘削した後に、中期前葉段階において外側に若干小規模な2条の環濠を掘削したことが想定される。

また、出土土器に関してはこれら4条の環濠から出土した土器量は、全調査区の土器量に比して、約45%を占める。その内訳は、BSD-4が3.8%、BSD-6・CSD-7が2.3%、BSD-7・CSD-4が25.0%、BSD-8・CSD-5が13.8%である。BSD-4およびBSD-8・CSD-5は掘削面積が他の半分くらいであることから単純に比較できないが、いずれにしても内側(東側)の環濠(BSD-7・CSD-4とBSD-8・CSD-5) 2条の出土量が非常に多いことが伺い知れる。

器種組成についてみると、全調査区の弥生土器では甕43% (3,560点)、壺34% (2,844点)、高杯12% (1,025点)、鉢6% (485点)、蓋3% (232点)、器台1% (89点)、水差1% (67点)、その他(27点)の計8,329点を数える。(なお、口縁部や特徴のある部位で器種を特定。) 環濠出土の弥生土器器種組成をみると、BSD-4では計280点で壺41% (116点)、甕33% (92点)、高杯14% (38点)、鉢9% (25点)、蓋・器台各1% (各3点) 水差1% (2点) 他1点となっている。BSD-6・CSD-7 (同一環濠とみなす) では計135点で壺36% (48点)、甕34% (46点)、高杯16% (22点)、鉢9% (12点)、水差3% (4点)、器台1% (2点)、蓋1% (1点) となっている。BSD-7・CSD-4 (同一環濠とみなす) では計1,780点で壺41% (729点)、甕31% (543点)、高杯16% (283点)、鉢7% (121点)、蓋2% (42点)、水差2% (32点)、器台1% (24点)、その他6点を数える。BSD-8・CSD-5 (同一環濠をみなす。) では計856点で甕46% (398点)、壺33% (279点)、高杯8%

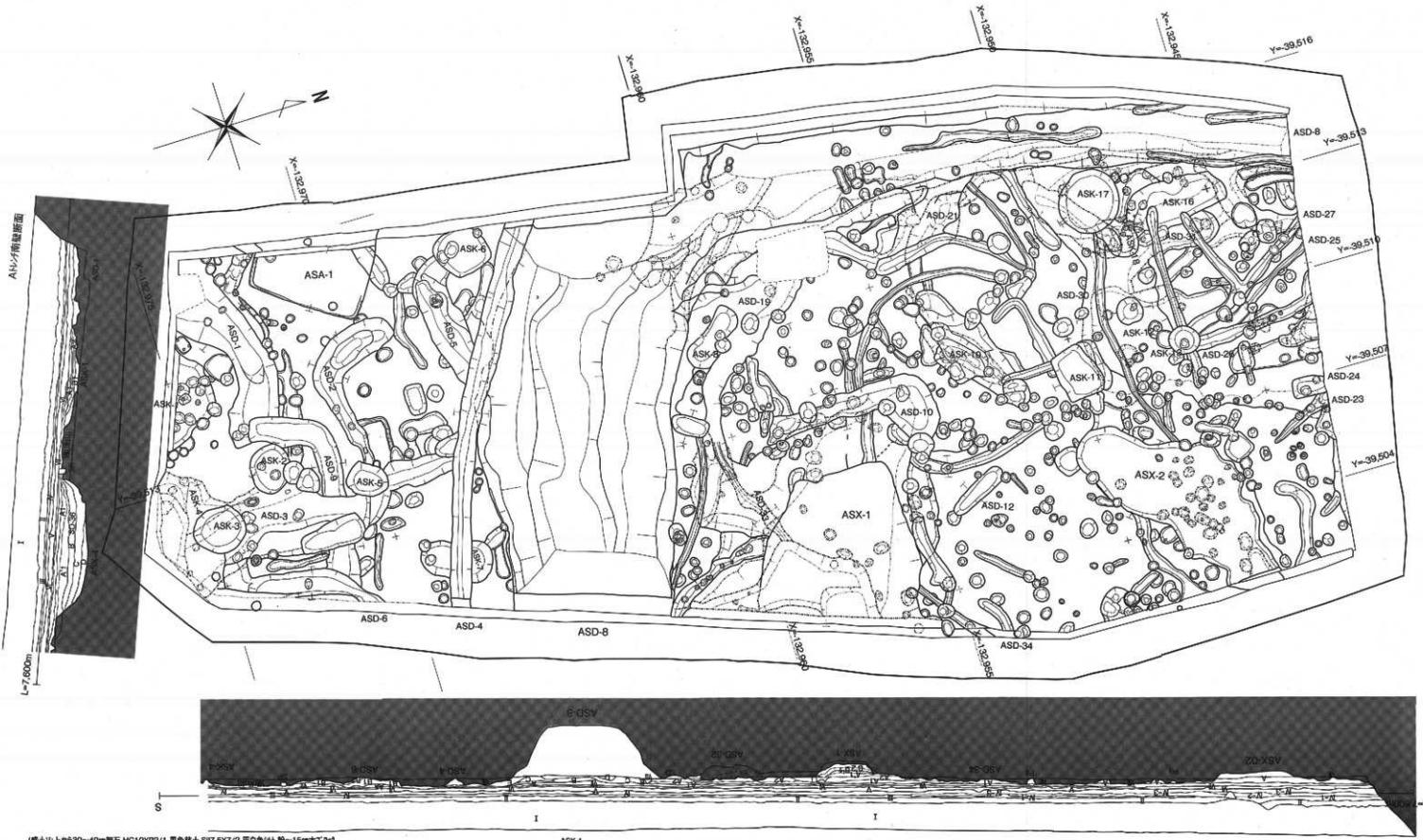
(68点)、鉢7% (56点)、蓋4% (36点)、木差2% (13点)、器台1点、その他1% (5点)となっている。また、木製品については、内側(東側)の環濠2条から板材や高环脚・皿形(容器)木器などが底面より出土している。

h方形周溝墓(弥生時代中期)第12・14・17・18・22図 方形周溝墓はAトレンチを中心B・Dトレンチから検出されているが、前述した環濠の外側(西側)に展開する。調査区外へのびるものの方形周溝墓と考えられるものを含めて、Aトレンチでは12基、B・Dトレンチでは各1基、計14基を検出している。いずれの方形周溝墓も完周しているものではなく、四隅のいずれかが開いており溝を共有している。埋土も暗褐色~黒褐色土を主体とし、黄褐色シルトや粘土を含んでいる。方形周溝墓を主軸方向や出土遺物などでグルーピングすると、おおまかにASZ-1~3、ASZ-4~8、ASZ-9・10、ASZ-12・BSZ-1・DSZ-1の4つのグループに分けられる。

ASZ-1~3はAトレンチ北側に位置するグループで、主軸はN31°Wで周溝から弥生時代中期中葉~後葉の土器が出土している。ASZ-1は北東の周溝を欠き、規模は墳丘内が3.6m×4.7m (16.9m<sup>2</sup>)で、周溝を含めると、6.0m×6.0m (36m<sup>2</sup>)になり、埋葬主体部は検出されなかった。周溝の幅は1.1m、深さは0.5~0.6mをはかる。重複・共有関係はASD-8 (V~VI様式)・ASK-10・17 (IV~V様式)に切られ、ASZ-3と溝を共有する。ASZ-2も北東の周溝を欠き、規模は墳丘内が6.5m×7.2m (46.8m<sup>2</sup>)で、周溝を含めると、9.0m×9.7m (87.3m<sup>2</sup>)になり、埋葬主体部は検出されなかった。周溝の幅は0.4~2.1m、深さは0.3~0.6mをはかる。重複・共有関係はASD-8・ASX-1に切られ、ASZ-1・3と溝を共有する。ASZ-3は大部分をASD-8に切られ規模は不明である。周溝の幅は0.4~1.1m、深さは0.5mをはかる。

ASZ-4~8はAトレンチ南側に位置し、主軸はN10~17°Wである。ASZ-4は北半大部分をASD-8に切られ規模は不明である。重複・共有関係はASK-6に切られ、ASZ-5・7と溝を共有する。周溝の幅は0.7~1.1m、深さは0.4mをはかる。ASD-5 (第22図-1) 周溝内から弥生時代中期前葉の広口壺が出土している。ASZ-5も大半が調査区外にのびることから規模は不明である。重複・共有関係はASA-1・ASK-6に切られ、ASZ-4・6と溝を共有する。周溝の幅は0.5~0.8m、深さは0.3~0.4mをはかる。周溝から弥生時代中期前葉~中葉の土器が出土している。ASZ-6は西側の周溝を欠くものの、主軸がN17°Wで、規模は墳丘内が3.6m×3.5m (12.6m<sup>2</sup>)、周溝を含めると、5.1m×5.0m (25.5m<sup>2</sup>)になり、埋葬主体部は検出されなかった。周溝の幅は0.55~1.7m、深さは0.3mをはかる。重複・共有関係はASA-1に切られ、ASZ-5・7と溝を共有する。ASD-1周溝内から弥生時代中期前葉~後葉の土器が出土している。ASZ-7は主軸がN10°Wで、規模は墳丘内が3.1m×3.4m (10.5m<sup>2</sup>)、周溝を含めると、4.4m×5.0m (22.0m<sup>2</sup>)になり、ASZ-4・5もおそらく同規模の方形周溝墓と思われる。埋葬主体部は墳丘中央東西と東側周溝に並行して南北に隅丸長方形の土坑が検出されている。土坑の主軸はそれぞれN88°WとN2°Eで、規模は0.88m×0.56m、1.4m×0.5mである。周溝の幅は0.3~1.0m、深さは0.3~0.4mをはかる。重複・共有関係はASD-8・ASK-5 (IV様式)に切られ、ASZ-4・6・8と溝を共有する。時期が推定できる土器は出土していないが、重複関係から弥生時代中期後葉以前 (IV-2様式以前)と考えられる。ASZ-8も大半が調査区外およびASD-8に切られており、規模は不明である。溝の幅は0.4~1.1m、深さ0.4mをはかる。

ASZ-9・10はAトレンチ南東部に位置する。ASZ-9は主軸がN9°Eで、規模は墳丘内が3.9m×3.7m (14.4m<sup>2</sup>)で、周溝を含めると、5.5m×5.2m (28.6m<sup>2</sup>)になり、埋葬主体部は検出されなかった。周溝の幅は0.6~1.0m、深さは0.4~0.8mをはかる。重複・共有関係はASD-1を切り、



(底土上) 0-30cm HC10YR2/1 黄褐色土 HC10YR2/2 茶褐色土 粒-15mmアゲ

(耕土上) S10YR5/3 黄褐色土 HC10YR5/4 黄褐色土 HC10YR5/5 黄褐色土 粒-15mmアゲ

(底土上) S10YR7/1 黄褐色土 HC10YR7/2 黄褐色土 HC10YR7/3 黄褐色土 粒-15mmアゲ

(耕土上) S10YR7/4 黄褐色土 HC10YR7/5 黄褐色土 粒-15mmアゲ

N-1-362-5077/1 S10YR6/1 粉砂質粘土 1cm大 20-25% 1cm以上堅硬 種-2

2-362-5077/2 S10YR6/2 黄褐色土 HC10YR6/3 黄褐色土 粒-15mmアゲ 中-密

N-362-5077/3 S10YR6/4 黄褐色土 HC10YR6/5 黄褐色土 粒-15mmアゲ 中-密

(耕土上) S10YR6/6 黄褐色土 HC10YR6/7 黄褐色土 粒-15mmアゲ 中-密

(底土上) S10YR6/8 黄褐色土 HC10YR6/9 黄褐色土 粒-15mmアゲ 中-密

(地山) X10YR7/6 黄褐色土 HC10YR7/7 黄褐色土 粒-3mm 15-20% 硬密

ASD-1 黄褐色土

ASd-10YR5/3 に黄褐色土 HC10YR7/8 黄褐色土 粒-1cm大アゲ 15-20% ~2cmアゲ少少 P少 中-密

ASA-1 黄褐色土 HC10YR4/2 HC10YR4/3 粒-15mmアゲ 40% S10YR6/1 粒-15% P少 ~0.5cmアゲ少少 中-密

A2-S10YR6/3 S10YR6/5 粒-30-40% S10YR6/1 粒-15mmアゲ少少 中-密

ASK-1

A1-S10YR6/2 黄褐色土 HC10YR6/3 黄褐色土 粒-1cm大 20-25% ~0.5cmアゲ少少 中-密

AS2-S10YR6/4 黄褐色土 HC10YR6/5 黄褐色土 粒-1cm大 20-25% ~0.5cmアゲ少少 中-密

AS3-S10YR6/5 黄褐色土 HC10YR6/6 黄褐色土 粒-30-40% HC10YR6/7 黄褐色土 粒-2cm大 20-25% ~0.5cmアゲ少少 中-密

ASK-4

A1-S10YR6/3 に黄褐色土 HC10YR6/4 黄褐色土 粒-1cm大 20-25% ~0.5cmアゲ少少 中-密

A2-S10YR6/5 黄褐色土 HC10YR6/6 黄褐色土 粒-1cm大 20-25% ~0.5cmアゲ少少 中-密

B-S10YR6/4 2cm以上堅硬 S10YR6/5 黄褐色土 粒-0.5cm大 10-15% 0.3-1cm大アゲ少少 P少 中-密

C-S10YR6/6 黄褐色土 S10YR6/7 に黄褐色土 粒-20-25% 0.3-0.5cm大アゲ少少 P少 中-密

D-S10YR6/3 黄褐色土 S10YR6/4 黄褐色土 粒-0.5~1cmアゲ少少 P少 中-密

E-S10YR6/2 黄褐色土 HC10YR6/3 黄褐色土 粒-1cm大 20-25% ~0.5cmアゲ少少 中-密

F-S10YR6/4 黄褐色土 HC10YR6/5 黄褐色土 粒-1cm大 20-25% ~0.5cmアゲ少少 中-密

G-S10YR6/5 黄褐色土 HC10YR6/6 黄褐色土 粒-1cm大 20-25% ~0.5cmアゲ少少 中-密

H-S10YR6/6 黄褐色土 HC10YR6/7 黄褐色土 粒-1cm大 20-25% ~0.5cmアゲ少少 中-密

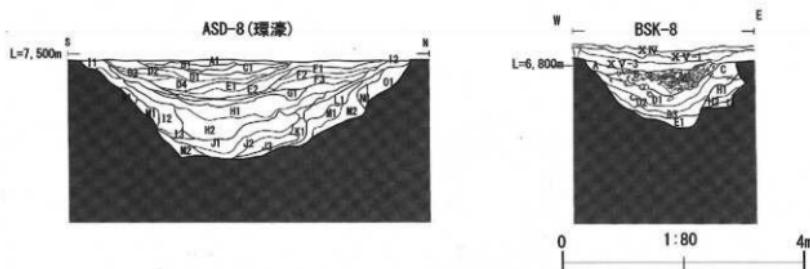
I-S10YR6/7 黄褐色土 HC10YR6/8 黄褐色土 粒-1cm大 20-25% ~0.5cmアゲ少少 中-密

J-S10YR6/8 黄褐色土 HC10YR6/9 黄褐色土 粒-1cm大 20-25% ~0.5cmアゲ少少 中-密

墨書き基点NA

0 1:100 4m

第12図 東奈良遺跡 (HN06-3) Aトレンチ平・断面図



第13図 東奈良遺跡（HN06-3）ASD-8・BSK-8遺構断面図

ASD-9



RSY-2

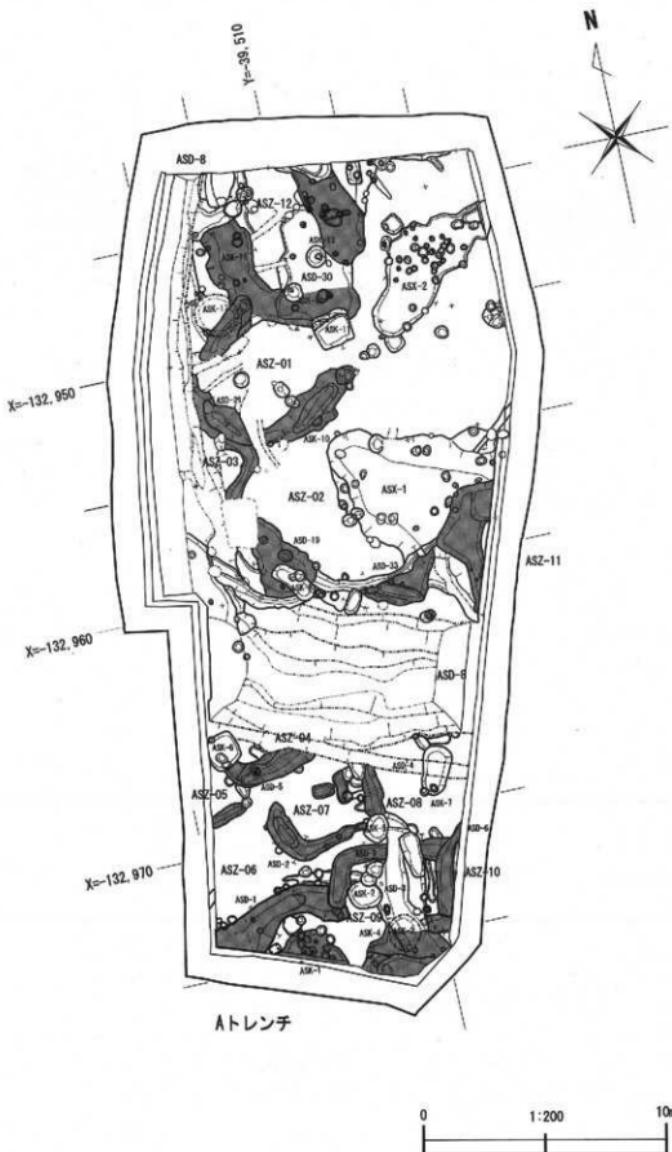
- A1:3C19Y2/1 基本色上毛, Si:10973/1 鳞片状斑纹, 长-8mm, 宽-20-25, S:11972/2 (以深黄色为底) 约-0.5mm, 15-20~S:11973/2 (以浅黄色为底) 约-0.5mm, 15-20~F:多(浅)-中-暗-中  
 A2:3C19Y2/1 基本色上毛, Si:10973/1 (以深黄色为底) 约-0.5mm, 30-35~S:11972/2 (以深黄色为底) 约-0.5mm, 15-20~S:11973/2 (中-暗-中)  
 C1:3C19Y2/1 基本色上毛, Si:10973/1 (以深黄色为底) 约-0.5mm, 30-35~S:11972/2 (以深黄色为底) 约-0.5mm, 15-20~F:多(浅)-中-暗-中  
 C2:3C19Y2/1 基本色上毛, Si:10973/1 (以深黄色为底) 约-0.5mm, 30-35~S:11972/2 (以深黄色为底) 约-0.5mm, 15-20~F:多(浅)-中-暗-中  
 C3:3C19Y2/1 基本色上毛, Si:10973/1 (以深黄色为底) 约-0.5mm, 30-35~S:11972/2 (以深黄色为底) 约-0.5mm, 15-20~F:多(浅)-中-暗-中  
 E1:3C19Y2/1 基本色上毛, Si:10973/1 鳞片状斑纹, 长-8mm, 宽-20-25, S:11972/2 (以深黄色为底) 约-0.5~1mm大斑+小斑-中-暗-中  
 E2:3C19Y2/1 基本色上毛, Si:10973/1 鳞片状斑纹, 长-8mm, 宽-20-25, S:11972/2 (以深黄色为底) 约-0.5~1mm大斑+小斑-中-暗-中  
 E3:3C19Y2/1 基本色上毛, Si:10973/1 鳞片状斑纹, 长-8mm, 宽-20-25, S:11972/2 (以深黄色为底) 约-0.5~1mm大斑+小斑-中-暗-中  
 F1:3C19Y2/1 基本色上毛, Si:10973/1 (以深黄色为底) 约-0.5mm, 30-35~S:11972/2 (以深黄色为底) 约-0.5mm, 15-20~S:11973/2 (中-暗-中)  
 F2:3C19Y2/1 基本色上毛, Si:10973/1 (以深黄色为底) 约-0.5mm, 30-35~S:11972/2 (以深黄色为底) 约-0.5mm, 15-20~S:11973/2 (中-暗-中)



200

- |              |                |              |              |                  |                  |            |           |                      |            |            |
|--------------|----------------|--------------|--------------|------------------|------------------|------------|-----------|----------------------|------------|------------|
| K' 3:19192/2 | 高麗色二重<br>高麗色二重 | Sig19192/2-3 | 3mm大<br>3mm大 | 40-50%<br>40-50% | 0.3mm大<br>0.3mm大 | ターチ<br>ターチ | S110907/2 | にない 黄葉緑葉<br>にない 黄葉緑葉 | 粉 粉<br>白 黄 | 中 中<br>中 中 |
| K' 3:19192/2 | 高麗色二重<br>高麗色二重 | Sig19192/2-4 | 3mm大<br>3mm大 | 35%<br>35%       | 0.3mm大<br>0.3mm大 | ターチ<br>ターチ | S110907/2 | にない 黄葉緑葉<br>にない 黄葉緑葉 | 白 黄<br>白 黄 | 中 中<br>中 中 |
| K' 3:19192/2 | 高麗色二重<br>高麗色二重 | Sig19192/2-5 | 3mm大<br>3mm大 | 35%<br>35%       | 0.3mm大<br>0.3mm大 | ターチ<br>ターチ | S110907/2 | にない 黄葉緑葉<br>にない 黄葉緑葉 | 白 黄<br>白 黄 | 中 中<br>中 中 |
| K' 3:19192/2 | 高麗色二重<br>高麗色二重 | Sig19192/2-6 | 3mm大<br>3mm大 | 40-50%<br>40-50% | 0.3mm大<br>0.3mm大 | ターチ<br>ターチ | S110907/2 | にない 黄葉緑葉<br>にない 黄葉緑葉 | 白 黄<br>白 黄 | 中 中<br>中 中 |

- CSK-3  
A1: Sie10R92/1 黑色土. S1107R4/3 | 3-51 黑褐色沙44 粒 25% P-多 中-硬 中-密  
A2: Sie10R92/1 黑色土. S1107R4/3 | 3-51 黑褐色沙44 粒 15% -1cm大7.8g 10-15%P-多 ~1cm大3.6g 中-硬 密



第14図 東奈良遺跡 (HN06-3) Aトレント第3面平面図

ASZ-3・6に切られ、ASZ-10と溝を共有する。周溝ASD-9から弥生時代中期中葉の土器が出土している。ASZ-10は大半が調査区外へと続くため規模は不明である。周溝の幅は0.3~0.7mで、深さは0.4mである。ASZ-9と溝を共有する。

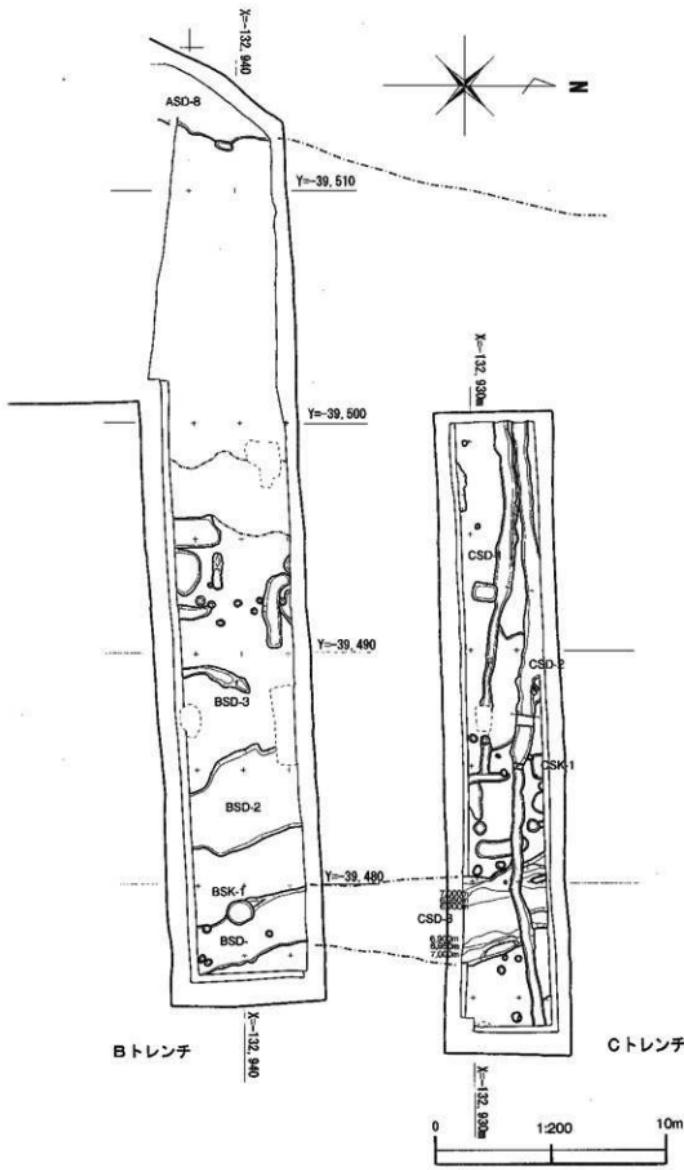
ASZ-12・BSZ-1・DSZ-1は調査地北東部のAトレンチ北西端・Bトレンチ西端・Dトレンチに位置する。ASZ-12は主軸がN3° Eで、規模は墳丘内が4.5m×4.2m (18.9m<sup>2</sup>)で、周溝を含めると、6.0m×5.9m (35.4m<sup>2</sup>)になり、埋葬主体部は検出されなかった。周溝の幅は0.8~1.4m、深さは0.3mをはかる。重複・共有関係はASK-12・13・18に切られ、BSZ-1と溝を共有する。周溝から弥生時代中期中葉～後葉の上器が出土している。BSZ-1は主軸がN23° Wで、規模は墳丘内が3.2m×3.0m (9.6m<sup>2</sup>)で、周溝を含めると、4.7m×5.1m (24m<sup>2</sup>~)になり、埋葬主体部は検出されなかった。周溝の幅は0.5~1.0m、深さは0.2~0.3mをはかる。重複・共有関係はASD-8に切られ、ASZ-12と溝を共有する。周溝BSD-9から弥生時代中期後葉～後期の土器が出土している。DSZ-1は主軸がN7° Eで、規模は墳丘内が4.6m×1.9m (8.7m<sup>2</sup>~)で、周溝を含めると、7.1m×3.0m (21.3m<sup>2</sup>~)になり、埋葬主体部は検出されなかった。周溝の幅は0.8~1.4m、深さは0.4~0.5mをはかる。周溝DSD-2から弥生時代中期中葉の土器が出土している。

また、方形周溝墓とは別に土塙墓と思われるASK-1・DSX-1がある。ASK-1は楕円形で直径3.0m、深さ0.3mをはかり、弥生時代中期中葉の土器(甕)が出土している。DSX-1はやや方形を呈し、規模は3.8m×2.4mで深さ0.5mをはかる。遺物は弥生時代中期前葉～中葉の壺・甕・鉢などの上器が出土している。

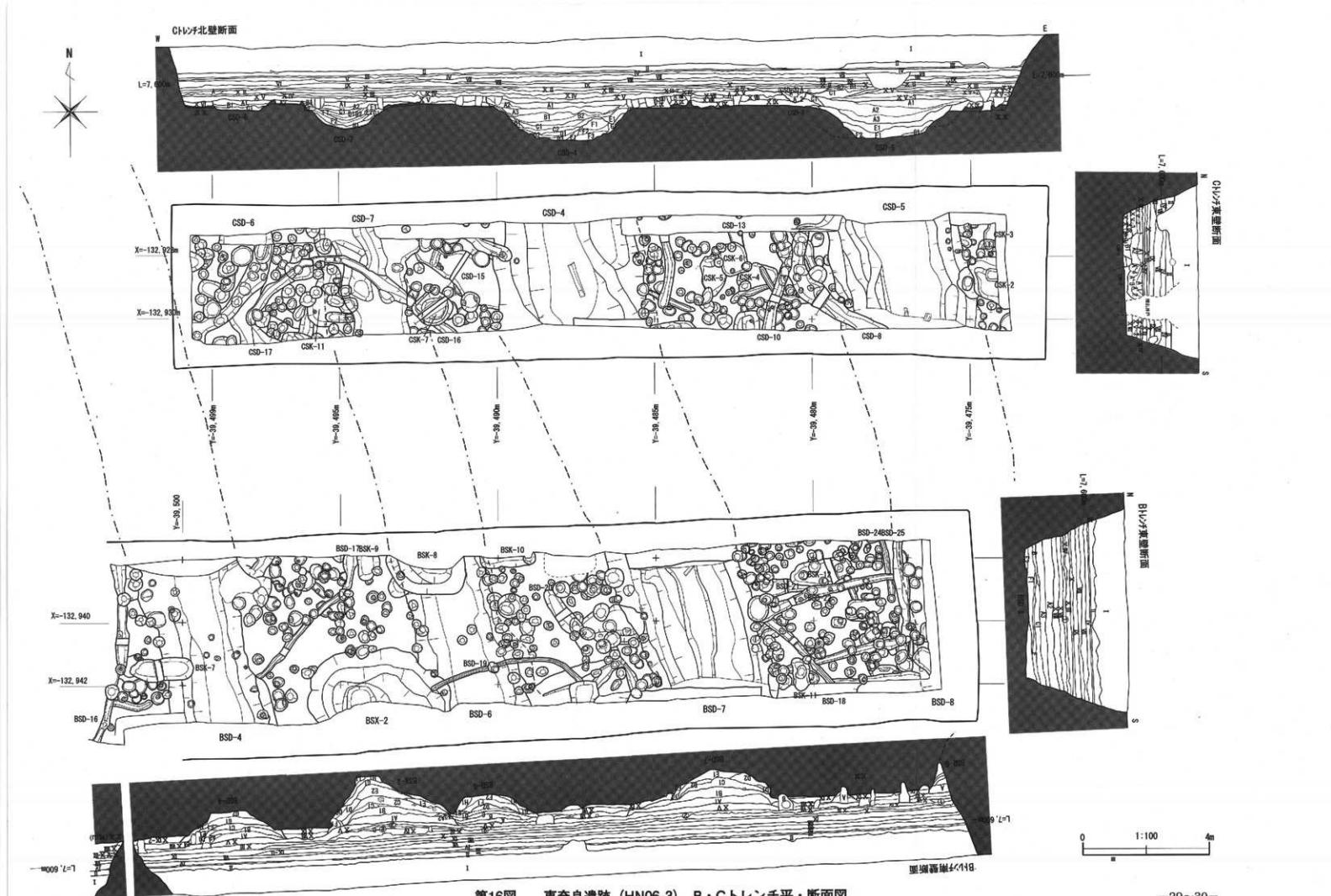
i 廃棄土坑(弥生時代後期) 第11・13・16・20・27~29図 多量の完形土器が廃棄された土坑がBトレンチ第2面において、BSK-8・BSX-2の2基検出されている。Bトレンチの中程に位置し、BSK-8・BSX-2は2m程しか離れていない。

BSK-8は北半分が調査区外にあるものの、楕円形を呈し直径2.5m、深さ1.2mをはかる。断面形状は逆台形状で壁はやや緩やかに底面へと続く。埋土はA～E層の5層に大別され、7層に細分される。A層は褐灰色土に灰白色シルトや橙色シルトを含む。B層は黒色粘土に灰白色シルトを含み、多量の土器が含まれる。C層はA層に類似し褐灰色土に灰白色シルトや橙色シルトを含む。D層は3層に細分でき、D1・3層は黒色粘土にぶい黄橙色シルトや粘土を含む。D2層は暗灰色粘土に明青灰色シルトや多量の土器を含む。D1層から完形の土器が多く出土している。E層は黒色粘土に灰白色粘土ブロックを多量に含む。重複関係は弥生時代中期の環濠BSD-6を切っている。出土遺物は弥生時代後期の壺・甕・鉢・高杯などの土器を中心に、磨製石斧や砥石等の石器、板材、土製円盤などが出土している。(BSK-8出土遺物は掲載していない。) 土器の器種組成は計357点中(器種のわかるもの)、甕169点(47%)・壺107点(30%)・高杯37点(10%)・鉢25点(7%)・蓋14点(4%)・器台3点(1%)・水差及びその他各1点であった。特に甕はタタキ甕が大部分を占めている。

BSX-2は南半分が調査区外へと続き、平面形は楕円形を呈し直径4.5m、深さ1.6mをはかる。断面形状はすり鉢状を呈し壁はやや緩やかに底面へと続く。埋土はA～I層の9層に大別され、14層に細分される。A層は3層に細分され、黒色粘土にぶい黄褐色シルトを含む。B層は暗灰色粘土に灰白色シルトブロックを含む。C層は2層に細分され、黒色粘土に褐灰色粘土ブロックを含み、C2層は完形の土器を多く含む。D層も2層に細分され、D1層は灰色～灰白色粘土を主体とする。D2層は黒色粘土にぶい黄橙色粘土ブロックを含む。E層も2層に細分され、黒色～黒褐色粘土を主体とし、暗褐色土や灰白色粘土ブロック、明青灰色粘土ブロックを含む。



第15図 東奈良遺跡 (HN06-3) B・Cレンチ第1面平面図



第16図 東奈良遺跡 (HN06-3) B・Cトレチ平・断面図

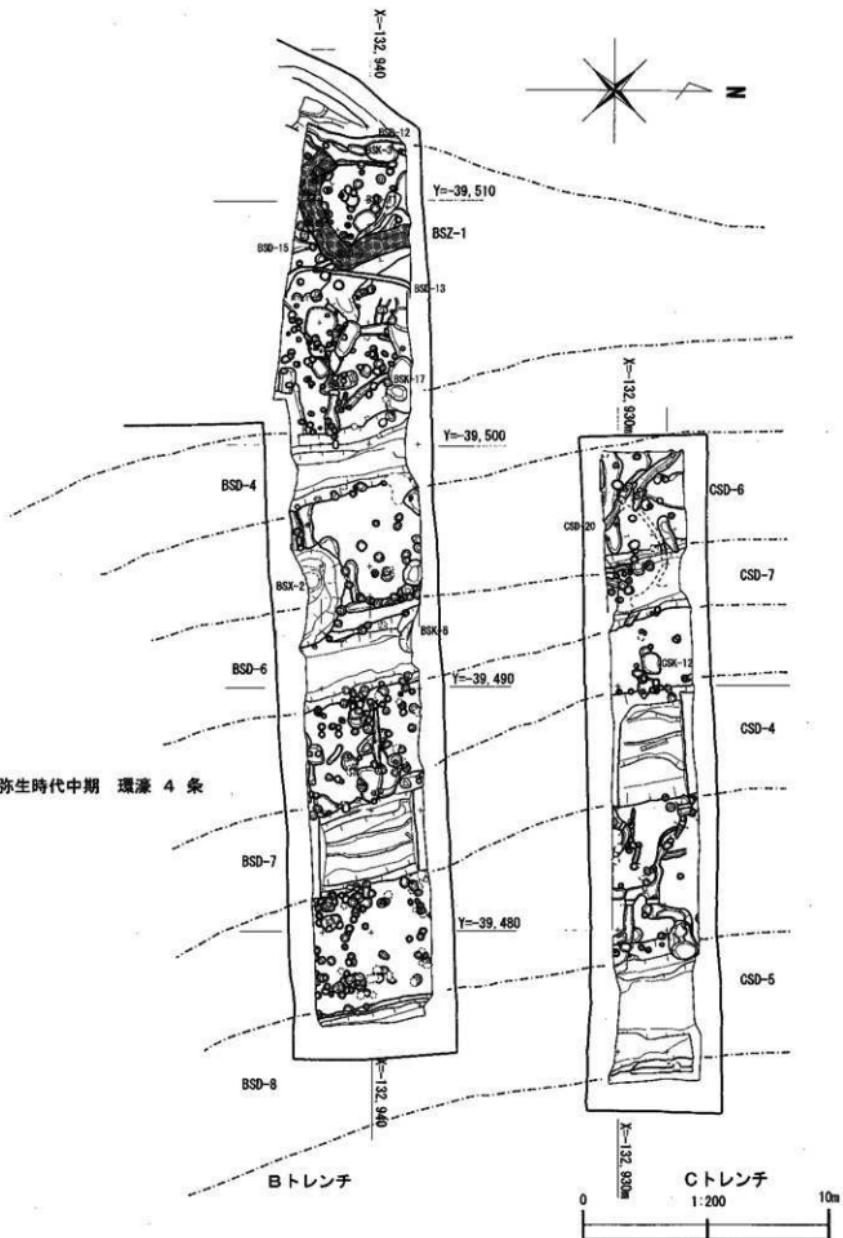


E 1層から弥生時代後期の完形土器が多量に出土している。F層は暗灰色粘土に多量の黄橙色シルトブロックを含む。G層は黒色粘土に多量のぶい黄褐色土を含む。H層は黒褐色粘土に灰白色粘土ブロックを含む。I層も黒色粘土に灰白色粘土ブロックを含む。重複関係は弥生時代中期の環濠BSD-6を切っている。出土遺物は弥生時代後期の壺（短頸・長頸・直口・広口・複合口縁壺）・甕・鉢・高杯・器台などの土器を中心に、石鐵・スクレイバー・尖頭器・石包丁・磨製石斧や砥石等の石器、竹や炭化した木、土錘・杓形土製品などが出土している。土器の器種組成は計1,067点中（器種のわかるもの）、甕510点（48%）・壺292点（27%）・高杯152点（14%）・鉢72点（7%）・蓋28点（3%）・器台10点（1%）水差1点、その他2点であった。特に壺は直口壺や短・長頸壺の出土が多くみられ、なかには胴部を焼成後に打ち欠いたものやヘラ描きで波状文等の文様を描いたものもみられた。

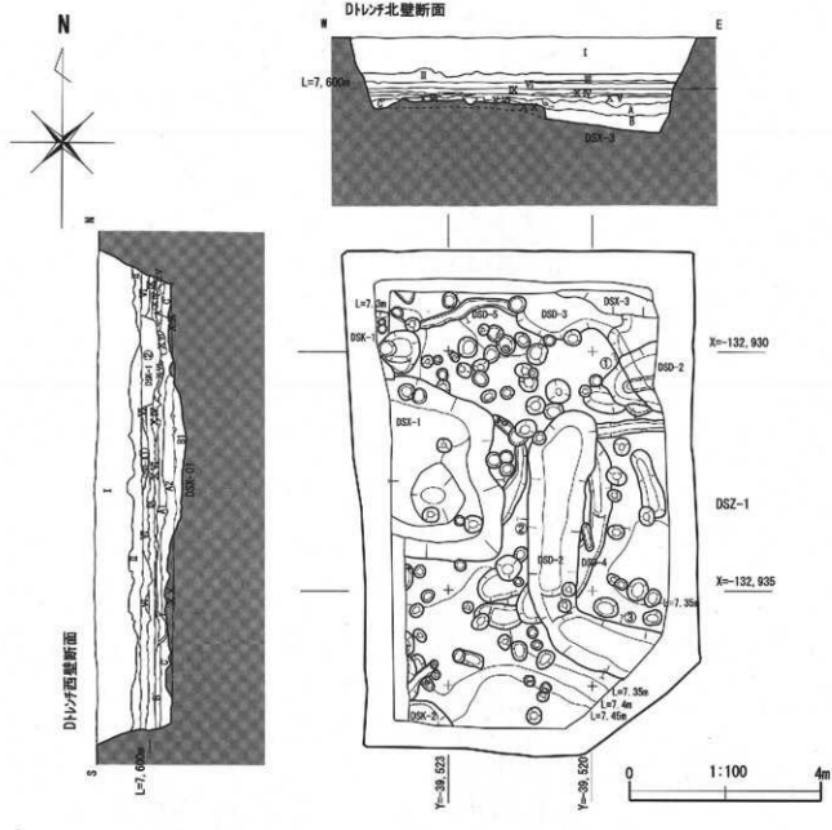
BSK-8およびBSX-2から出土した土器器種組成を比較すると、基本的には同じような割合であることが伺え、ともにその出土量から一括性が高く廃棄土坑である可能性が指摘できる。また、BSX-2については単なる廃棄というだけではなく、特殊な壺を廃棄する傾向がうかがえることから祭祀に関連する遺構と考えられる。

また、今回の調査では円形～楕円形を呈する土坑（ASK-2・3・5・12・13・17・BSK-10・CSK-2・3）や長楕円形を呈する土坑（ASK-7・8・10・18・BSK-7・9・11・12）、方形を呈する土坑（ASK-6・11・CSK-7）がある。円形～楕円形を呈する土坑は直径0.9～1.8m、深さは0.3～0.6m、長楕円形を呈する土坑は長軸1.1～2.1m、深さ0.3～0.5m、方形を呈する土坑は直径1.1～1.3m、深さ0.3～0.6mをはかる。

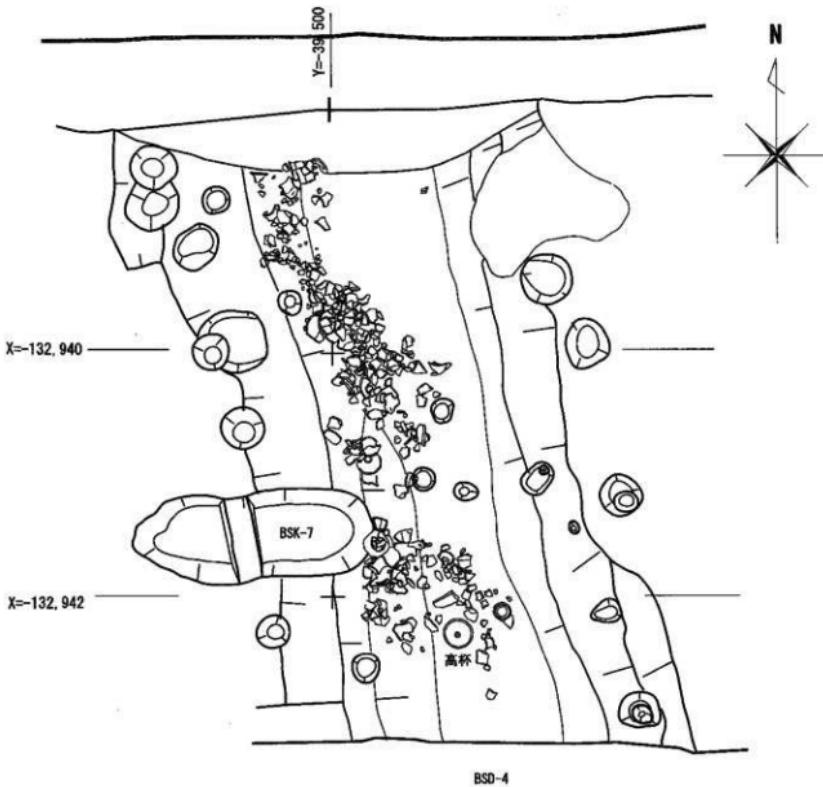
j 大溝（弥生時代後期～古墳時代前期初頭）第10～13・22図 弥生時代後期から古墳時代前期初頭頃（庄内式併行期）を主体とする第2遺構面では、AトレントからL字に屈曲する大溝（ASD-8）が検出されている。南北方向にのび、南側で東へ屈曲し、平成18年度調査(HN06-2)で検出されたSD-1と繋がるものと予想される。そのSD-1は弥生時代後期～古墳時代前期初頭頃の遺物を大量に含み、破鏡（漢鏡）が出土しており、幅4.3～4.8m、深さ1.3～1.45m、底面の標高T.P.5.1mをはかる。今回の調査で検出された大溝（ASD-8）の規模は長さ南北26m以上、東西14m以上、幅4.5～5.5m、深さ1.5～1.7m、底面の標高T.P.5.65mをはかる。この大溝（ASD-8）はAトレントにのみ検出されることから、B・Dトレントの間を通って、北側に続くものと思われる。主軸は南北方向がN11°E、東西方向がN72°Wをはかる。断面形は逆台形・U字形、底面はほぼ平らで壁はやや急傾斜を呈する。埋土はA～O層の15層に大別され、27層に細分される。A層は灰黄褐色土にぶい黄褐色シルトを含む。B層は灰黄褐色土に多量の褐灰色砂壤土（粗砂）を含む。C層は灰黄褐色土に多量の明緑灰色シルトを含む。D層は4層に細分され、灰黄褐色砂壤土に明緑灰色シルトを含む。E層は2層に細分され、灰黄褐色砂壤土に多量の明オリーブ灰色シルトを含む。F層は3層に細分され、明オリーブ灰色シルトに褐灰色シルトを含む。G層は層状の黒色粘土に灰黄褐色砂壤土や木片を含む。H層は2層に細分され、層状の灰黄褐色砂壤土（粗砂）に明オリーブ灰色シルトや木片を含み、酸化鉄の沈殿がみられる。I層は3層に細分され、黒褐色粘土を主体とし褐色土や層状の明青灰色シルトを含む。J層も3層に細分され、灰白色砂壤土（粗砂）に層状の灰黄褐色シルトや木片、腐葉を多量に含み、酸化鉄の沈殿がみられる。K層は黒色粘土に明オリーブ灰色シルトと多量の木片を含む。L層は北側斜面にのみみられ、黒色粘土に明オリーブ灰色シルトを含む。M層は2層に細分され、灰黄褐色シルトに黒色粘土ブロックや明青灰色シルトを含む。N層は灰白色粘土に黒色粘土を少し含む。O層は壁崩落につながる浸食



第17図 東奈良遺跡 (HN06-3) B・Cトレンチ第3面平面図

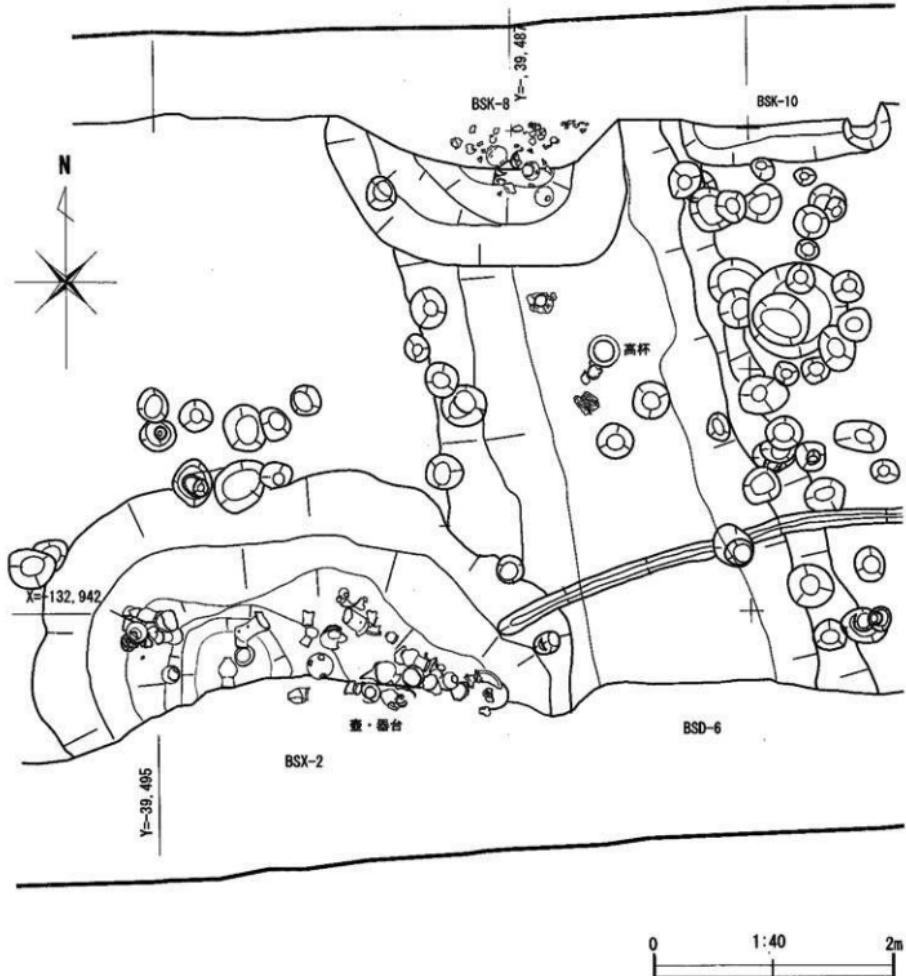


第18図 東奈良遺跡 (HN06-3) Dトレンチ平・断面図

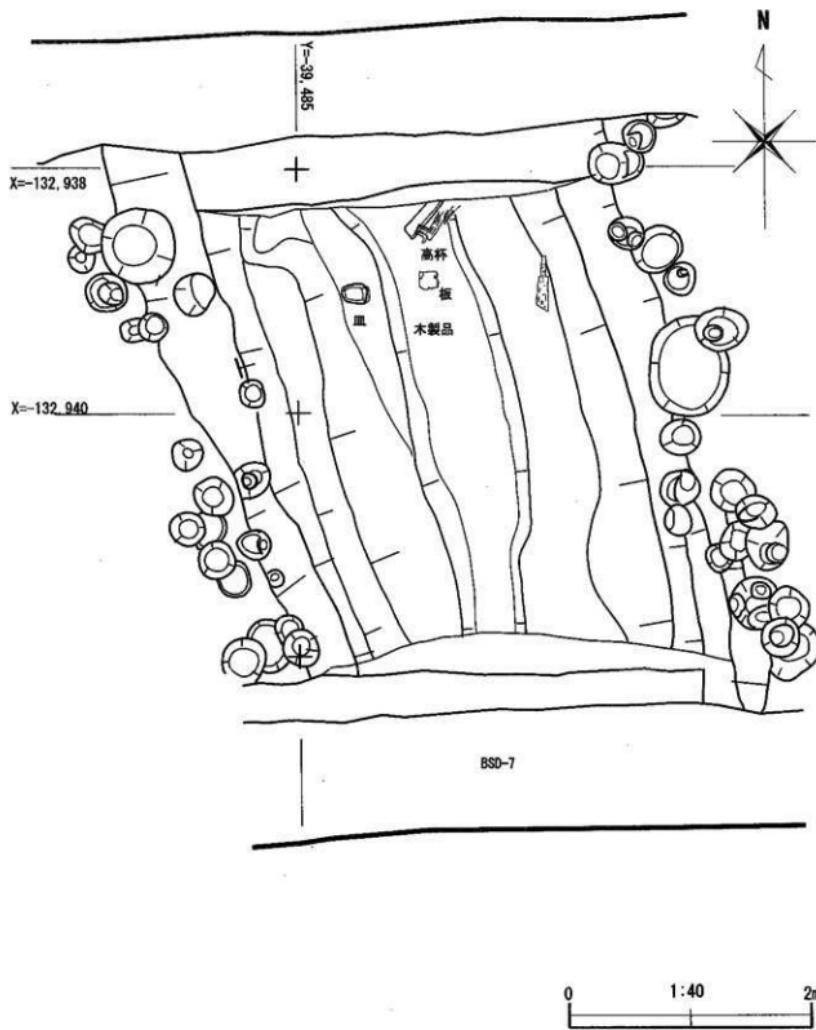


0 1:40 2m

第19図 東奈良遺跡 (HN06-3) BSD-4 遺物出土状況図



第20図 東奈良遺跡 (HN06-3) BSX-2/BSD-6/BSK-8遺物出土状況図



第21図 東奈良遺跡（HN06-3）BSD-7 遺物出土状況図

作用で、地山の黄橙色粘土に灰白色粘土や黒色粘土が亀裂から入り込み剥離した層である。重複関係は弥生時代中期の方形周溝墓群（ASZ-1～4・7・8）を壊し、古墳時代後期の溝（ASD-14）や中世の溝（ASD-4）等に切られている。出土遺物は調査面積の大きなウェイトを占める割には少量で、今回出土した総土器量の1.7%に過ぎず弥生時代後期～古墳時代前期初頭頃の土器を中心に出土している。その内容は壺・甕・高杯・鉢・器台・ミニチュアや土師器小型丸底壺・器台などである。方形周溝墓群を壊していることから若干、弥生時代中期の土器も混じる。土器の器種組成は計167点中、壺73点（44%）・甕53点（32%）・高杯18点（11%）・鉢11点（7%）・蓋9点（5%）・器台2点（1%）他1点となっている。

以上のことから、大溝の埋土に多量に含まれる粗砂・酸化鉄の沈殿・木片・落ち葉や出土遺物の少なさ、大溝の平面形（壁の崩落箇所の多さ）等から推察すると、水流があったことがうかがえる。このことから、前述したSD-1と同一であると考えると、底面の標高はSD-1が0.5mほど低いことから北から南へ流れ屈曲して東方向へと流れていたことが想定される。

まとめ（第10・34図） 今回の調査では弥生時代前中期～中期にかけての環濠が4条確認され、その外側（西側）に方形周溝墓を中心とした墓域が広がっていることがあらためて確認された。これまでの調査において、弥生時代前中期～中期の環濠は6～11本程確認されているが、今回の調査によって東奈良遺跡の弥生時代環濠集落の規模と集落周辺の様相が一段と鮮明になりつつある。さらに、のちの時代に統いて弥生時代後期から古墳時代前期初頭にかけての東奈良一帯の様相も徐々にではあるが、近年の調査結果から明らかになりつつある。付け加えると、このあとに報告する東奈良遺跡（HN07-1～3）の調査、特にHN07-1の調査は今回の調査区の西隣に位置し、弥生時代中期の方形周溝墓と土塙墓、環濠が1条検出されている。この環濠が存在することは集落規模の拡大という大きな意味をもつものである。

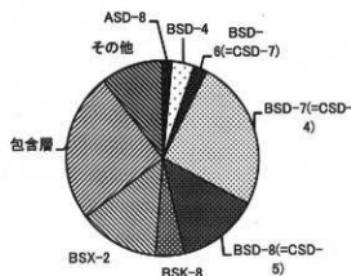
今回検出された4条の環濠の開削時期は内側の2本の溝（BSD-7・8・CSD-4・5）が弥生時代前期後半～末頃にはじまり、少し遅れて外側2条（BSD-4・6・CSD-7）は弥生時代中期前葉には開削されるが、内側（東側）2条の環濠と比較すると環濠外側に位置するこれらの環濠は幅や深さといった規模の点から一回り小規模である。そして、弥生時代中期後葉に4条の環濠は改修されていることから、少なくとも弥生時代中期前葉にはこの辺りまで集落が展開し、その外側に計画的に墓域を配置している。

環濠集落の規模は弥生時代前期では、最内の2条の環濠内径が90m前後、環濠外側では120m前後になる。前期後葉には、この環濠から30～50m広がって内径が210～230m、外径で240～250mの範囲になる。さらに、中期前葉には環濠が外側に2～3条掘削され拡大し、内径が300～340m、外径が310～360mの範囲になる。中期後葉段階ではこれら環濠の改修が多々見られることから、東奈良遺跡の集落規模の拡大は弥生時代中期前葉段階以降には一段落しおよそ固定化されていたものと思われる。しかしながら、時代の移ろいとともに東奈良の一帯がどのように変遷していくのか、まだ不明な点が多いことも確かである。今一度、既往調査との照合・再検討によって検証する必要があろう。

今回の調査では貴重な成果がみられたが、弥生時代から古墳時代、古代という社会をとおして、歴史上この東奈良という地域がどのような地域であったか、あきらかにしていきたい。

造構	%	重量(Kg)
ASD-8	1.7%	41.2
BSD-4	3.8%	94.6
BSD-6(=CSD-7)	2.3%	56.2
BSD-7(=CSD-4)	25.0%	624.2
BSD-8(=CSD-5)	13.8%	344
BSK-8	4.8%	120.4
BSX-2	13.4%	335.1
包含層	24.8%	617.8
その他	10.4%	259.8
合計		2493.3

土器量



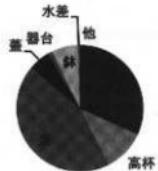
件数	甕	高杯	壺	蓋	器台	鉢	水差	その他	合計
数量	3,560	1,025	2,844	232	89	485	67	27	8,329
%	43%	12%	34%	3%	1%	6%	1%	0%	

ASD-8	甕	高杯	壺	蓋	器台	鉢	水差	他	合計
数量	53	18	73	9	2	11	1	0	167
%	32%	11%	44%	5%	1%	7%	0%	0%	

NH06-3 土器全体



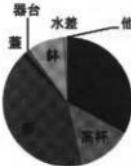
ASD-8



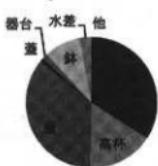
BSD-4	甕	高杯	壺	蓋	器台	鉢	水差	他	合計
数量	92	38	116	3	3	25	2	1	280
%	33%	14%	41%	1%	1%	9%	1%	0%	

BSD-6(=CSD-7)	甕	高杯	壺	蓋	器台	鉢	水差	他	合計
数量	46	22	48	1	2	12	4	0	135
%	34%	16%	36%	1%	1%	9%	3%	0%	

BSD-4



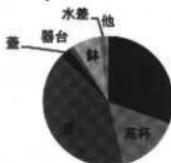
BSD-6(=CSD-7)



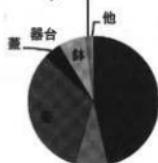
BSD-7(=CSD-4)	甕	高杯	壺	蓋	器台	鉢	水差	他	合計
数量	543	283	729	42	24	121	32	6	1,780
%	31%	16%	41%	2%	1%	7%	2%	0%	

BSD-8(=CSD-5)	甕	高杯	壺	蓋	器台	鉢	水差	他	合計
数量	398	68	279	36	1	56	13	5	856
%	46%	8%	33%	4%	0%	7%	2%	0%	

BSD-7(=CSD-4)



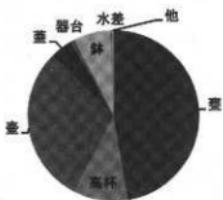
BSD-8(=CSD-5)



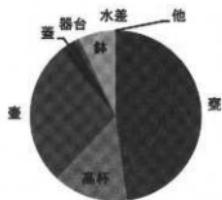
BSK-8	蓋	高杯	壺	蓋	器台	鉢	水差	他	合計
数量	169	37	107	14	3	25	1	1	357
%	47%	10%	30%	4%	1%	7%	0%	0%	

BSX-2	壺	高杯	壺	蓋	器台	鉢	水差	他	合計
数量	510	152	292	28	10	72	1	2	1,067
%	48%	14%	27%	3%	1%	7%	0%	0%	

BSK-8



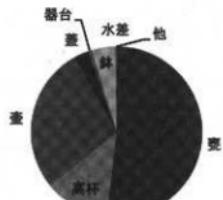
BSX-2



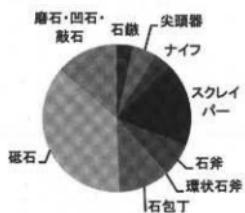
包含層	壺	高杯	壺	蓋	器台	鉢	水差	他	合計
数量	1,449	341	774	75	22	121	7	2	2,791
%	52%	12%	28%	3%	1%	4%	0%	0%	

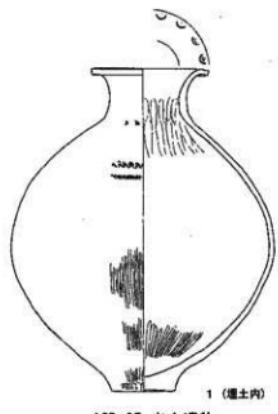
石器	尖頭器	ナイフ	スクレイバー	石斧	環状石斧	石包丁	砥石	磨石・凹石・敲石	合計	
数量	16	23	17	81	33	1	48	164	60	443
%	5%	5%	4%	18%	7%	0%	11%	37%	14%	

包含層

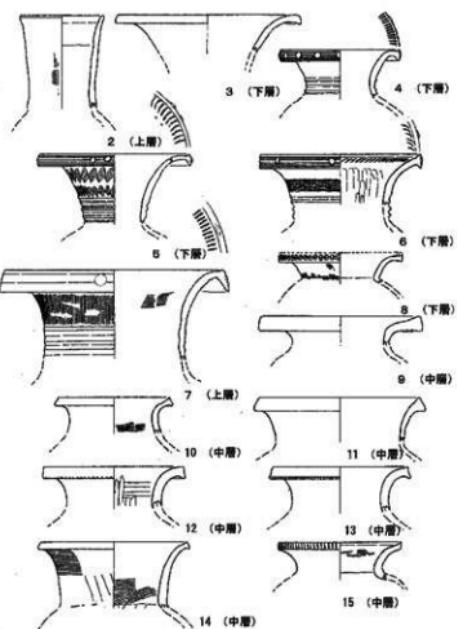


HN06-3 石器

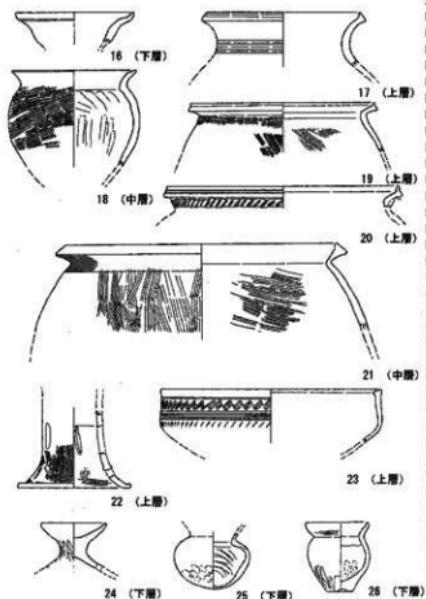




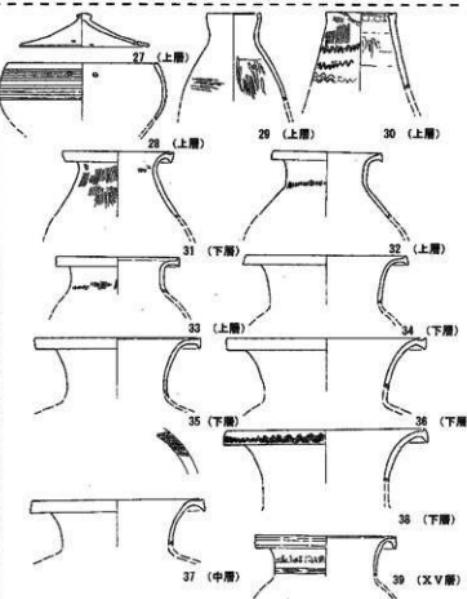
ASD-05 出土遺物



ASD-08 出土遺物 1

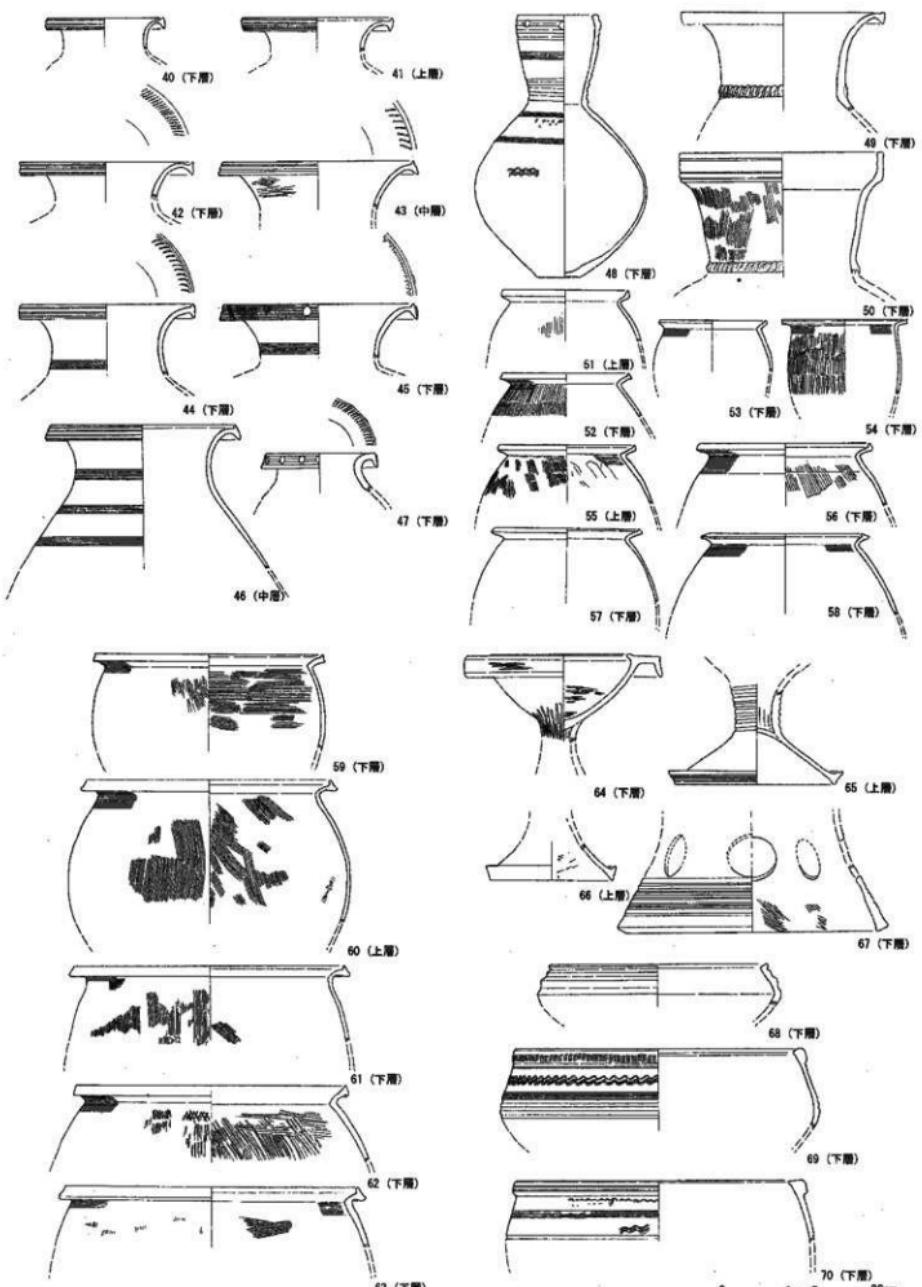


ASD-08 出土遺物 2

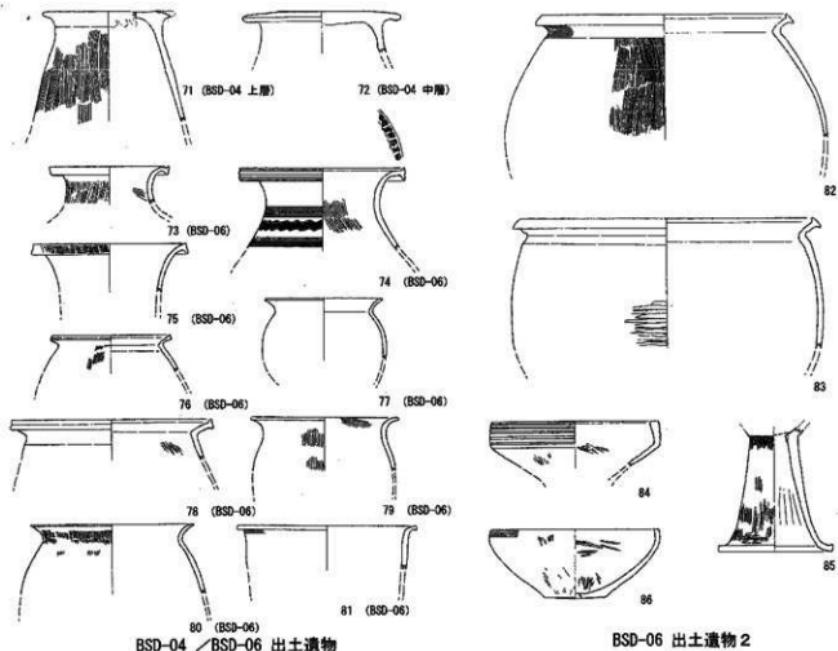


BSD-04 出土遺物 1 0 1 : 6 20cm

第22図 東奈良遺跡 (HN06-3) 出土遺物 1

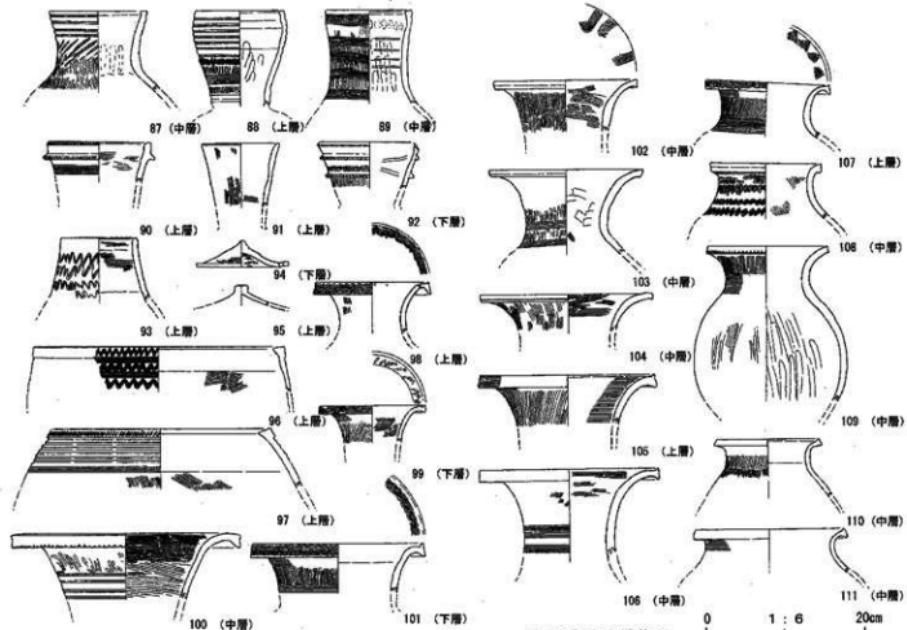


第23図 東奈良遺跡 (HN06-3) 出土遺物 2/BSD-04



BSD-04 / BSD-06 出土遺物

BSD-06 出土遺物 2

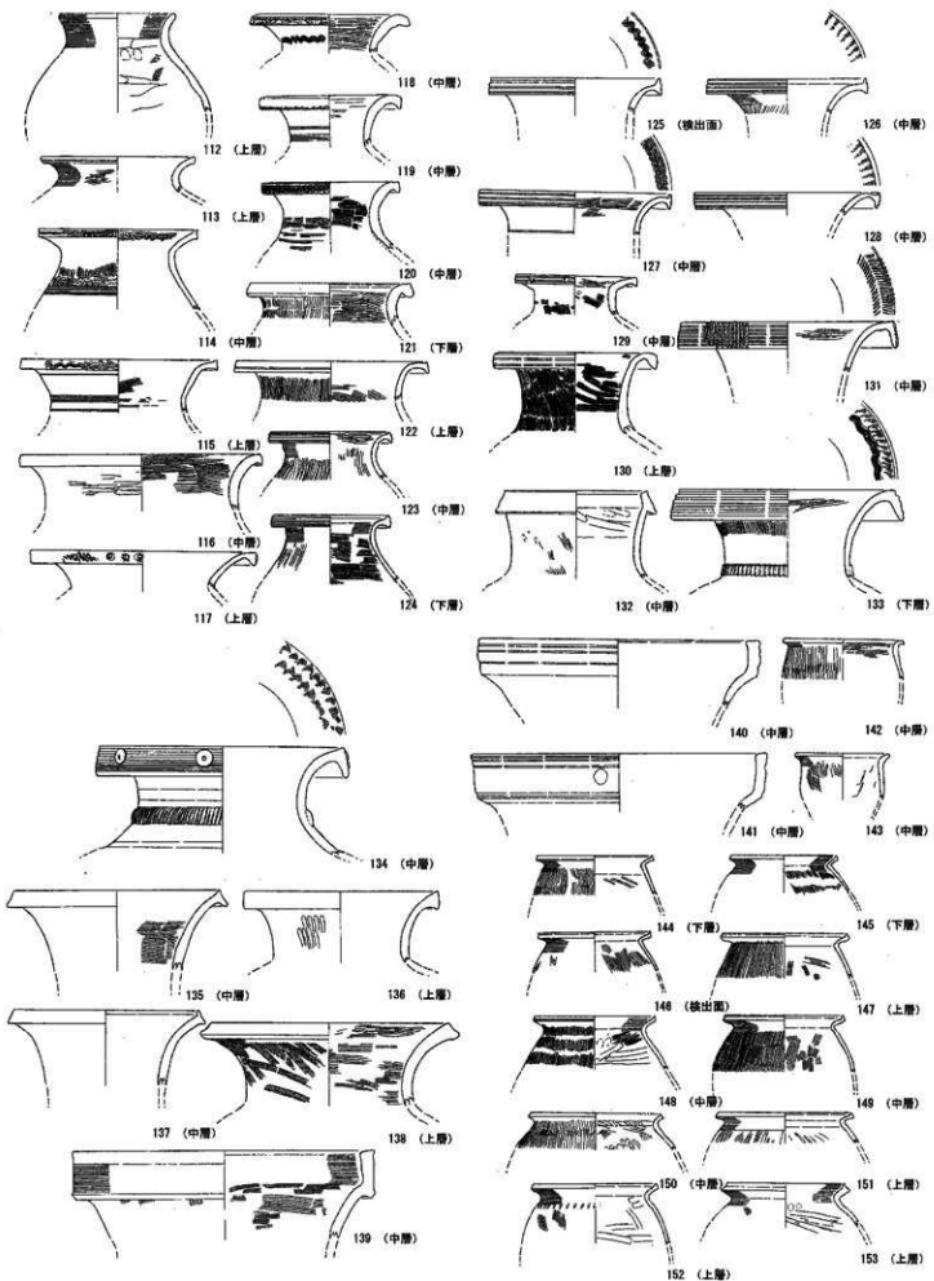


BSD-07 出土遺物 1

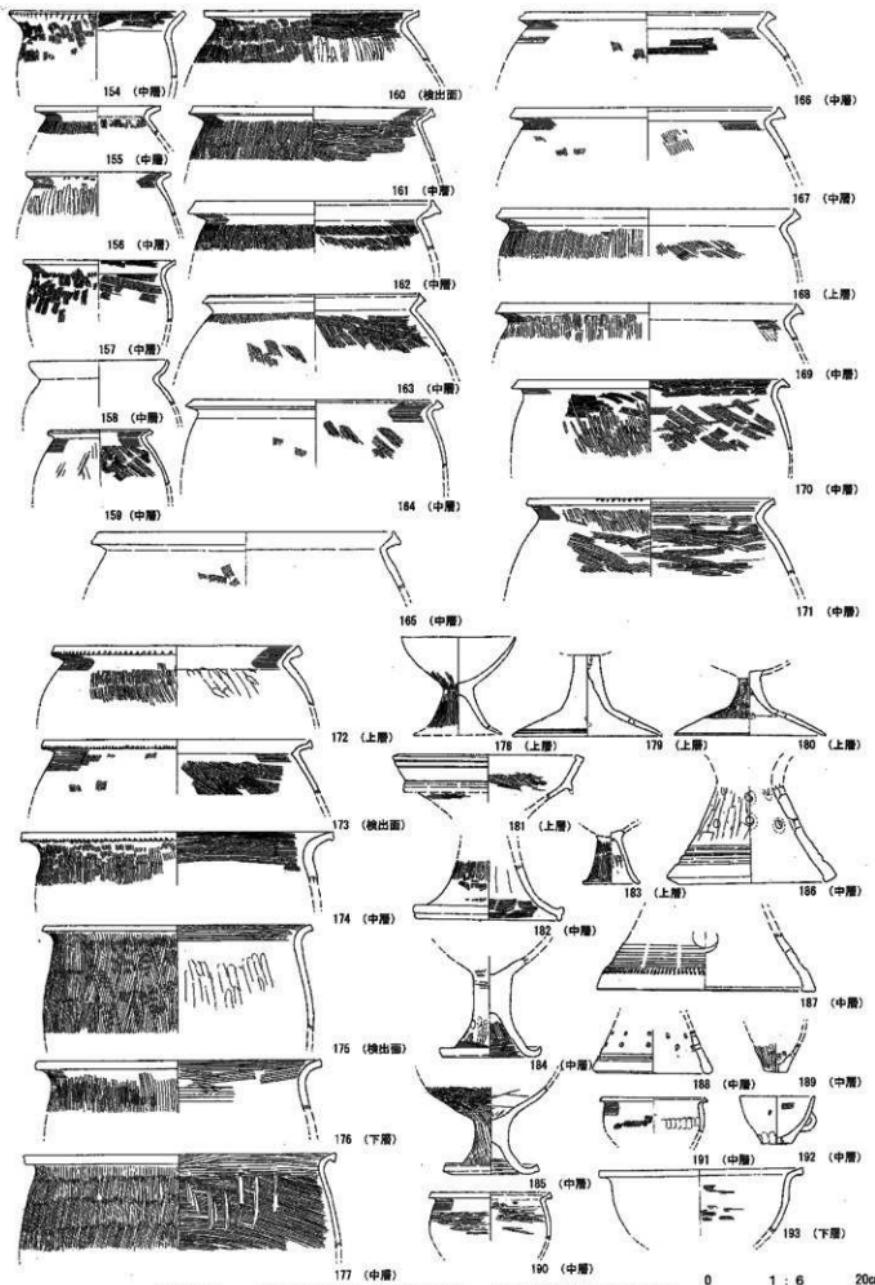
BSD-07 出土遺物 2

0 1 : 6 20cm

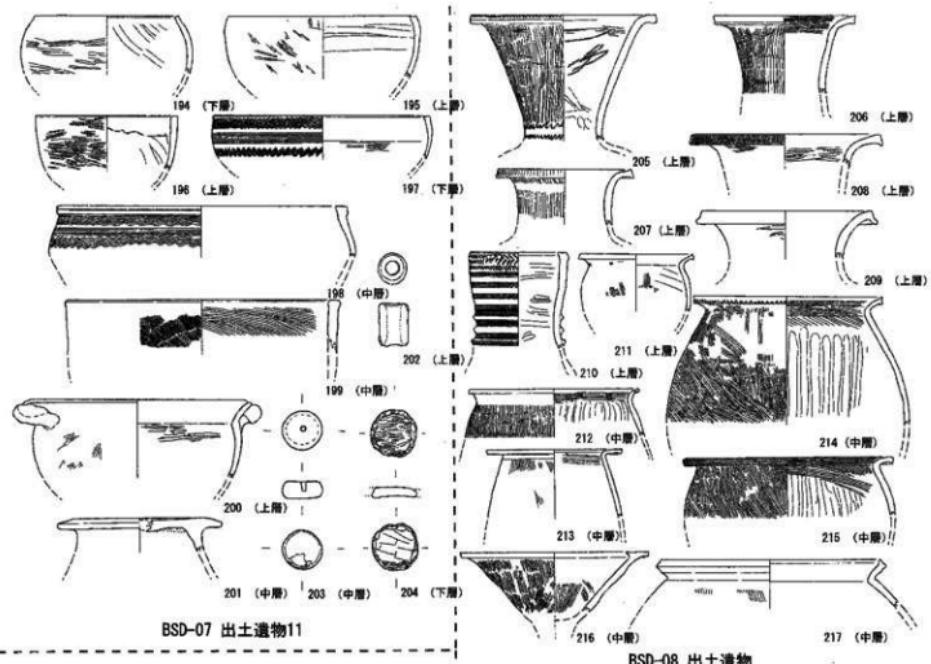
東奈良遺跡 (HN06-3) 出土遺物 3



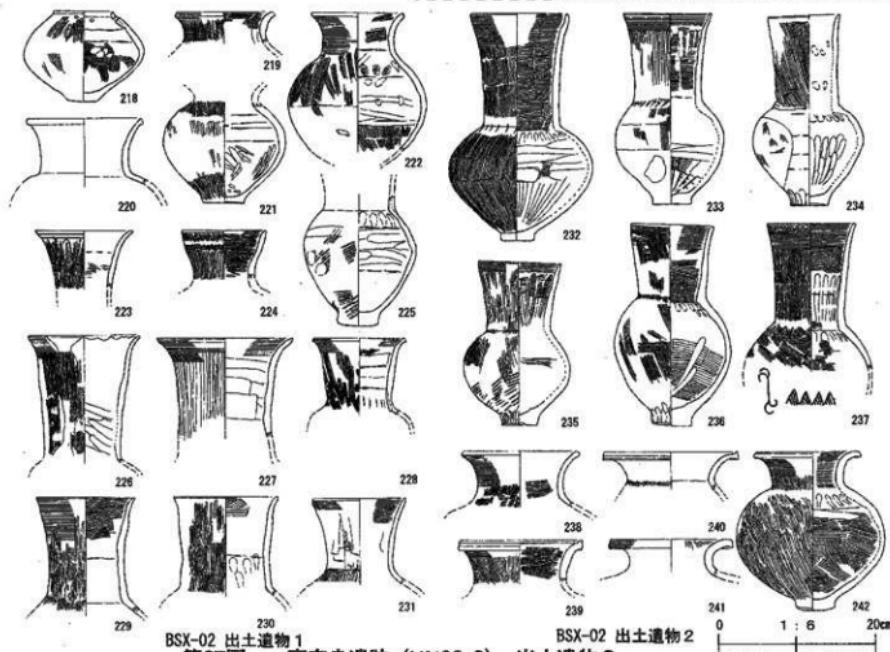
第25図 東奈良遺跡 (HN06-3) 出土遺物4 / BSD-07



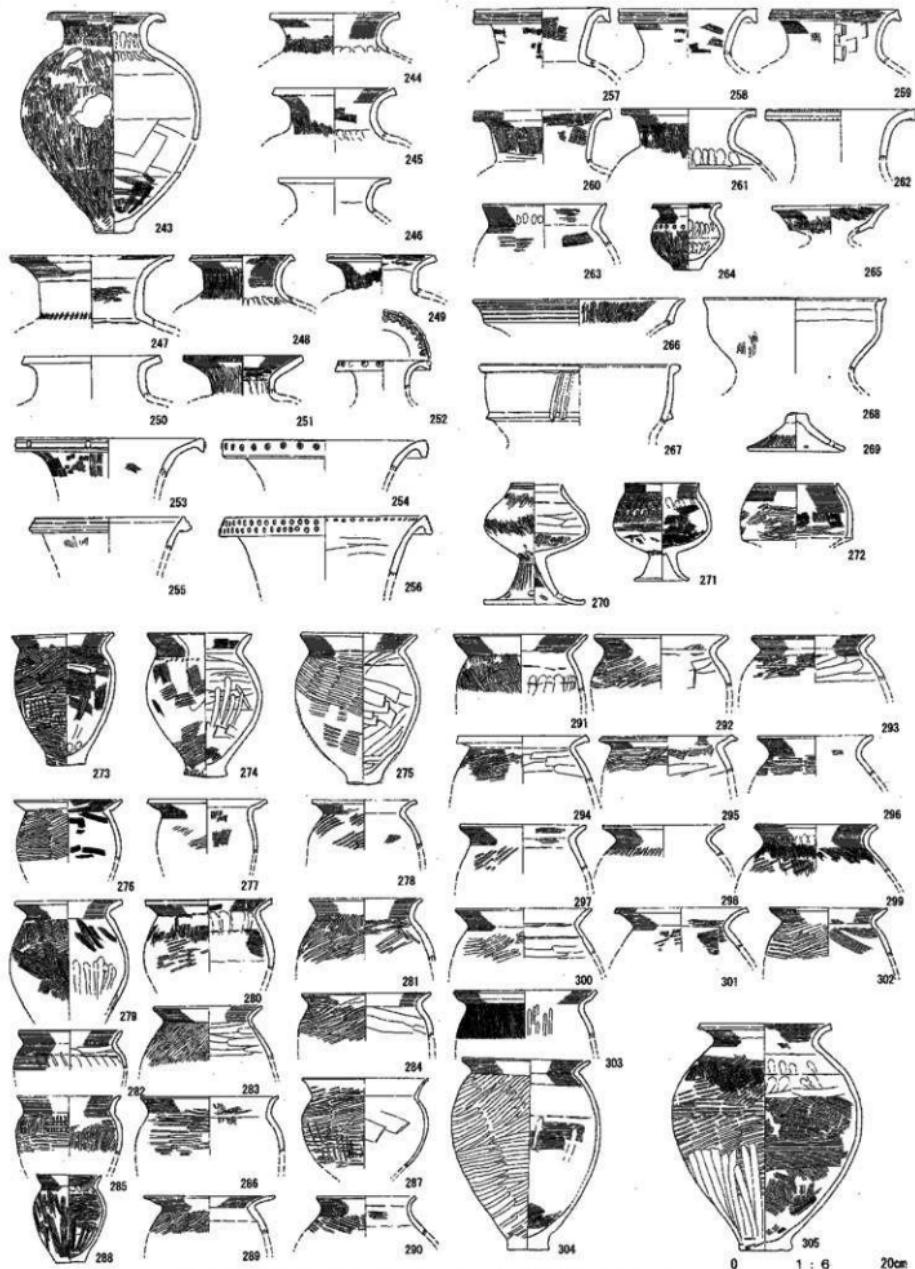
第26図 東奈良遺跡 (HN06-3) 出土遺物5/BSD-07



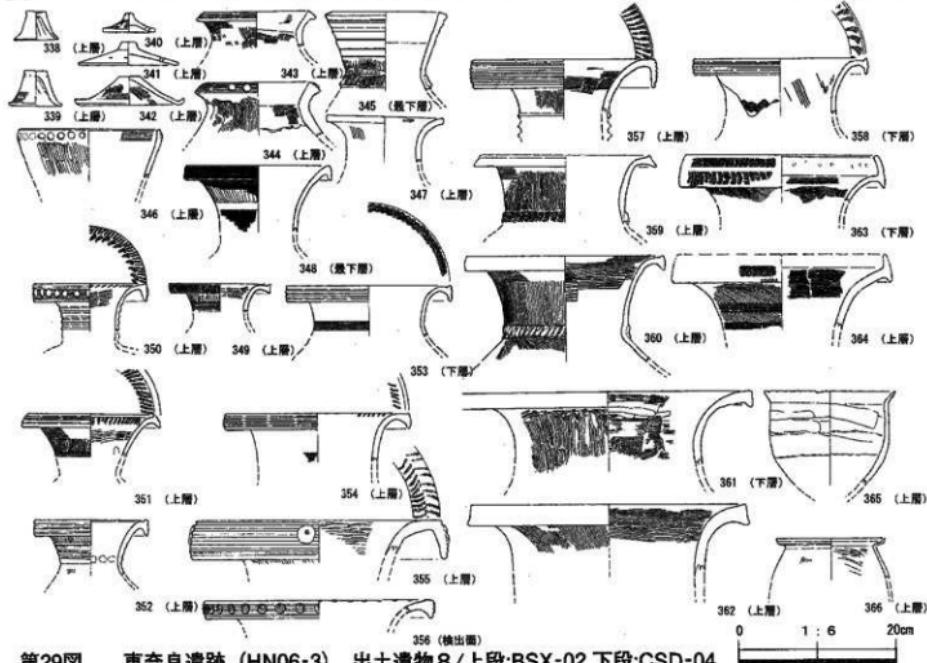
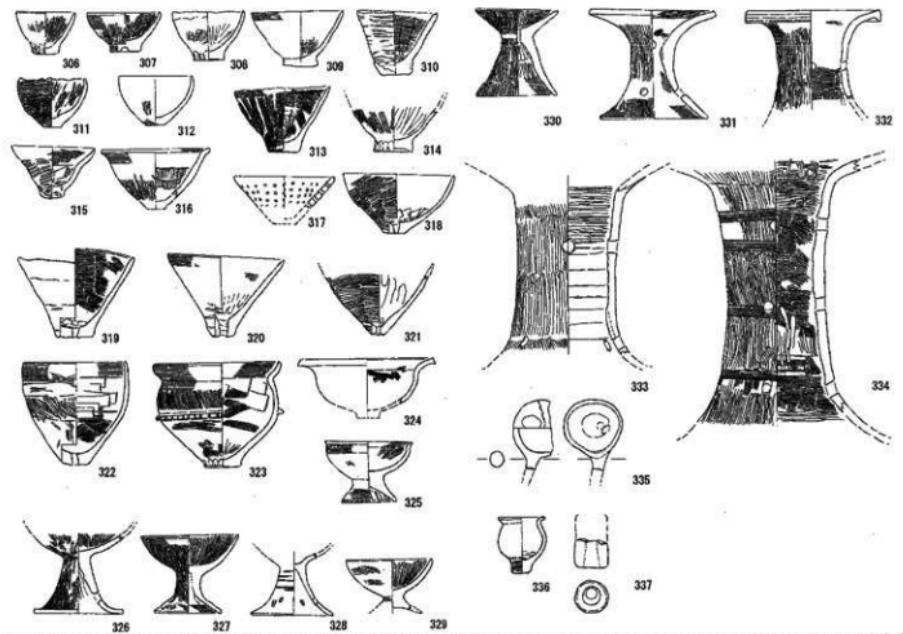
BSD-08 出土遺物



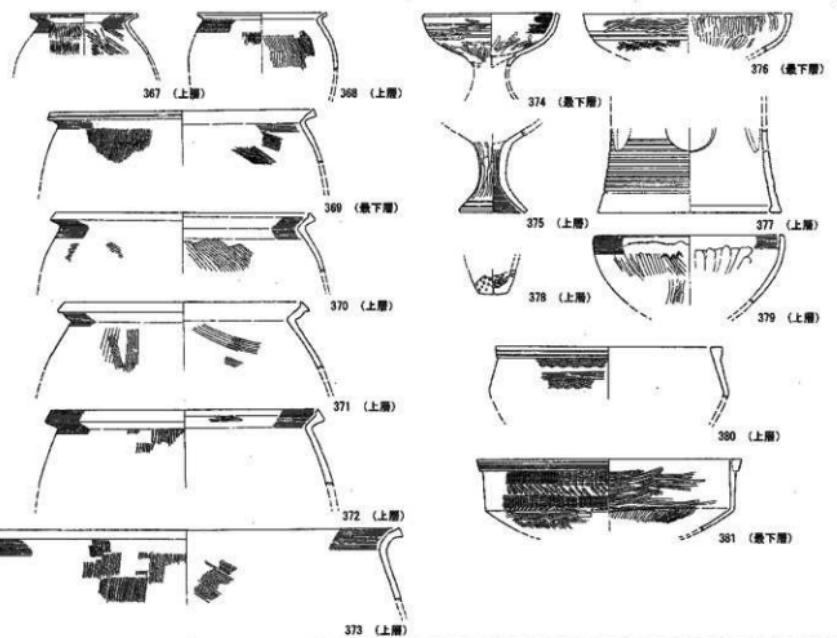
第27図 東奈良遺跡 (HN06-3) 出土遺物6



第28図 東奈良遺跡 (HN06-3) 出土遺物7/BSX-02

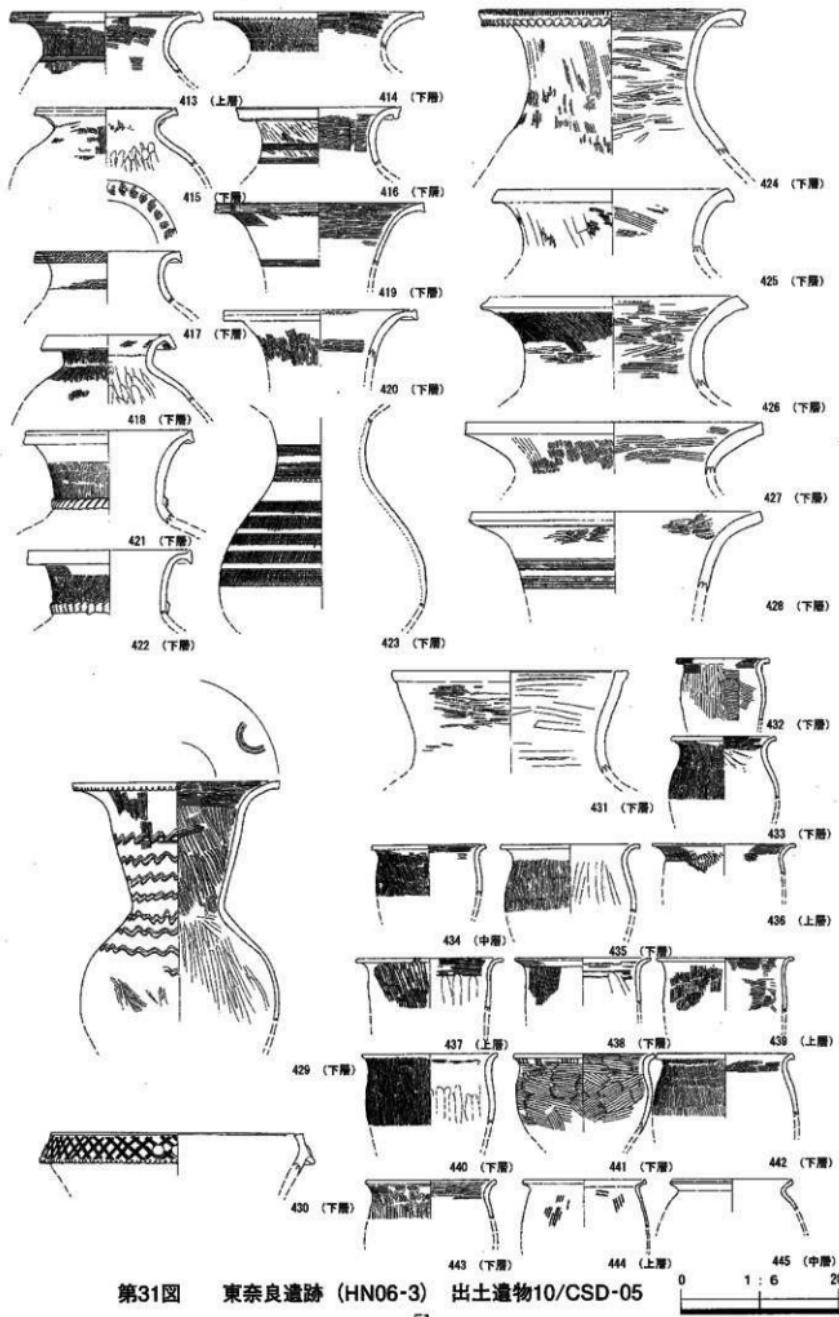


第29図 東奈良遺跡 (HN06-3) 出土遺物8/上段:BSX-02 下段:CSD-04

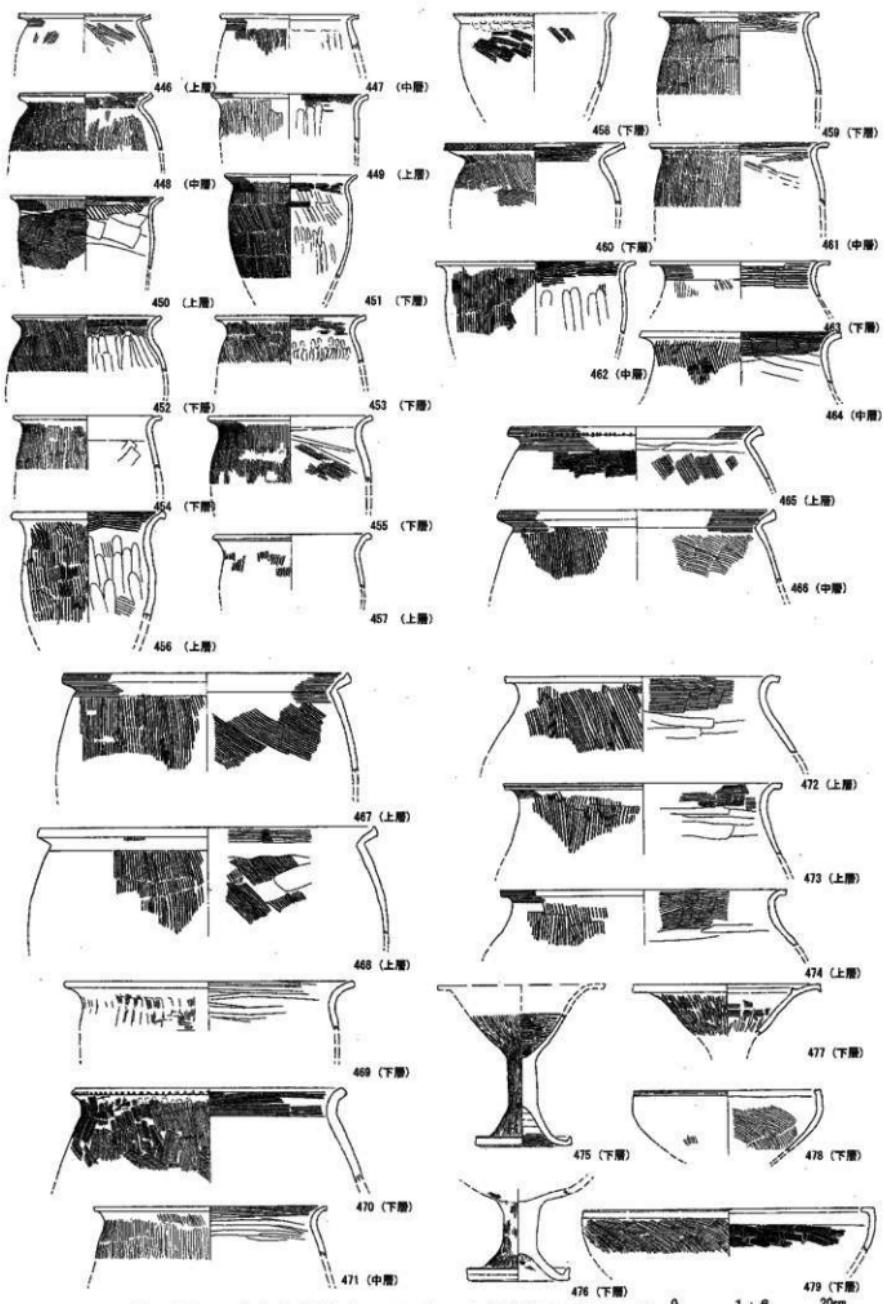


第30図 東奈良遺跡 (HN06-3) 出土遺物9/上段:CSD-04 下段:CSD-05

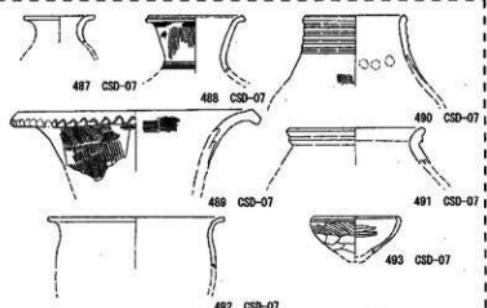
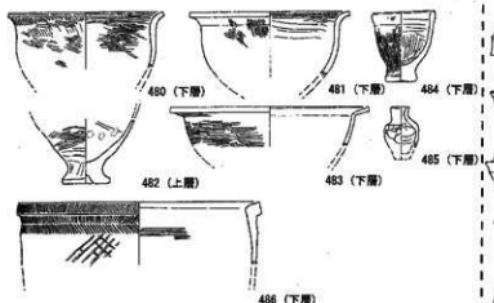
0 1 : 6 20cm



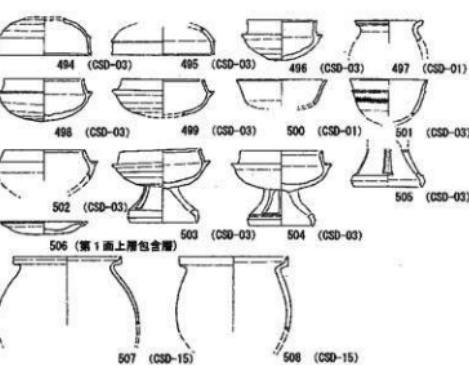
第31図 東奈良遺跡 (HN06-3) 出土遺物10/CSD-05



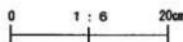
第32図 東奈良遺跡 (HN06-3) 出土遺物11/CSD-05



CSD-05 出土遺物11・CSD-07 出土遺物



Cトレンチ 第1～2面 出土遺物



第33図 東奈良遺跡 (HN06-3) 出土遺物12



第34図 東奈良遺跡 (HN06-3) 土地利用想定図

回数	品目	番号	種類	種類	法 量		調 築		色 漆		地	成 分	固 体	時 間	備 考		
					口徑	底径	底径 (底面)	内 面	外 面	内面							
22 1 1	ASD 05	A150+・下層	既生 土器	広口盤	15.1	33.7	8.0	41.5	フ、ヘリシテ	底白	底白	○ ○	70	Ⅷ	0.3~3mmの黒褐色白色砂粒合		
22 20 2	ASD 04	A150+・上層・砂層	既生 土器	高筒形 (生地 底面)	10.5	-	-	12.0	リザード・縞模様	ヘリシテ	灰黄褐	灰黄褐	○ ○	15	Ⅷ	0.3~5mmの白雲母砂粒	
22 10 3	ASD 08	A150+・下層	既生 土器	広口盤	23.4	-	-	4.6	リザード	リザード	に付い て黒い 斑状	底白	○ ○	5	Ⅴ	0.3~4mmの真白色砂粒合、表面摩耗すむ、内外部影響	
22 15 4	ASD 04	A150+・下層・粗砂層	既生 土器	広口盤	15.2	-	-	8.3	斑状文	リザード	底白	底白	○ ○	5	Ⅶ	0.3~1mmの褐色灰色砂粒少含、口縁部周囲に約3mmの円形浮文が1個點付せら	
22 7 5	ASD 08	A150+・中下層(底 部)	既生 土器	広口盤	19.0	-	-	9.0	ヘリシテ	リザード	底白	底白	○ ○	10	Ⅷ-2	0.3~1.5mmの黒褐色合、口縁部細に円形點付浮文2個點付3箇所、反対に浮文2箇所	
22 14 6	ASD 04	A150+・中下層(底 部)	既生 土器	広口盤	20.4	-	-	4.6	斜目文・フ	リザード	底白	底白	○ ○	5	Ⅶ	0.3~3mmの白雲母砂粒多、付いた後、約3mmの粘付斜目浮文、口縁部周囲が擦されると?	
22 11 7	ASD 04	A150+・上層・砂層	既生 土器	広口盤	28.0	-	-	11.8	リザード	リザード	に付い て黒い 斑状	底白	底白	○ ○	5	Ⅸ	0.3~5mmの白雲母砂粒多含、竹管文
22 18 8	ASD 04	A150+・下層	既生 土器	広口盤	15.6	-	-	3.8	リザード	リザード	に付い て黒い 斑状	底白	○ ○	5	Ⅵ	0.3~2mmの白雲母砂粒多含、口縁部細に竹管文か?付いた後お	
22 12 9	ASD 08	A150+・中下層(底 部)	既生 土器	広口盤	16.9	-	-	2.6	リザード?	リザード?	灰黄褐	灰黄褐	○ ○	5	Ⅴ-3	0.3~2mmの白雲母砂粒多含	
22 9 10	ASD 04	A150+・中下層(底 部)	既生 土器	広口盤	14.2	-	-	4.6	リザード	リザード	底白	底白	○ ○	5	Ⅱ~Ⅳ	0.3~2mmの真白色砂粒合	
22 13 11	ASD 04	A150+・(南北2つの 部)	既生 土器	広口盤 (生地 底面)	10.3	-	-	5.7	リザード	リザード	褐	褐	○ ○	5	~V-5	0.3~3mmの黒褐色砂粒多含	
22 8 12	ASD 04	A150+・(南北2つの 部)	既生 土器	広口盤	17.9	-	-	5.4	ヘリシテ・フ	斜目	リザード	底白	底白	○ ○	5	Ⅱ~Ⅳ	0.3~1mmの黒褐色砂粒合
22 8 13	ASD 04	A150+・(南北2つの 部)	既生 土器	広口盤	17.1	-	-	6.0	リザード	リザード	に付い て黒い 斑状	底白	○ ○	5	Ⅱ~Ⅳ	0.3~4mmの真白色砂粒	
22 15 14	ASD 04	A150+・中下層(底 部)	既生 土器	広口盤	-	-	-	4.0	リザード	リザード	明暗斑	明暗斑	○ ○	15	V~VI	0.3~0.5mmの黑白色砂粒合	
22 17 15	ASD 04	A150+・中下層(底 部)	既生 土器	広口盤	15.8	-	-	4.8	ヘリシテ・フ	リザード	灰黄	灰黄	○ ○	10	VI-2	0.3~3mmの白雲母砂粒多含	
22 21 16	ASD 04	A150+・下層	既生 土器	広口盤 (底面)	15.1	-	-	4.0	リザード?	リザード	沈泡	沈泡	○ ○	25	VI	0.3~4mmの深褐色白色砂粒合	
22 19 17	ASD 08	A150+・上層・砂層	既生 土器	広口盤	18.7	-	-	7.0	リザード	リザード	模	模	○ ○	5	Ⅸ?	0.3~1mm、表面摩耗すむ	
22 24 18	ASD 04	A150+・(南北2つの 部)	既生 土器	要	15.7	-	-	12.4	口:リザード・ 体:ヘリシテ	リザード	底白	底白	○ ○	35	VI-1	0.3~3mmの褐褐色白色砂粒合	
22 25 19	ASD 08	-	既生 土器	要	23.4	-	-	6.3	リザード	リザード	黑	黑	○ ○	5	VI-9	0.3~1mmの白色砂粒合	
22 23 20	ASD 08	A150+・上層・砂層	既生 土器	要	29.6	-	-	2.8	平耕	凹線文・貼した突起・斜目文	底白	底白	○ ○	5	Ⅲ~IV	0.5~4mmの白色砂粒少含	
22 21 21	ASD 04	A150+・中下層(底 部)	既生 土器	要	34.8	-	-	11.3	リザード	リザード	底白	底白	○ ○	10	III~IV-1	0.3~0.5mmの白褐灰色砂粒	
22 5 22	ASD 08	A150+・上層・砂層	既生 土器	研台	14.4	-	-	10.0	ヘリシテ・フ、横孔孔	ヘリシテ・フ、孔	底白	底白	○ ○	50	V	0.3~2mmの白雲母砂粒合	
22 4 23	ASD 08	A150+・底部	既生 土器	鉢(付合)	25.1	-	-	8.8	リザード	リザード	凹線文・貼した突起・斜目文	底白	底白	6	III~IV	0.5~3mmの黒褐色砂粒多含	
22 3 24	ASD 04	A150+・中下層(底 部)	既生 土器	研台	7.25	-	-	6.1	リザード	リザード	底白	底白	○ ○	85	下田Ⅲ、0.5~1mmの白色砂粒多含、影彫刻に2対の穿孔あり(少 7mm規定)		
22 7 25	ASD 04	A150+・中下層(底 部)	既生 土器	小形丸底盤	-	-	-	7.3	リザード	リザード	底白	底白	○ ○	70	下田Ⅲ、0.3~1mmの黒褐色砂粒合、ほぼ丸底		
22 1 26	ASD 04	A150+・中下層(底 部)	既生 土器	既生母器	7.8	-	-	6.6	リザード	リザード	底白	底白	○ ○	5	下田Ⅲ~ 底Ⅳ、VI	0.3~2mmの黒褐色砂粒合	
22 20 27	ASD 04	B150+第2層・南壁	既生 土器	蓋	18.6	-	-	4.3	リザード	リザード	灰	灰	○ ○	40	IV?	0.3~3mmの底白砂粒多含、底部に2個1組の穿孔あり(少 4mm)	
22 29 28	BSB 04	B150+第2層・南壁	既生 土器	蓋	19.4	-	-	7.3	ヘリシテ?	ヘリシテ	底白	底白	○ ○	10	IV	0.1~0.5mmの深褐色砂粒合、口縁部附近に2個1組の穿孔 ありφ4.5mm	
22 21 29	BSB 04	B150+第2層・堆土・ 堆土・水路・空窓・ 四V字・褐色・細土	既生 土器	既生母器	6.76	-	-	11.3	ヘリシテ・フ・ リザード	ヘリシテ・フ・ リザード	付・ 付・ 付	底白	○ ○	20	IV?	0.3~1mmの白色砂粒合	
22 20 30	BSB 04	B150+第2層・堆土	既生 土器	水槽	8.76	-	-	5.9	リザード・ 輪郭痕	リザード・ 輪郭痕	底白	底白	○ ○	5	II~IV-2	0.3~2mmの白雲母砂粒合	
22 15 31	BSB 04	B150+第2層・下盤	既生 土器	広口盤	14.1	-	-	8.4	リザード	リザード	底白	底白	○ ○	10	II-2	0.3~1mmの白色砂粒、5mm程度の小石も含	
22 12 32	BSB 04	B150+第2層・底・ 既生 土器	広口盤	13.8	-	-	8.2	リザード	リザード	底白	底白	○ ○	15	IV-1	0.3~4mmの白雲母砂粒合		
22 14 33	BSB 04	B150+第2層・底・ 既生 土器	広口盤	15.7	-	-	4.8	リザード	リザード	底白	底白	○ ○	5	IV-1	0.3~3mmの白雲母砂粒合		
22 17 34	BSB 04	B150+第2層・下盤	既生 土器	広口盤	20.6	-	-	6.2	リザード	リザード	底白	底白	○ ○	5	IV	0.3~3mm、5~6mmの白色砂粒多含	
22 11 35	BSB 04	B150+第2層・底・ 既生 土器	広口盤	21.1	-	-	7.8	-	-	底白	底白	○ ○	-	-	0.3~4mmの白雲母砂粒合、表面剥離し		
22 9 36	BSB 04	B150+第2層・底・ 既生 土器	広口盤	25.3	-	-	6.8	リザード	リザード	底白	底白	○ ○	10	IV	0.3~3mmの白雲母砂粒合		
22 8 37	BSB 04	B150+第2層・中 既生 土器	広口盤	21.1	-	-	6.0	リザード・ 底白	リザード・ 底白	底白	底白	○ ○	5	IV	0.3~5mmの白雲母砂粒合、裏面の黒褐色が塗り付されている様子		

22	4	38	B5D 04	B-Hop第2面・下層	赤生 土器	広口壺	25.2	-	6.9	177	柄輪状文・E付テ	明褐色	明褐色	○ ○ 5	IV	0.3~4mmの灰褐色砂粒多含	
22	18	39	B5D 04	B-Hop第2面・土壌 XV層・褐色一帯	赤生 土器	広口壺	18.1	-	5.2	177	四輪文(3条)・櫛指状文、直壁 丸	灰白	灰白	○ ○ 30	IV	0.3~2mmの白灰褐色砂粒含	
23	13	40	B5D 04	B-Hop第2面・下層	赤生 土器	広口壺	14.6	-	3.6	177	新?	灰白	灰白	○ ○ 5	IV-1	0.3~4mmの灰褐色砂粒多含	
23	5	41	B5D 04	B-Hop第2面・中 色土	赤生 土器	広口壺	18.8	-	4.2	177	口唇: 四輪文(4条)・E付 新?	灰白	灰白	○ ○ 10	IV	0.3~2mmの灰褐色砂粒含、円錐形あり。中心部は墨色帶	
23	6	42	B5D 04	B-Hop第2面・下層・暗褐色 色土	赤生 土器	広口壺	21.8	-	4.9	177	口唇: 暗褐色文(3条)・E付 新?	灰白	灰白	○ ○ 5	IV	0.3~2mmの墨白色砂粒含	
23	46	43	B5D 04	B-Hop第2面・中 色土・暗褐色土	赤生 土器	広口壺	24.0	-	6.0	177	四輪文(2条)・E付テ	灰白	灰白	○ ○ 20	IV	0.3~1mmの墨白色砂粒含	
23	10	44	B5D 04	B-Hop第2面・下層	赤生 土器	広口壺	21.7	-	8.9	177	口唇: 四輪文(4条)・櫛指状文 直壁丸	灰白	灰白	○ ○ 15	IV-1-2	0.3~3mmの灰褐色砂粒多含	
23	7	45	B5D 04	B-Hop第2面・下層	赤生 土器	広口壺	24.0	-	8.8	177	口唇: 四輪文(5条)・直壁丸・ 円錐形・輪: 13付テ・櫛指状文 平行手行	灰白~ 灰白~ 縫合	灰白~ 灰白~ 縫合	○ ○ 10	IV	0.3~2mmの灰褐色砂粒含、口唇部に少1.2mmの輪 内向形溝文(4條)・縫合(1條)	
23	2	46	B5D 04	B-Hop第2面・中 色土	赤生 土器	広口壺	23.2	-	17.9	177	口唇: 四輪文(4条)・櫛指平行 手行	灰白	灰白	○ ○ 20	IV-1-2	0.3~5mmの白色、灰褐色、墨色砂粒多含、手行溝あり	
23	16	47	B5D 04	B-Hop第2面・下層	赤生 土器	広口壺	19.6	-	4.9	177	口唇: 四輪文(4条)・円錐形 手行	灰白	灰白	○ ○ 20	IV-2	0.3~2mmの白灰褐色砂粒含、口唇部に縫合円錐形溝 線上に15~17個3mm前後	
23	45	48	B5D 04	B-Hop第2面・下層	赤生 土器	縫合頭	8.9	-	5.3	177	口唇: 円錐形文・四輪文(3 条)・輪: 13付テ・手行: 平行手行	灰白	灰白	○ ○ 10	IV	0.3~3mmの灰褐色砂粒含、円錐形部に少1~1.3mm の内向形溝文(4條)・縫合(1條)	
23	3	49	B5D 04	B-Hop第2面・下層	赤生 土器	広口壺	26.2	-	12.2	177	リリ: 細粒實狀紋・鉗形斜目	灰白	灰白	○ ○ 15	IV-2	0.5~1mmの白色砂粒含、4mm程度の砂粒少含	
23	1	50	B5D 04	B-Hop第2面・下層	赤生 土器	背腹横縫頭	25.3	-	15.5	177	四輪文(3条)・リリ: 細粒實狀 紋	灰白~ 灰白	灰白~ 灰白	○ ○ 15	IV	0.3~6mmの白色、灰褐色砂粒含	
23	35	51	B5D 04	B-Hop第2面	赤生 土器	縫	16.7	-	8.4	177	リリ: 細粒實狀紋	灰白	灰白	○ ○ 5	IV-1	0.2~1mmの白色砂粒含、外縫合少含	
23	37	52	B5D 04	B-Hop第2面・下層	赤生 土器	縫	16.9	-	5.5	177	?リリ: 細粒實狀紋	灰白~ 灰白	灰白~ 灰白	○ ○ 6	IV-1	0.3~0.6mm	
23	34	53	B5D 04	B-Hop第2面・下層	赤生 土器	縫	13.1	-	6.4	177	?リリ: 4~7付テ	灰白~ 黃接	灰白~ 黃接	○ ○ 10	IV	0.5~2mmの白色砂粒含。口唇一部縫合有	
23	32	54	B5D 04	B-Hop第2面・下層	赤生 土器	縫	15.8	-	8.3	177	?リリ: 4~9付テ	灰白	灰白	○ ○ 10	IV~IV-2	0.3~0.6mmの白灰褐色砂粒含	
23	36	55	B5D 04	B-Hop第2面・上層・暗褐色 色土	赤生 土器	縫	17.1	-	7.3	177	?リリ: 4~9付テ	灰白	灰白	○ ○ 15	IV	0.3~2mmの白灰褐色砂粒含、外縫合付	
23	38	56	B5D 04	B-Hop第2面・下層	赤生 土器	縫	21.2	-	7.8	177	?リリ: 4~9付テ (少) ?リリ: 5~7付テ	灰白	灰白	○ ○ 10	IV-1-2	0.2~0.5mmの灰褐色砂粒含	
23	31	57	B5D 04	B-Hop第2面・下層	赤生 土器	縫	18.2	-	8.9	177	?リリ: 4~7付テ	灰白	灰白	○ ○ 25	III~IV	0.3~2mmの白灰褐色砂粒含、くの字型	
23	33	58	B5D 04	B-Hop第2面・下層	赤生 土器	縫	19.0	-	10.1	177	?リリ: 4~5付テ	灰白	灰白	○ ○ 5	IV-1	0.3~1mmの白灰褐色砂粒含、一部縫合付	
23	39	59	B5D 04	B-Hop第2面・下層	赤生 土器	縫	-	-	-	177	?リリ: 4~5付テ	灰白	灰白	○ ○ 15	IV	0.3~2mmの白灰褐色砂粒含	
23	44	60	B5D 04	B-Hop第2面・兩面 堆土	赤生 土器	縫	31.0	-	17.9	177	?リリ: 4~5付テ	灰白	灰白	○ ○ 40	IV	0.5~2mmの白灰褐色砂粒含	
23	40	61	B5D 04	B-Hop第2面・下層	浮生 土器	縫	34.1	-	8.5	177	?リリ: 4~5付テ	-	-	○ ○ 10	IV-1-2	-	
23	41	62	B5D 04	B-Hop第2面	浮生 土器	縫	34.0	-	4.5	177	?リリ: 4~5付テ	灰白	灰白	○ ○ 10	IV-1-2	0.5~1.5mmの白灰褐色砂粒含	
23	42	63	B5D 04	B-Hop第2面・下層	浮生 土器	縫	37.0	-	7.5	177	?リリ: 4~5付テ	灰白	灰白	○ ○ 10	IV-1-2	0.5~2mmの白灰褐色砂粒含	
23	22	64	B5D 04	B-Hop第2面・下層	赤生 土器	高耳	-	-	10.9	177	?リリ: 4~5付テ	灰白	灰白	○ ○ 55	IV-2	0.3~1mmの白褐褐色砂粒含	
23	23	65	B5D 04	B-Hop第2面	赤生 土器	高耳	-	-	20.0	12.4	?リリ: 4~5付テ	四輪文	灰白	○ ○ 56	IV	0.3~2mmの墨白色砂粒含	
23	24	66	B5D 04	B-Hop第2面・南端 堆土	赤生 土器	高耳(环 基)	-	-	15.4	4.9	?リリ: 4~5付テ	177	灰白	○ ○ 30	IV	0.3~1mmの墨黑色砂粒含	
23	43	67	B5D 04	B-Hop第2面・下層	赤生 土器	縫合	-	-	15.1	8.3	?リリ: 4~5付テ	四輪文(3条)・櫛指状文	灰白	○ ○ 20	IV-2	0.3~1mmの白灰褐色砂粒含、2~5mmの墨褐色小石、少 0.2mmの孔隙(崩壊)含み、6~7mm(確定)あり	
23	27	68	B5D 04	B-Hop第2面・下層	赤生 土器	縫	26.6	-	5.2	177	?リリ: 4~5付テ	四輪文	灰白~ 縫合	○ ○ 5	IV	0.3~1mmの白褐褐色砂粒含	
23	28	69	B5D 04	B-Hop第2面・兩面 堆土	赤生 土器	縫	35.0	-	10.1	177	?リリ: 4~5付テ	直纹状文+四輪文+櫛指状文+ 平行手行+四輪文(3条)	黑	灰白	○ ○ 5	IV-2	0.3~2mmの白灰褐色砂粒含
23	30	70	B5D 04	B-Hop第2面・下層	赤生 土器	縫合縫 縫	35.6	-	7.0	177	?リリ: 4~5付テ	四輪文(3条)・櫛指状文(3条)・ 直輪文(1条)	灰白	灰白	○ ○ 10	IV	0.3~1mmの灰褐色砂粒含
24	25	71	B5D 04	B-Hop第2面・上層・暗褐色 色土	赤生 土器	合形土器	-	-	17.0	13.8	?リリ: 4~5付テ	?リリ: 4~5付テ	灰白	灰白	○ ○ 16	不規	表面: オリーブ黒色
24	25	72	B5D 04	B-Hop第2面・中 色土	赤生 土器	合形土器	-	-	5.2	177	?リリ: 4~5付テ	?リリ: 4~5付テ	灰白~ 縫合	○ ○ 25	不規	0.3~5mmの白褐褐色砂粒多	
24	7	73	B5D 04	B-Hop第2面・中 色土	赤生 土器	高口壺(生 土器・陶質底)	18.1	-	4.7	177	?リリ: 4~5付テ	?リリ: 4~5付テ	灰白	灰白	○ ○ 10	II	0.3~1mmの墨白色砂粒含
24	4	74	B5D 04	B-Hop第2面・7F	赤生 土器	広口壺	29.3	-	10.4	177	口唇部: 四輪文、肩一部上: 複合櫛状文、腹: 直+横+直	灰白	灰白	○ ○ 25	IV	0.3~2mmの白色砂粒含	
24	8	75	B5D 04	B-Hop第2面	赤生 土器	広口壺	19.3	-	8.0	177	?リリ: 口唇状	灰褐色	灰褐色	○ ○ 10	II	0.5~5mmの白色砂粒、0.5~1mmの墨黑色砂粒、表面無 規則して黄褐色不規	
24	14	76	B5D 04	B-Hop第2面・7F	赤生 土器	縫	14.9	-	4.7	177	?リリ: 4~5付テ	?リリ: 4~5付テ	灰白	灰白	○ ○ 10	II~IV	0.3~1mmの白色砂粒少含
24	13	77	B5D 04	B-Hop第2面・7F	赤生 土器	縫	14.6	-	7.8	177	?リリ: 4~5付テ	?リリ: 4~5付テ	灰白	灰白	○ ○ 16	IV~VI	0.3~1mmの白褐褐色砂粒含、表面無規則

24	8	76	BSD 06	Bシナ第2回	株生 土壌	便	25.2	-	-	5.0	~918' ~1024'	1279'	-	灰白	灰白	○ ○	5	Ⅲ~IV	0.1~1mmの褐色灰色砂粒多含	
24	10	79	BSD 06	Bシナ4回目・ 5回目	株生 土壌	便	18.6	-	-	6.7	~918' (177)	1079'~1279'	?	灰白	灰白	○ ○	5	II	0.5~2mmの褐色灰色砂粒多含	
24	6	80	BSD 06	Bシナ第2回	株生 土壌	便	20.6	-	-	8.7	~918'	1079'~1279'	-	灰白	灰白	○ ○	25	VI~ Ⅳ-Ⅴ	0.2~1mmの白色砂粒含、非常に薄手	
24	9	81	BSD 06	Bシナ第2回	株生 土壠	便	22.4	-	-	5.4	918'	1279' (918')	-	灰白	灰白	○ ○	6	II	2mm程度の褐色灰色砂粒+糸状	
24	11	82	BSD 06	Bシナ第2回・7回	株生 土壠	便	30.8	-	-	15.4	1279' (177)	1079'~1279'	-	灰白	灰白	○ ○	10	IV	0.1~1mmの黒褐色灰色砂粒多含	
24	12	83	BSD 06	Bシナ第2回	株生 土壠	便	36.7	-	-	16.8	177	1279'~918'	-	灰白	灰白	○ ○	20	III~IV	0.1~2mmの白褐色砂粒組合	
24	3	84	BSD 06	Bシナ第2回・7回	株生 土壠	高塗	20.9	-	-	5.8	~918' (8)	1079' (5盒) ~1279' (4)	-	灰白	灰白	○ ○	5	IV-1	0.5~1mmの白褐色砂粒	
24	2	85	BSD 06	Bシナ第2回	株生 土壠	高塗	-	-	-	14.0	15.4	1279'	~1279'	灰白	灰白	○ ○	45	III?	0.5~1.5mmの黒褐色砂粒含、壁中核化	
24	1	86	BSD 06	Bシナ第2回・7回	株生 土壠	鉢	21.2	-	-	8.7	~918' (4)	1079' (5) ~1279' (4)~1279'	-	灰白	灰白	○ ○	90	III-1	0.1~2mmの白褐色砂粒組合	
24	4	87	BSD 06	Bシナ4回目・中層・ 7回	株生 土壠	堆積層	12.2	-	-	10.1	177	堆積文4種・~10cm平行文+~ 10cm斜交文	-	灰白	灰白	○ ○	20	IV-3~4	0.5mmの黑色砂粒	
24	1	88	BSD 06	Bシナ4回目・第3回・ア 97	株生 土壠 (水盤)	便	11.1	-	-	11.8	~918' (3)	1079' (3)	-	灰白	灰白	○ ○	15	IV-2~3	0.5mmの白黒色砂粒含	
24	2	89	BSD 06	Bシナ第2回	株生 土壠 (水盤)	便	10.7	-	-	11.6	1279'~918'	~1279'	-	灰白	灰白	○ ○	15	IV-2~3	0.5~1mmの白黒色砂粒組合	
24	95	90	BSD 07	上層・基盤色土	株生 土壠	便	12.7	-	-	5.0	~918' (8)	口唇: 密度、口盤: 粒有空隙 +剝離: 232'、堆積底面文	-	褐斑	褐斑	○ ○	5	III	0.3~1mmの白色砂粒組合	
24	6	91	BSD 07	Bシナ7回	株生 土壠	便	9.4	-	-	8.0	□: ~918'	□: ~918'	-	灰白	灰白	○ ○	15	V	0.5~1mmの白黒色砂粒、糸状含、中部・深褐色	
24	101	92	BSD 07	Bシナ第2回・下 07	株生 土壠	水盤	11.7	-	-	5.7	~1279'	~1279' +貼付密合+剝離 文の2段	-	灰白	灰白	○ ○	6	II~III	0.2~1mmの黒褐色砂粒組合	
24	3	93	BSD 07	Bシナ6回・第2回	株生 土壠	水盤	9.0	-	-	7.6~177	~1279'	堆積底面文4段	-	灰白	灰白	○ ○	5	II	0.5~1mmの黑色砂粒多	
24	114	94	BSD 07	Bシナ7回・下層・ 7回	株生 土壠	便	-	-	11.4	3.3	~918'~1079'	~1279'	-	浅黄斑	浅黄斑	○ ○	99	II~III?	0.2~2mmの黒褐色砂粒組合	
24	115	95	BSD 07	Bシナ第3回・4回 07	株生 土壠	便	-	-	-	2.5	177	1279'	-	灰白	灰白	○ ○	20	II~III?	0.2~1mmの白黒色砂粒組合、つまみ部分: 1.5cm	
24	119	96	BSD 07	Bシナ7回・上層・ 07	株生 土壠 (水盤)	鉢	47.6	-	-	7.5	~1279'	~1279'	-	兼善耕種文	灰白	○ ○	5	III~IV	0.3~2mmの黒褐色砂粒組合	
24	95	97	BSD 07	Bシナ第3回	株生 土壠	便	27.6	-	-	7.4	~1279'	~1279'	-	熟成文・堆積文(3条)・横縞 延繩文・梯子状文	灰白	灰白	○ ○	5	IV	0.3~1mmの黒褐色砂粒組合
24	41	98	BSD 07	Bシナ4回目	株生 土壠	便	14.1	-	-	5.4	~1279'	~1279'	-	堆積底面文	灰白	灰白	○ ○	15	III-2~ IV-1	0.3~0.5mmの白・白黒色砂粒、口縫部に孔2ヶ所含 黄通路2ヶ所対
24	28	99	BSD 07	Bシナ7回・下層・ 08	株生 土壠 (水盤)	便	13.2	-	-	4.6	~1279'~1279' + 堆積底面文	口唇: 堆積底面状、幅: 梯子 状+322'	-	灰白	灰白	○ ○	5	II~III	0.3~2mmの白黒色砂粒組合。外端のみ尖形(~1°)	
24	87	100	BSD 07	Bシナ7回・下層・ 07	株生 土壠 (水盤)	便	28.9	-	-	8.2	~1279'	~1279'	-	口唇: 密度、口盤: 傷跡平行 文(4段)、~1279'~1279'	灰白	灰白	○ ○	10	II-3~ III-1	0.3~1mmの白黒色砂粒組合
24	32	101	BSD 07	Bシナ7回・下層	株生 土壠	便	21.4	-	-	4.1	322' + 堆積底面状文	口唇: 堆積底面状、幅: ~1279' 322'、横縞平行文	-	灰白	灰白	○ ○	5	III	0.5~1mmの白色砂粒組合	
24	23	102	BSD 07	Bシナ7回・中層・ 07	株生 土壠	便	17.7	-	-	6.3	~1279'	~1279'	-	灰白	灰白	○ ○	5	II-2~ III-1	0.3~1mmの黒褐色砂粒組合	
24	31	103	BSD 07	Bシナ7回・中層・ 07	株生 土壠	便	19.4	-	-	10.6	~1279'	~1279'~1279'~1279'	-	堆積底面状文	灰白	灰白	○ ○	25	I-3~4 II-1	0.3~2mmの黒褐色砂粒組合
24	7	104	BSD 07	Bシナ7回・中層・ 07	株生 土壠 (水盤)	便	22.2	-	-	4.8	~1279'	~1279'	-	堆積底面状文	灰白	灰白	○ ○	7-10	II~III~0.2~1mmの黒褐色砂粒	
24	15	105	BSD 07	Bシナ7回・第3回・ア 07	株生 土壠	便	21.7	-	-	6.7	~1279'	~1279'	-	灰白	灰白	○ ○	7-10	II	0.3~0.5mmの黒褐色砂粒組合	
24	16	106	BSD 07	Bシナ7回・中層・ 07	株生 土壠 (水盤)	便	12.0	-	-	11.6	~1279'	~1279'	-	灰白	灰白	○ ○	15	II	0.3~2mmの黒褐色砂粒組合	
24	34	107	BSD 07	Bシナ7回・上層・ 07	株生 土壠 (水盤)	便	15.2	-	-	6.6	~1279'	~1279'	-	口唇: 堆積底面状+~1279' 322'、横縞平行文	灰白	灰白	○ ○	5	II	0.3~1mmの白・黒褐色砂粒組合
24	57	108	BSD 07	Bシナ7回・中層・ 07	株生 土壠	便	13.0	-	-	6.6	~1279'	~1279'	-	堆積底面状文	灰白	灰白	○ ○	5	II	0.3~1mmの白・黒褐色砂粒組合
24	35	109	BSD 07	Bシナ7回・中層・ 07	株生 土壠 (水盤)	便	14.7	-	-	19.3	口唇: ~1279'~1279' + 堆積底面状文	口唇: 密度: ~1279'~1279' 体: ~1279'~1279'	-	灰白	灰白	○ ○	65	II-1~2 III-1	0.3~1mmの白・黒褐色砂粒組合	
24	19	110	BSD 07	中層・褐色砂砾	株生 土壠	便	12.5	-	-	7.2	~1279'	~1279'	-	灰白	灰白	○ ○	16	IV-1~2 V-1	0.5~1mmの白・褐色砂粒組合	
24	9	111	BSD 07	Bシナ7回・中層	株生 土壠	便	18.2	-	-	5.5	~1279'	~1279'	-	堆積底面状文	灰白	灰白	○ ○	7-10	III-2	0.3mmの黒褐色砂粒小含
25	11	112	BSD 07	Bシナ7回・第3回・ア 07	株生 土壠	便	10.4	-	-	12.3	□: ~1279'	堆積底面状文、□: ~1279'	-	灰白	灰白	○ ○	15	II-3	0.5~2mmの白褐色砂粒組合	
25	13	113	BSD 07	Bシナ7回・上層・基 07	株生 土壠	便	19.3	-	-	4.4	~1279'	~1279'	-	黑	浅黄斑	○ ○	5	II~III	0.5~2mmの白褐色砂粒組合	
25	33	114	BSD 07	Bシナ7回・中層・褐 07	株生 土壠	便	20.0	-	-	10.0	~1279'	~1279'	-	口唇: 刻痕文、底~体上: ~1279' ~1279'	灰白	灰白	○ ○	10	II-1~2 III-1	0.5~2mmの白褐色砂粒組合
25	24	115	BSD 07	Bシナ7回・第3回・ア 07	株生 土壠	便	24.5	-	-	6.6	~1279'	~1279'	-	口唇: 堆積底面状文、堆積 平行文+~1279'	灰白	灰白	○ ○	8-7	III	0.2~0.5mm
25	17	116	BSD 07	中層・褐色砂砾	株生 土壠	便	20.2	-	-	7.0	~1279'	~1279'	-	口唇: ~1279'	灰白	灰白	○ ○	7	II	0.3~1mmの白褐色砂粒組合
25	40	117	BSD 07	Bシナ7回・上層・基 07	株生 土壠	便	20.4	-	-	8.0	(177)	(177)	-	口唇: 堆積底面状文、 内厚浮文	灰白	灰白	○ ○	5-7	IV-1	0.5~4mmの白褐色砂粒多

25	83	19	B50	リンドウ・中層・楊 色砂岩	野生 土著	広口型	17.6	-	-	4.8	ナフ	口唇・口縁部 條状波状文	-	-	-	-	5	E~Ⅲ		
25	22	19	B50	リンドウ・中層・褐 色粗粒砂岩	野生 土著	広口型	17.8	-	-	6.4	ナフ	口唇：波状文 線：帯状平行 文	灰白	灰白	○	○	10	Ⅲ	0.3~1mmの基・褐色砂粒含	
25	27	120	B50	リンドウ・中層・褐 色粗粒砂岩	野生 土著	広口型	17.3	-	-	8.8	ナフ	口唇：帯状波状文+葉目、葉 幅：帯状平行文	灰白	灰白	○	○	10	Ⅱ~Ⅲ	0.5~1mmの白黑色砂粒含	
25	10	21	B50	リンドウ・下層 色砂岩	野生 土著	広口型	20.1	-	-	5.3	ナフ	ナフ	灰白	灰白	○	○	10	Ⅱ~Ⅲ	0.5mmの白黑色砂粒	
25	8	122	B50	リンドウ・第3面・ア セ	野生 土著	広口型	23.8	-	-	6.0	ナフ	ナフ	灰白	灰白	○	○	5	Ⅲ	0.5mmの基色砂粒含	
25	29	123	B50	中層・褐色粗粒 砂岩	野生 土著	広口型	14.8	-	-	5.9	ナフ	口唇：波紋文 線：帯状A=2 ナフ	灰白	灰白	○	○	5	IV	0.3~0.5mmの黑色砂粒含	
25	12	124	B50	リンドウ・下層 色砂岩	野生 土著	広口型	14.3	-	-	8.5	口：ナフ 体：ナフ	口唇純文 体：ナフ=1~3277 線：帯状平行文	灰白	灰白	○	○	20	IV~2~3	0.3mmの黑色砂粒含	
25	25	125	B50	リンドウ・第1面・下 層色砂岩	野生 土著	広口型	21.4	-	-	4.6	ナフ	ナフ=1~帶状波状 文	口唇：波紋文 (3条) 線：ナ ナフ	灰白	灰白	○	○	5	IV	0.3~0.5mmの基色砂粒含
25	26	126	B50	リンドウ・中層・褐 色砂岩	野生 土著	広口型	19.6	-	-	4.4	ナフ	ナフ=1~2277 ナフ	灰白	灰白	○	○	5	IV~1	0.3~1mmの基・白色砂粒含	
25	26	127	B50	リンドウ・中層・褐 色砂岩	野生 土著	広口型	24.1	-	-	5.3	ナフ	ナフ=1~帶状波状文 平行文	灰白	灰白	○	○	5	IV	0.3~1mmの基・褐色砂粒含	
25	29	128	B50	リンドウ・中層・褐 色砂岩	野生 土著	広口型	23.2	-	-	2.8	ナフ	ナフ=1~帶状波状 文	口唇：波紋文 (4条) 線：ナ ナフ	灰白	灰白	○	○	5	IV~2	0.3~0.5mmの基色砂粒含
25	21	129	B50	リンドウ・中層・褐 色砂岩	野生 土著	広口型	14.9	-	-	5.2	ナフ	ナフ=1~2277	口唇：円渦+斑状 線：ナフ	灰白	灰白	○	○	10	IV (-4)	0.3~1mmの黑色砂粒含
25	14	130	B50	リンドウ・上層・鳥 色土	野生 土著	広口型	18.0	-	-	10.1	ナフ	ナフ	灰白	灰白	○	○	15	Ⅳ~2~(IV~1)	0.3~1mmの白黑色砂粒	
25	80	131	B50	リンドウ・中層・褐 色粗粒砂岩	野生 土著	広口型	26.4	-	-	6.3	口唇：斜面斜坡 体：ナフ=1~2277 線：ナフ=1~2277	口唇：斜面文・斜面平行文・ナ ナフ=1~2277	灰白	灰白	○	○	10	IV~2	0.3~1mmの黑色砂粒含多 ロコリしたら下すと、外側面に斜面斜坡 の斜面波状文が見られる。(口唇内有り)	
25	84	132	B50	リンドウ・中層・褐 色砂岩	野生 土著	有段口縫合	18.0	-	-	10.9	ナフ	ナフ=1~2277	口唇：ナフ	灰白	灰白	○	○	15	IV	0.3~1mmの基・白砂粒含
25	89	133	B50	リンドウ・第2面・下 層色砂岩	野生 土著	広口型	21.9	-	-	10.9	ナフ	ナフ=1~2277 斜面波状文・ナフ 斜面(特徴)	口唇：斜面波状文・ナフ 斜面(特徴)	灰白	灰白	○	○	15	IV	0.3~1mmの基・白砂粒含
25	69	134	B50	リンドウ・中層・褐 色砂岩	野生 土著	広口型	30.6	-	-	12.0	口：	口：斜面文・斜面 (斜面)、斜面(上)：斜面突起 (斜面)、ナフ	灰白	灰白	○	○	35	IV	0.3~1mmの黑色砂粒多含	
25	39	135	B50	リンドウ・中層・褐 色砂岩	野生 土著	広口型	25.8	-	-	10.0	ナフ(ナフ)	ナフ	口唇：ナフ	灰白	灰白	○	○	10	V~9	0.3~3mmの基・白砂粒含、表面著しく調整不明、北 西面底面
25	79	136	B50	リンドウ・上層・鳥 色土	野生 土著	広口型	24.2	-	-	8.8	ナフ	ナフ=1~2277	口唇：ナフ	灰白	灰白	○	○	10	IV~1	0.3~1mmの浅灰色砂粒
25	27	137	B50	リンドウ・中層・褐 色砂岩	野生 土著	広口型	23.4	-	-	9.3	ナフ	ナフ=1~2277、ナフ ナフ=1~2277	口唇：ナフ=1~2277	灰白	灰白	○	○	10	Ⅲ~Ⅳ	0.5~2mmの基・白色砂粒含、生垣西面底面
25	65	138	B50	リンドウ・中層・褐 色砂岩	野生 土著	広口型	29.8	-	-	10.3	ナフ	ナフ=1~2277	ナフ=1~2277	灰白	灰白	○	○	15	E~Ⅲ	0.5~1mmの黑色砂粒多
25	76	139	B50	リンドウ・中層・褐 色砂岩	野生 土著	有段口縫合	-	-	-	-	ナフ	ナフ=1~2277	口：ナフ 線：ナフ	灰白	灰白	○	○	10	Ⅲ~1	0.3~3mmの基・白砂粒
25	81	140	B50	リンドウ・中層・褐 色砂岩	野生 土著	有段口縫合	34.6	-	-	6.8	ナフ	ナフ	口唇：細縫文 (3条) -1277	灰白	灰白	○	○	10	IV~2~3	0.3~1mmの白色砂粒含
25	62	141	B50	リンドウ・中層・褐 色砂岩	野生 土著	有段口縫合	36.6	-	-	7.3	ナフ	ナフ	口唇縫文+円形浮文	灰白	灰白	○	○	5	IV~2~3	0.3~0.5mmの白色砂粒含
25	56	142	B50	リンドウ・中層・褐 色砂岩	野生 土著	裏	14.9	-	-	5.0	ナフ	ナフ=1~2277	ナフ=1~2277	淡黄緑	淡黄緑	○	○	5	E	0.3~1mmの白・黒砂粒
25	59	143	B50	リンドウ・中層・褐 色砂岩	野生 土著	裏	10.4	-	-	5.9	ナフ	ナフ=1~2277、3277	ナフ=1~2277	淡黄緑	淡黄緑	○	○	20	E	0.3~0.5mmの白・基礎地含
25	56	144	B50	リンドウ・中層・褐 色砂岩	野生 土著	裏	14.6	-	-	4.9	中底のナフ ナフ	ナフ=1~2277	ナフ=1~2277	にらむ にらむ 黄緑	にらむ 黄緑	○	○	5	Ⅲ~1	0.3~0.6mmの白色砂粒少含
25	44	145	B50	リンドウ・下層 色砂岩	野生 土著	裏	13.3	-	-	4.7	ナフ	ナフ=1~2277	ナフ=1~2277	灰白	灰白	○	○	5	IV	0.3mmの白色砂粒少、表面すり付着
25	60	146	B50	リンドウ・第3面・ア セ	野生 土著	裏	14.2	-	-	5.0	ナフ	ナフ=1~2277	ナフ=1~2277	褐灰	褐灰	○	○	5	Ⅲ~IV	0.3mmの白色砂粒少含
25	47	147	B50	リンドウ・中層・褐 色砂岩	野生 土著	裏	15.4	-	-	5.8	ナフ	ナフ=1~2277	ナフ=1~2277	灰灰被	灰灰被	○	○	5	Ⅲ~IV	0.5~2mmの白・褐色砂粒含
25	45	148	B50	リンドウ・中層・褐 色砂岩	野生 土著	裏	15.1	-	-	6.6	ナフ	ナフ=1~2277	ナフ=1~2277	灰被	灰被	○	○	10	Ⅲ~2	0.5~1mmの白色砂粒含、すり付着
25	66	149	B50	リンドウ・中層・褐 色砂岩	野生 土著	裏	14.7	-	-	7.0	ナフ	ナフ=1~2277	ナフ=1~2277	灰被	灰被	○	○	5	Ⅲ~IV	0.3~1mmの基色砂粒含
25	58	150	B50	リンドウ・中層・褐 色砂岩	野生 土著	裏	16.2	-	-	4.8	ナフ	ナフ=1~2277、ナフ ナフ=1~2277	ナフ=1~2277	灰白	灰白	○	○	5	Ⅲ	0.3~2mmの白・基砂粒含
25	43	151	B50	リンドウ・上層・基 色砂岩	野生 土著	裏	16.7	-	-	3.8	ナフ	ナフ=1~2277	ナフ=1~2277	灰白	灰白	○	○	5	IV	0.3~1mmの黑色砂粒含
25	46	152	B50	リンドウ・第3面・ア セ	野生 土著	裏	15.4	-	-	7.4	ナフ	ナフ=1~2277、ナフ ナフ=1~2277	ナフ=1~2277	明褐色	明褐色	○	○	10	IV	0.3~1mmの基・白色砂粒含
25	42	153	B50	リンドウ・中層・褐 色砂岩	野生 土著	裏	14.6	-	-	5.4	ナフ	ナフ=1~2277、ナフ ナフ=1~2277	ナフ=1~2277	灰白	灰白	○	○	5	IV	0.3~2mmの白・白色砂粒含
26	30	154	B50	リンドウ・中層・楊 色土	野生 土著	裏	22.2	-	-	8.8	ナフ	口唇：斜面 線：ナフ	口唇：斜面 線：ナフ	にらむ にらむ 黄緑	にらむ 黄緑	○	○	10	Ⅲ	0.3~1mmの白・褐色砂粒含
26	81	155	B50	リンドウ・中層・楊 色砂岩	野生 土著	裏	16.0	-	-	3.7	ナフ	ナフ=1~2277	ナフ=1~2277	にらむ にらむ 黄緑	にらむ 黄緑	○	○	5	Ⅲ	0.3~0.6mmの白・基砂粒含
26	48	156	B50	リンドウ・中層・褐 色砂岩	野生 土著	裏	16.4	-	-	5.6	ナフ	ナフ=1~2277、ナフ ナフ=1~2277	ナフ=1~2277	にらむ にらむ 灰被	にらむ 灰被	○	○	5	Ⅲ~Ⅳ	0.3~1mmの白色砂粒
26	83	157	B50	リンドウ・中層・褐 色砂岩	野生 土著	裏	19.2	-	-	7.8	ナフ	ナフ=1~2277	ナフ=1~2277	灰被	灰被	○	○	20	Ⅱ~2~3	0.3~2mmの黑色砂粒含

26	54	150	BSDB150-7 中厚・薄 07 黄色砂粉磨	株生 土器	壁	17.6	-	5.7	717	717	灰白	灰白	○ ○	5	II	0.5 ~ 2mm の白・黒・褐色砂粒			
26	48	150	BSDB150-7 中厚・薄 07 黄色砂粉磨	株生 土器	壁	12.7	-	7.1	477-327	477-327	灰白	灰白	○ ○	5	II-2 ~ II-2	0.3 ~ 0.5mm の白・黒・褐色砂粒合			
26	63	160	BSDB160-7 第3面ア 07 黄色砂粉磨	株生 土器	壁	27.5	-	6.6	477-327	477-327	灰白	灰白	○ ○	10	II	0.3 ~ 2mm の白色砂粒			
26	69	160	BSDB160-7 中厚・薄 07 黄色砂粉磨	株生 土器	壁	15.3	-	6.0	477-327	477-327	灰白	灰白	○ ○	5	IV	0.3 ~ 1mm の白色砂粒			
26	65	160	BSDB160-7 中厚・薄 07 黄色砂粉磨	株生 土器	壁	30.0	-	6.4	477-327	477-327	灰白	灰白	○ ○	5	IV	0.3 ~ 0.5mm の黑色砂粒合			
26	120	163	BSDB163-7 中厚・薄 07 黄色砂粉磨	株生 土器	壁	18.1	-	10.6	477-327	477-327	灰白	灰白	○ ○	10	III-IV	0.3 ~ 1mm の黑色砂粒合			
27	71	164	BSDB164-7 中厚・薄 97 黄色砂粉磨	株生 土器	壁	15.5	-	8.6	477-327	477-327	-	-	○ ○	5	IV	0.3 ~ 0.5mm の黑色砂粒合			
26	62	165	BSDB165-7 中厚・薄 07 黄色砂粉磨	株生 土器	壁	27.0	-	7.5	477	477-327	灰白	灰白	○ ○	5	IV-2	0.3 ~ 1mm の白・灰色砂粒、3 ~ 5mm の白・灰色小石			
26	70	166	BSDB166-7 中厚・薄 07 黄色砂粉磨	株生 土器	壁	15.5	-	6.3	477-327	477-327	灰白	灰白	○ ○	5	IV	0.3 ~ 0.5mm の黑色砂粒多合			
26	74	167	BSDB167-7 中厚・薄 07 黄色砂粉磨	株生 土器	壁	31.6	-	8.6	477-327	477-327	-	-	○ ○	5	IV	0.3 ~ 0.5mm の黑色砂粒合			
25	81	168	BSDB168-7 上層・底 07 黄色土	株生 土器	壁	37.2	-	6.1	477-327	477-327	灰白	灰白	○ ○	5	IV	0.3 ~ 0.5mm の白・黑色砂粒合			
26	87	169	BSDB169-7 下層 07 土	株生 土器	壁	37.6	-	4.7	477-327	477-327	灰白	灰白	○ ○	5	IV	0.3 ~ 0.5mm の白・黑色砂粒合			
26	68	170	BSDB170-7 中厚・薄 07 黄色砂粉磨	株生 土器	壁	27.8	-	9.1	477-327	477-327	灰白	灰白	○ ○	5	II	0.3 ~ 1mm の白・黑色砂粒合			
26	72	171	BSDB171-7 中厚・薄 07 黄色砂粉磨	株生 土器	壁	31.6	-	9.7	477	477	口器・斜口 壁～底上：477 (鉢底)～477	灰白	灰白	○ ○	10	III	0.3 ~ 1mm の白・黑色砂粒合		
26	73	172	BSDB172-7 第3面ア 07 セ	株生 土器	壁	31.3	-	7.6	477-327	477-327	口器・斜口 壁～底上：477 477	灰白	灰白	○ ○	5	III-IV	0.5mm の白・黑色砂粒合		
26	64	173	BSDB173-7 第3面ア 07 セ	株生 土器	壁	34.0	-	6.9	477-327	477-327	口器・斜口 壁～：477-327	灰白	灰白	○ ○	5-7	III-IV	0.3 ~ 1mm の白・黑色砂粒合		
26	88	174	BSDB174-7 中厚・薄 07 黄色砂粉磨	株生 土器	壁	28.6	-	6.7	477	477	口器・斜口 口器・斜口：477	灰白	灰白	○ ○	5	II-3	0.3 ~ 3mm の白・黑色砂粒合		
26	76	175	BSDB175-7 第 2 面 07 土	株生 土器	壁	34.0	-	13.2	口	477 体：477 477	灰白	灰白	○ ○	20	II	0.5mm 程度の黑色砂粒合			
26	38	175	BSDB175-7 下層 07 土	株生 土器	壁	36.0	-	8.5	477	477	灰白	灰白	○ ○	5	II-2 ~ III	0.5 ~ 1mm の黑・白色砂粒			
25	75	177	BSDB177-7 中厚・薄 07 黄色砂粉磨	株生 土器	壁	38.8	-	11.1	477-327	477	淡黄	淡黄	○ ○	10	II	0.5 ~ 1.5mm の白・黑色砂粒多合			
26	100	178	BSDB178-7 上層・底 07 土	株生 土器	高杯	14.9	-	11.5	477	477	褐灰 明褐色 ～	褐灰 明褐色 ～	○ ○	45	V	0.3 ~ 2mm の白色砂粒			
26	110	179	BSDB179-7 上層・底 07 黄色土	株生 土器	(脚部)	-	-	19.0	10.2	717	灰白	灰白	○ ○	40	VI-I	0.3 ~ 2mm の白・477-灰褐色砂粒多			
25	111	180	BSDB180-7 上層・底 07 黄色土	株生 土器	高杯	-	-	19.1	3.1	717	灰白	灰白	○ ○	25	VI-I	0.3 ~ 2mm の白(477)・灰褐色砂粒多			
26	98	181	BSDB181-7 3面ア 07 土	株生 土器	高杯 (片側)	22.7	-	5.9	477	477	口器・凹縫文(2条)・477 477	灰白	灰白	○ ○	10	IV	0.5 ~ 1.5mm の白色砂粒合		
26	100	182	BSDB182-7 中厚・薄 07 黄色砂粉磨	株生 土器	高杯 (脚部)	-	-	18.2	7.3	477-327	477-327	477 477	灰白	灰白	○ ○	10	II-3	0.3 ~ 1mm の白色砂粒合	
26	112	183	BSDB183-7 上層・底 07 黄色土	株生 土器	高杯	-	-	7.2	6.8	717	477-327	477	灰白	灰白	○ ○	50	V	0.3 ~ 1.5mm の黒・白(477)・砂粒合	
26	107	184	BSDB184-7 中厚・薄 07 黄色砂粉磨	株生 土器	高杯	-	-	11.7	12.6	477-327	477-327	477-327 477-327	灰白	灰白	○ ○	70	II-2	0.3 ~ 1.5mm の黒白色砂粒合	
26	109	185	BSDB185-7 中厚・薄 07 黄色砂粉磨	株生 土器	高杯	-	-	9.5	11.2	477-327	477-327	477-327	灰白	灰白	○ ○	85	II-2 ~ III	0.3 ~ 1mm の黑白砂粒	
26	102	186	BSDB186-7 中厚・薄 07 土	株生 土器	邢台	-	-	18.4	12.2	717	477-327	477-327	灰白	灰白	○ ○	25	IV	0.3 ~ 1mm の黑・白(477)・砂粒合	
26	113	187	BSDB187-7 中厚・薄 07 黄色砂粉磨	株生 土器	邢台	-	-	27.5	7.4	717	477	477	灰白	灰白	○ ○	10	IV	0.3 ~ 1mm	
26	99	188	BSDB188-7 中厚・薄 07 黄色砂粉磨	株生 土器	邢台 (脚部)	-	-	16.2	5.6	477-327	477-327	477-327 477-327	褐灰 明褐色 ～	褐灰 明褐色 ～	○ ○	5	IV-2	0.3 ~ 1mm の白色砂粒合	
26	106	189	BSDB189-7 中厚・薄 07 黄色土	株生 土器	多孔部	-	-	2.9	3.6	717	477-327	477	灰白	灰白	○ ○	20	II-IV	0.3 ~ 1.5mm の白色砂粒合・通氣孔 12ヶ所～	
26	52	190	BSDB190-7 中厚・薄 07 黄色砂粉磨	株生 土器	壁	15.1	-	6.0	477-327	477-327	477-327	477-327	477-327	にぶい 質権	○ ○	5	II-2	0.3 ~ 0.5mm の白・黑色砂粒合	
26	77	191	BSDB191-7 中厚・薄 07 黄色砂粉磨	株生 土器	壁	13.5	-	4.4	477-327	477-327	477-327	477-327	477-327	灰白	褐灰	○ ○	10	II-3	0.5 ~ 1mm の白色砂粒多
26	105	192	BSDB192-7 中厚・薄 07 黄色砂粉磨	株生 土器	把手付櫛	9.1	-	6.0	717	717	灰白	灰白	○ ○	30	II-3	0.3 ~ 1mm の深褐色砂粒多合			
26	18	193	BSDB193-7 下層・灰褐色 07 土	株生 土器	壁	25.6	-	7.6	477	477	灰白	灰白	○ ○	10	II	0.5 ~ 2mm の黑・白色砂粒多			
27	93	194	BSDB194-7 中厚・薄 07 土	株生 土器	高杯 (脚部)	18.3	-	7.4	477	477	灰白	灰白	○ ○	10	II-III	0.3 ~ 1mm の黑・褐色砂粒			
27	92	195	BSDB195-7 第3面ア 07 土	株生 土器	高杯 (脚部)	24.0	-	7.5	477	477	灰白	灰白	○ ○	16	II-III	0.3 ~ 2mm の黑・褐・白色砂粒合			
27	94	196	BSDB196-7 土	株生 土器	高杯 (脚部)	18.1	-	6.6	717	717	灰白	灰白	○ ○	10	II-III	0.3 ~ 1mm の黑色砂粒合			
27	97	197	BSDB197-7 第2面・下 07 土	株生 土器	高杯 (脚部)	27.6	-	5.5	477-327	477-327	複合荷物堤(波状+直線+波 状)	灰白	灰白	○ ○	8	II-IV	0.3 ~ 1mm の白色砂粒合		

27	91	196	B H02 D 色斑砂	中層・地 底色斑砂	新生 土層	無原生 鉢	37.2	-	-	6.4	H?	?	複合階級式（深+平+浅）	灰白	灰白	○ ○	5	Ⅲ~Ⅶ	0.3~1mの基白色砂粒含
27	90	199	B H02 D 色斑砂	中層・地 底色斑砂	新生 土層	鉢	34.2	-	-	8.8	H?	?	nH?~32H?	灰白	灰白	○ ○	5	Ⅲ	0.5~1.5mの基白色砂粒含
27	100	200	B H02 D 色斑砂	上層・基 底色斑砂	新生 土層	鉢	28.8	-	-	8.9	31H?	?	31H?	灰白	灰白	○ ○	20	Ⅲ~Ⅶ	0.3~1mの白色砂粒
27	104	201	B H02 D 色斑砂	中層・地 底色斑砂	新生 土層	台形土器	-	-	-	4.3	H?	?	32H?、台形：nH?	灰白	灰白	○ ○	15	Ⅱ?	0.3~1mの基白色砂粒含、高さ：21.0cm
27	118	202	B H02 D 色斑砂	上層・基 底色斑砂	新生 土層	土器	-	-	-	5.4	-	H?	-	灰白	○ ○	100	Ⅲ~V	0.3~1.5mの基白色砂粒含、柱径：3.6~4cm、孔径：1.0cm	
27	117	203	B H02 D 色斑砂	中層・地 底色斑砂	新生 土層	土器	-	-	-	2.1	-	-	H?	-	灰白	○ ○	99	Ⅲ~IV	0.3~1mの灰白色砂粒含、柱：5.8~5.1cm
27	116	204	B H02 D 色斑砂	2層・下 層・基白色砂	新生 土層	直筒円盤	-	-	-	-	-	-	圓錐部：打丸き	-	灰白	○ ○	100	Ⅲ~IV	0.3~1mの基白色砂粒含、柱：57~87cmφ
27	3	206	B H02第3層 D 色斑砂	新生 土層	広口壺	23.4	-	-	15.8	nH?~H?	?	口部：斜口、口縁部：nH?~偏 圓錐状突	灰白	灰白	○ ○	30	Ⅲ~2-3	0.3~1mの晶白色砂粒含、壁中心：灰色	
27	2	206	B H02第3層 D 色斑砂	新生 土層	広口壺	17.9	-	-	9.8	nH?	?	nH?	灰白	灰白	○ ○	30	Ⅲ~IV	0.3~1mの晶白色砂粒含、壁中心：灰色	
27	6	207	B H02第3層 D 色斑砂	新生 土層	広口壺	8.4	-	-	7.0	32H?	?	口唇部：斜口、口縁部：nH?	灰白	灰白	○ ○	5	Ⅲ	0.3~1mの基白色砂粒含	
27	1	208	B H02第3層 D 色斑砂	新生 土層	広口壺	24.1	-	-	4.3	31H?	?	帶繩波状文、nH?	灰白	灰白	○ ○	5	Ⅲ~IV	0.3~1mの晶白色砂粒含	
27	4	209	B H02第3層 D 色斑砂	新生 土層	広口壺	21.6	-	-	6.2	32H?	?	nH?	灰白	灰白	○ ○	10	Ⅲ~3~ Ⅳ~1	0.6~2mの晶白色砂粒含、壁中心：灰色	
27	5	210	B H02第3層 D 色斑砂	新生 土層	水槽	12.2	-	-	11.7	31H?~4~32H?	?	内側：浮文、外側：波状斜面、 圓錐部：打丸き、底：斜面（4段）、 柱：貼付三連瓦束（3段）	灰白	灰白	○ ○	5	Ⅲ~IV	0.3~1mの基白色砂粒含	
27	11	211	B H02 D 色斑砂	新生 土層	壺	14.3	-	-	7.3	nH?	?	nH?	灰白	灰白	○ ○	25	Ⅲ~IV	0.3~2mの灰白色砂粒含、すぐ付着	
27	14	212	B H02第3層 D 色斑砂	新生 土層	瓶	21.4	-	-	6.1	nH?~H?	?	nH?~32H?	灰白	灰白	○ ○	5	Ⅲ	0.2~0.5mの基白色砂粒含	
27	12	214	B H02 D 色斑砂	新生 土層	壺	15.2	-	-	8.7	nH?	?	nH?~32H?	桂	桂	○ ○	10	Ⅲ?	0.3~1mの白緑色砂粒含、壁内部：暗灰色	
27	10	214	B H02 D 色斑砂	新生 土層	壺	24.0	-	-	16.1	nH?~32H?	?	扁圓波状文、nH?	灰白	灰白	○ ○	30	Ⅲ~3	0.2~1mの基白色砂粒含	
27	13	215	B H02第3層 D 色斑砂	新生 土層	壺	25.6	-	-	7.4	nH?~H?	?	nH?~帶繩波状文	灰白	灰白	○ ○	5	Ⅲ~3	0.3~1mの晶白色砂粒含	
27	8	216	B H02第3層 D 色斑砂	新生 土層	壺	21.8	-	-	7.6	平底部：nH? nH?~H?	?	nH?	灰白	灰白	○ ○	30	Ⅲ~IV	0.5~2mの白色砂粒含	
27	9	217	B H02 D 色斑砂	新生 土層	壺	14.1	-	-	6.2	nH?~H?	?	nH?~32H?	灰白	灰白	○ ○	5	Ⅲ~IV	0.3~1mの基白色砂粒含	
27	52	218	B H02第2層・下 層	新生 土層	無底盤	7.0	15	1	3.1	11.4	nH?~H?	?	31H?	灰白	灰白	○ ○	90	V~	0.3~1mの白底砂粒少、異端あり、口縁近くに対面 上に2カ所の穿孔もあり、(無底)
27	68	219	B H02 D 2色土層	下層・基 底色斑砂	広口壺	10.9	-	-	4.0	口：nH?	?	口：nH?~32H?	-	-	○ ○	5~7	V~2~3	0.3~1m、短頸	
27	4	220	B H02 D 2色土層	下層・基 底色斑砂	広口壺	-	-	-	8.4	H?	?	32H?	灰白	灰白	○ ○	10	V~3~ V~0	0.5~2mの白色砂粒多、口径径12.7cm、短頸	
27	59	221	B H02 D 2色土層	新生 土層	広口壺	-	15.5	5.2	12.5	31H?~4	?	nH?~32H?	灰白	灰白	○ ○	40	V~2~3	0.5~2mの基白色砂粒少、短頸	
27	80	222	B H02 D 2色土層	新生 土層	広口壺	11.7	17.6	-	12.4	口：32H?~32H? 身：nH?~32H? 足：32H?~32H?	?	口：32H?~32H? 身：nH?~32H? 足：32H?~32H?	灰白	灰白	○ ○	65	V~2	0.5~2mの基白色砂粒多、短頸	
27	86	223	B H02第2層 D 2色土層	新生 土層	長頸壺	12.4	-	-	5.4	口：nH?~32H?	?	口：32H?~32H?	灰白	灰白	○ ○	10~ 15	V~3~ V~0	1~2mの白色砂粒含、(長・A)	
27	7	224	B H02第2層・下 層	新生 土層	短頸壺	10.6	-	-	5.0	口部：32H? 身：nH?~32H?	?	32H?~32H?	在い 異端	在い 異端	○ ○	V~	0.3m以下の白色砂粒少。(ひょうたん)		
27	57	225	B H02第2層 D 2色土層	新生 土層	長頸壺	-	14.3	5.3	11.5	H?	?	nH?~H?	灰白	灰白	○ ○	70	V~	0.5mの白色砂粒少。下部：すす付器。(長・A)	
27	8	226	B H02第2層 D 2色土層	新生 土層	長頸壺	14.2	-	-	16.0	32H?	?	nH?~32H?	灰白	灰白	○ ○	50	V~3	0.3~2m程の白色砂粒多、基盤あり、頭部下方 側方に向。(長・A)	
27	5	227	B H02第2層 D 2色土層	新生 土層	長頸壺	17.2	-	-	12.5	32H?	?	nH?~32H?	在い 異端	在い 異端	○ ○	15	V~1~ V~0	0.5~1.5m以下の棒・白砂粒網面は灰白色少含。(長・A)	
27	87	228	B H02第2層 D 2色土層	新生 土層	短頸壺	11.6	-	-	9.7	口：nH?~32H? 身：nH?~32H?	?	nH?~32H?	灰白	灰白	○ ○	45	V~2~3	0.5~1mの砂粒少、4~7mmの小石多含。(長・A)	
27	85	229	B H02第2層 D 2色土層	新生 土層	長頸壺	12.35	-	-	14.6	-	-	-	灰白	灰白	○ ○	-	V~1~ V~0	0.5~3mの砂粒多。(長・A)	
27	9	230	B H02第2層・下 層	新生 土層	長頸壺	13.1	-	-	12.4	口：底端のゆが み：H?	?	(口：nH?)~32H?	在い 異端	在い 異端	○ ○	15	V~3~ V~0	0.3~1mの白底砂粒少。(長・A)	
27	31	231	B H02 D 2色土層	新生 土層	長頸壺	11.0	-	-	10.8	口：nH?~32H?	?	口：nH?~32H? 体：nH?~32H?	灰白	灰白	○ ○	15	V~1~ V~0	0.3~5mの基白色砂粒少。(長・A)	
27	112	232	B H02第2層 D 2色土層	新生 土層	長頸壺	12.0	18.1	3.9	24.6	口：nH?~32H? 底盤：nH?~32H? 足：nH?~32H?	?	nH?~32H? 底盤：nH?~32H? 足：nH?~32H?	灰白	灰白	○ ○	60	V~3~ V~0	0.5~1.5mの白色砂粒少。底盤：3.5×1.7cm。(長・A)	
27	103	233	B H02第2層 D 2色土層	新生 土層	長頸壺	10.9	-	5.0	24.0	口：nH?~32H? 底盤：nH?~32H? 足：nH?~32H?	?	nH?~32H? 底盤：nH?~32H? 足：nH?~32H?	灰白	灰白	○ ○	100	V~3~ V~1	0.5~1mの白色砂粒少。(長・A)	
27	101	234	B H02第2層 D 2色土層	新生 土層	長頸壺	8.8	-	4.6	2.4	口：nH?~32H? 底盤：nH?~32H?	?	口：nH?~32H? 底盤：nH?~32H?	灰白	灰白	○ ○	90	V	0.5~1mの白底砂粒含。(長・A)	
27	104	235	B H02第2層 D 2色土層	新生 土層	長頸壺	10.1	-	4.3	20.7	4~7 口：nH?~32H? 底盤：nH?~32H?	?	口：nH?~32H? 底盤：nH?~32H?	灰白	灰白	○ ○	100	V~0~ V~3	0.5~1mの砂粒多。5m程の小石含。(長・A)	
27	102	236	B H02 D 2色土層	新生 土層	長頸壺	10.3	-	4.8	25.6	口：nH?~32H? 底盤：nH?~32H?	?	口：nH?~32H? 底盤：nH?~32H?	灰白	灰白	○ ○	100	V~0~ V~3	0.5~1mの白色砂粒少。(長・A)	
27	116	237	B H02第2層・下 層	新生 土層	長頸壺	10.0	-	-	16.6	口：nH?~32H? 底盤：nH?~32H?	?	くし削波状文、底盤文。 nH?~32H? 底盤文	灰白	灰白	○ ○	55	V~1~ 2	0.3~0.5mの白底砂粒少。蓋面に底盤文。(要抄)	

27	3	238	BSX-B ハシナガ・下唇・風 2 黒色粘土類	野生 土壌	広口型	-	-	-	7.1	口唇-32付	口唇-32付	灰白 灰白	○ ○	20	V-3 ~ VI-0	0.5mm以下の砂較少。口網食: 14.2cm、広口 Aa
27	30	239	BSX-B ハシナガ・上唇・風 2 黒色土	野生 土壌	広口型	15.5	-	-	5.6	口: 四縁文、口縫: nbf-32 付	口: 四縁文、口縫: nbf-32 付	灰白 灰白	○ ○	10	V-1 ~ VI-0	0.5 ~ 1mmの白色砂較食、葉外反した口縫の面に は凹窓1条。広口 Aa
27	27	240	BSX-B ハシナガ・上唇・風 2 黒色土	野生 土壌	広口型	17.1	-	-	4.8	口	口: 四縁文2条、頭部: nbf	頭縫	○ ○	10	V-3 ~ VI-0	0.5 ~ 2mmの白黒色砂較食、口網部は外食して上方に伸 び縮詰部は上下に棘を持ち、頭部には凹窓1条、広口 Aa
27	67	241	BSX-B 2 黒色土	野生 土壌	広口型	15.6	-	-	4.8	-	-	灰白 灰白	○ ○	-	V-3	0.5 ~ 3mmの白色砂較少、広口 Aa
27	13	242	BSX-B ハシナガ第2回 2 黒色土	野生 土壌	広口型	12.6	18.6	4.6	20.0	口: 23付、体: nbf-27付	口: 23付、体: nbf-27付	灰白 灰白	○ ○	99	V-0 ~ I	0.3 ~ 5mmの白黒色砂較少、広口 Aa
28	14	243	BSX-B ハシナガ第2回 2 黒色土	野生 土壌	腹	16.5	-	5.8	28.5	口: 33付、体: nbf-27付	口: 33付、体上: nbf-27付、体下: nbf-29付	灰白 灰白	○ ○	99	VI-0	0.6 ~ 3mmの白色砂較食、広口 Aa
28	115	244	BSX-B ハシナガ・下唇・風 2 黒色土	野生 土壌	広口型	16.3	-	-	5.2	口: 23付、付	口: 23付、付	灰白 灰白	○ ○	20	VI-27	0.5 ~ 1mmの黒色砂較食、広口 Aa
28	81	245	BSX-B ハシナガ	野生 土壌	広口型	15.3	-	-	6.5	口: nbf-32付、付: nbf-1付	口: nbf-32付、付: nbf-1付	灰白 灰白	○ ○	5 ~ 7	V-2	0.5 ~ 1mmの砂較少、広口 Aa
28	34	246	BSX-B 2 下唇・黒色粘土	野生 土壌	-	14.2	-	-	4.5	-	-	灰白 灰白	○ ○	-	-	0.3 ~ 1mmの白黒色砂較食、広口 Aa
28	1	247	BSX-B ハシナガ第2回・下 2 唇	野生 土壌	広口型	20.8	-	-	9.1	口: 23付、付: nbf-3付	口: 23付、付: nbf-3付、頭部: 四縁文	灰白 灰白	○ ○	35	V-3 ~ VI-0	0.5 ~ 2mmの白黒色砂較多、広口 Ba
28	65	248	BSX-B ハシナガ	野生 土壌	広口型	12.6	-	-	6.3	口: nbf-28付、付: nbf-2付	口: nbf-28付、付: nbf-2付、上: nbf-1付	灰白 灰白	○ ○	10	VI-2	0.3 ~ 1mmの白色砂較食、広口 Ba
28	63	249	BSX-B 2 ハシナガ	野生 土壌	広口型	13.6	-	-	5.1	口縫: nbf-1付	口縫: nbf-1付	灰白 灰白	○ ○	30	VI-1 ~ 2	0.3 ~ 2mmの白黒色砂較食、広口 Ba
28	36	250	BSX-B 2 下唇・黒色粘土	野生 土壌	広口型	17.4	-	-	6.3	口	nbf	灰白 灰白	○ ○	10	V-3	0.5 ~ 3mmまでの砂較食、表面の韌脚が美しい、広口 Ba
28	82	251	BSX-B 2 ハシナガ	野生 土壌	広口型	15.0	-	-	4.8	口縫: nbf-1付、付: 頭部: nbf-2付	口縫: nbf-1付、付: 頭部: nbf-2付、上: nbf-1付	灰白 灰白	○ ○	30	VI-1	0.5 ~ 4mmの白色砂較食社会、広口 Bd
28	36	252	BSX-B 2 ハシナガ	野生 土壌	広口型	11.3	-	-	3.6	口縫: nbf-1付	口縫: nbf-1付	灰白 灰白	○ ○	15	VI-1 ~ 2	0.5 ~ 1mmの白黒色砂較食、内側には竹苞文が複数個等につけられる。 内側には葉状文が認められる。広口 Ca
28	81	253	BSX-B ハシナガ第2回・下 2 唇	野生 土壌	広口型	22.6	-	-	4.9	口縫: nbf	口縫: nbf-1付、竹苞文: nbf-1付	灰白 灰白	○ ○	10	V-1	0.5 ~ 2mmの砂較食、広口 Ca
28	33	254	BSX-B 2 下唇・黒色土	半島西海岸 土壌	広口型	25.8	-	-	3.9	口縫:	口縫: nbf-1付、竹苞文: nbf-1付	褐色 褐色	△ △	10	VI-2	0.5 ~ 2mmの白黒色砂較食、外反した口縫には肥厚し し縮詰部がある。外反した口縫には竹苞文が複数個等につけられる。 内側には葉状文が認められる。広口 Ca
28	6	255	BSX-B 2 下唇・風・基 2 黒色粘土	野生 土壌	広口型	19.0	-	-	4.2	口縫: nbf	口縫: nbf-4 ~ 32付	褐色 褐色	○ ○	5	V-	0.3 ~ 1mmの白色砂較食
28	32	256	BSX-B 2 ハシナガ	半島西海岸 土壌	広口型	25.4	-	-	7.9	口縫: 竹苞文、1 付	口縫: 竹苞文、2 付	灰黒褐 灰黒褐	△ △	10	VI-2	0.3 ~ 1mmの白黒色砂較多
28	66	257	BSX-B 2 ハシナガ	野生 土壌	広口型	17.1	-	-	7.5	口縫:	口縫文3条、口縫: nbf 1付	灰白 灰白	○ ○	10 ~ 15	V-1 ~ 2	0.3 ~ 2mmの黒色砂較多。
28	29	258	BSX-B 2 ハシナガ	野生 土壌	広口型	17.6	-	-	6.2	口縫:	口縫文3条、nbf-32付	灰白 灰白	○ ○	10	V-3	0.3 ~ 1mmの褐色砂較食、外反した口縫には肥厚し し縮詰部がある。内側には葉状文が複数個等につけられる。 内側には葉状文が認められる。広口 Ca
28	2	259	BSX-B 2 ハシナガ・暗灰色粘 2 土	野生 土壌	広口型	16.0	-	-	6.8	口: nbf-1付 ~ 32付 付、付:	口: 脂腺文、nbf-32付	灰白 灰白	○ ○	25	IV	0.3 ~ 2mm程度の褐色砂較食、広口 D
28	28	260	BSX-B 2 下唇・風・基 2 黑色土	野生 土壌	広口型	17.1	-	-	6.8	口: nbf-1付 ~ 32付 付、付:	口: nbf-1付 ~ 32付 付、付:	灰白 灰白	○ ○	10	VI-2 ~ VI-3	0.3mmの砂較少から4mmの小石まである。広口 D
28	24	261	BSX-B 2 ハシナガ	野生 土壌	広口型	17.1	-	-	7.3	口:	nbf-1付 ~ 32付 付、付:	淡黃褐 淡黃褐	○ ○	30	V-3 ~ VI-0	0.3 ~ 1mmの淡黄褐色砂較少
28	93	262	BSX-B ハシナガ第2回・南 2 黒色土	野生 土壌	広口長顎	16.8	-	-	6.7	口縫:	口縫: 竹苞文、口縫: nbf	灰白 灰白	○ ○	5 ~ 7	VI-2 ~ VI-3	0.3 ~ 4mmの白黒色砂較多
28	20	263	BSX-B 2 下唇・風・基 2 黑色土	野生 土壌	広口口蓋	15.8	-	-	5.6	口: nbf-4 ~ 32付 付、付:	口: nbf-4 ~ 32付 付、付:	灰白 灰白	○ ○	10	VI-1 ~ 2	0.3 ~ 2mmの白色砂較少
28	58	264	BSX-B ハシナガ第2回 2 黒色土	野生 土壌	小型広口型 (巣袋型)	9.6	-	3.3	8.5	口: nbf、 付:	口: 32付、付上: nbf-1付 ~ nbf-2付、 付下: nbf-1付	灰白 灰白	○ ○	100	V-	0.3mmの黒白色砂较少、巣袋付?
28	95	265	BSX-B 2 ハシナガ・下唇・風 2 黑色粘土	野生 土壌	広口口蓋	14.7	-	-	3.0	口: nbf-4 ~ 32付 付:	口: nbf-4 ~ 32付 付:	浅黃褐 浅黃褐	○ ○	10	V-	0.3 ~ 1mmの黒白色砂較少。(瘦A)
28	92	266	BSX-B ハシナガ第2回・下唇 2 黒色土	野生 土壌	本格口蓋	22.5	-	-	3.3	口: nbf-4 ~ 32付 付:	口: 脂腺文	灰白 灰白	○ ○	5 ~ 7	V-2	0.3 ~ 1mmの黒白色砂較少
28	10	267	BSX-B 2 ハシナガ	野生 土壌	本格口蓋	25.4	-	-	7.5	口:	粘付対応・横1条・横2条	灰白 灰白	○ ○	3 ~ 5	V-	0.3 ~ 1mmの砂較多
28	11	268	BSX-B 2 ハシナガ第2回	野生 土壌	本格口蓋	23.0	-	-	9.5	口:	32付、受精文	にぶい にぶい	○ ○	-	V-	0.5 ~ 3mmの黒・白色砂較多。
28	53	269	BSX-B 2 ハシナガ第2回・下唇 2 黒色土	野生 土壌	巣袋	11.5	-	-	4.8	口:	32付	灰白 灰白	○ ○	40	V-	付付很多、巣袋2付と付5mm
28	116	270	BSX-B 2 ハシナガ第2回	野生 土壌	台付型	11.5	-	12.8	15.4	付付-32付 付付-1付、付:	付付-32付 付付-1付、付:	灰白 灰白	○ ○	90	V-1 ~ 2	0.5 ~ 1mmの白黒色砂較食、台付型
28	106	271	BSX-B 2 ハシナガ第2回	野生 土壌	台付型	9.3	-	8.8	12.2	口: 32付、受精文 +付付-32付 +付付-1付、付:	口: 32付、受精文 +付付-32付 +付付-1付、付:	灰白 灰白	○ ○	98	V-2 ~ 3	0.3 ~ 0.5mmの白黒色砂較少。
28	105	272	BSX-B 2 ハシナガ第2回	野生 土壌	台付型	10.3	-	-	7.1	口: 32付、 付: nbf-32付	口: 32付、 付: nbf-32付	灰白 灰白	○ ○	50	V-	0.5 ~ 1mmの黒白色砂較食
28	108	273	BSX-B 2 ハシナガ第2回	野生 土壌	腹	12.6	-	4.9	16.7	口: 32付、 付: nbf-32付	口: 32付、 付: nbf-32付	灰白 灰白	○ ○	96	V-3 ~ VI-0	0.3mmの白色砂較食。全表面すり付着、Ac
28	107	274	BSX-B 2 ハシナガ第2回	野生 土壌	腹	13.2	-	5.5	18.0	口: 32付、 付: nbf-32付 付: nbf-1付、付:	口: 32付、 付: nbf-32付 付: nbf-1付、付:	灰白 灰白	○ ○	100	VI-0 ~ 20	3 ~ 0.5mmの白色砂較食、Ac
28	117	275	BSX-B 2 ハシナガ第2回	野生 土壌	腹	14.4	-	4.2	19.1	口: 32付、 付: nbf-32付	口: 32付、 付: nbf-32付	灰白 灰白	○ ○	100	VI-2	0.5mmの白黒色砂較食。表面多量すり付着、Ac
28	77	276	BSX-B 2 ハシナガ第2回・下唇 2 黒色土	野生 土壌	腹	13.7	-	-	8.8	-	-	灰白 灰白	○ ○	35	V-3 ~ VI-0	0.3mmの白黒色砂較食
28	17	277	BSX-B 2 ハシナガ・暗灰色粘土 2 黒色土	野生 土壌	腹	14.7	-	-	8.8	付:	付: nbf	灰白 灰白	○ ○	15	VI-1 ~ 2	0.5 ~ 1mmの白・黒砂較多

28	22	270	B53	H-07・下唇・排 2色灰土唇	雄生 土唇	夏	12.2 ?	-	-	6.2	体: ♀♂	□: n♂→22♂、体: n♂	淡黄體 ～赤褐色 ～赤褐色	淡黃體 ～赤褐色 ～赤褐色	○ ○	10	VI-0-1	0.5 ~ 1mmの白色砂粒、糸状纖維
28	69	270	B53	H-07・2面・南 2色粘土	雄生 土唇	夏	12.6	-	-	14.9	□: 22♂、体: n♂→22♂	□: 22♂、体: n♂→22♂	灰白 灰白	灰白 灰白	○ ○	40	V-2-3	0.5 ~ 1mmの砂粒、(A)
28	25	280	B53	H-07・中附・黑 2色粘土	雄生 土唇	夏	16.1 ?	-	-	9.3	□: 22♂ → n♂→22♂、体: n♂→22♂	□: n♂→22♂、体: n♂→22♂	明褐 明褐	明褐 明褐	○ ○	20	V-3- VI-1	0.5 ~ 0.6mmの砂粒
29	71	281	B53	H-07・下唇・黑 2色粘土	雄生 土唇	夏	13.0	-	-	7.9	□: 22♂、体: n♂→22♂	□: 22♂、体: n♂→22♂	灰白 灰白	灰白 灰白	○ ○	15	VI-0	0.5mmの白基色砂粒
28	72	282	B53	H-07・下唇・黑 2色粘土	雄生 土唇	夏	13.2	-	-	4.9	□: 22♂、体: n♂→22♂	□: 22♂、体: n♂→22♂	灰白 灰白	灰白 灰白	○ ○	10	V-3- VI-0	0.5 ~ 1mmの白基色砂粒
28	76	283	B53	H-07・2面	雄生 土唇	夏	12.7	-	-	8.8	□: 22♂、体: n♂→22♂	□: 22♂、体: n♂→22♂	灰白 灰白	灰白 灰白	○ ○	10	V-3- VI-0	0.5mmの白基色砂粒
28	78	284	B53	H-07・下唇・黑 2色粘土	雄生 土唇	夏	16.2	-	-	9.8	□: 22♂、体: n♂→22♂	□: 22♂、体: n♂→22♂	灰白 灰白	灰白 灰白	○ ○	10	V-3- VI-0	1 ~ 3mmの白基色砂粒
28	70	285	B53	H-07・下唇・黑 2色粘土	雄生 土唇	夏	13.2	-	-	7.6	□: 22♂、体: n♂→22♂	□: 22♂、体: n♂→22♂	灰白 灰白	灰白 灰白	○ ○	20	VI-1	すすき草。Aa
28	19	286	B53	H-07・下唇・黑 2色灰土唇	雄生 土唇	夏	17.5 ?	-	-	7.3	□: 22♂、体: n♂→22♂	□: 22♂、体: n♂→22♂	灰白 灰白	灰白 灰白	○ ○	5 ~ 7	VI-1	0.5 ~ 2mmの白色砂粒多、外因: デリケート
28	16	287	B53	H-07・暗灰土粘 2土唇	雄生 土唇	夏	16.1	-	-	11.3	□: 22♂、体: n♂→22♂	□: 22♂、体: n♂→22♂	灰白 灰白	灰白 灰白	○ ○	35	V-3- VI-2	0.5 ~ 1mmの白色砂粒多、Aa
28	58	288	B53	H-07・2面	雄生 土唇	小型型	8.4	-	3.7	11.1	□: 22♂、体: n♂→22♂+n♂→22♂	□: 22♂、体: n♂→22♂+n♂→22♂	灰白 灰白	灰白 灰白	○ ○	100	VI	0.5 ~ 1mmの白基色砂粒
28	79	289	B53	H-07・下唇・黑 2色灰土唇	雄生 土唇	夏	14.45	-	-	4.8	□: 22♂、体: n♂→22♂	□: 22♂、体: n♂→22♂	灰白 灰白	灰白 灰白	○ ○	15	VI-0	0.5 ~ 1mmの白色砂粒多
28	20	290	B53	H-07・下唇・黑 2色灰土唇	雄生 土唇	夏	12.4 ?	-	-	5.0	□: 22♂、体: n♂→22♂	□: 22♂、体: n♂→22♂	灰白 灰白	灰白 灰白	○ ○	10	VI-1	0.5 ~ 1mmの白基色砂粒及び小石子
28	75	291	B53	H-07・下唇・黑 2色粘土	雄生 土唇	夏	17.3	-	-	7.1	□: 22♂、体: n♂→22♂	□: 22♂、体: n♂→22♂	灰白 灰白	灰白 灰白	○ ○	15 ~ 20	VI-0	1 ~ 3mmの砂粒多、細繊維
28	21	292	B53	H-07・下唇・黑 2色粘土	雄生 土唇	夏	16.8 ?	-	-	6.6	□: 22♂、体: n♂→22♂	□: 22♂、体: n♂→22♂	灰白 灰白	灰白 灰白	○ ○	15	V-2	0.3mm未満の白色砂粒多、表面すすき草
28	83	293	B53	H-07・下唇・黑 2色粘土	雄生 土唇	夏	14.5	-	-	15.6	□: 22♂、体: n♂→22♂	□: 22♂、体: n♂→22♂	灰白 灰白	灰白 灰白	○ ○	10	V-2-3	0.5 ~ 2mmの白色砂粒多
28	80	294	B53	H-07・2面・南 2色粘土	雄生 土唇	夏	16.1	-	-	6.0	□: 22♂、体: n♂→22♂	□: 22♂、体: n♂→22♂	灰白 灰白	灰白 灰白	○ ○	10	V-0- V-3	0.5 ~ 1mmの白色砂粒多
28	82	295	B53	H-07・2面	雄生 土唇	夏	16.7	-	-	4.9	□: 22♂、体: n♂→22♂	□: 22♂、体: n♂→22♂	灰白 灰白	灰白 灰白	○ ○	10	VI-1	0.5 ~ 2mmの白色砂粒多
29	24	296	B53	H-07・上唇・黑褐色土 2土唇	雄生 土唇	夏	14.6 ?	-	-	5.0	□: 22♂、体: n♂→22♂	□: 22♂、体: n♂→22♂	-	-	○ ○	10	VI-0	0.5 ~ 1mmの基色砂粒付
28	23	297	B53	H-07・下唇・黑 2色灰土唇	雄生 土唇	夏	14.7 ?	-	-	6.3	□: 22♂、体: n♂→22♂	□: 22♂、体: n♂→22♂	灰白 灰白	灰白 灰白	○ ○	10	V-3- VI-2	0.3mm白基色砂粒
28	73	298	B53	H-07・2面	雄生 土唇	夏	15.4	-	-	3.9	□: 22♂、体: n♂→22♂	□: 22♂、体: n♂→22♂	灰白 灰白	灰白 灰白	○ ○	10	V-3- VI-1	0.5 ~ 1mmの白色砂粒多
28	74	299	B53	H-07・下唇・黑 2色粘土	雄生 土唇	夏	15.1	-	-	6.9	□: 22♂、体: n♂→22♂	□: 22♂、体: n♂→22♂	灰白 灰白	灰白 灰白	○ ○	10	V-2-3	0.3mm未満の白色砂粒多
28	16	300	B53	H-07・暗灰土粘 2土	雄生 土唇	夏	17.1	-	-	6.2	□: 22♂、体: n♂→22♂	□: 22♂、体: n♂→22♂	灰白 灰白	灰白 灰白	○ ○	5 ~ 7	V-3- VI-0	0.5 ~ 0.8mmの真、白色砂粒多、外因: 叶片目に入るが細胞質しく詳細不明
28	18	301	B53	H-07・下唇・黑 2色灰土唇	雄生 土唇	夏	16.6 ?	-	-	6.5	□: 22♂、体: n♂→22♂	□: 22♂、体: n♂→22♂	淡黄體 淡黄體	淡黃體 淡黃體	○ ○	15	VI-0	0.5 ~ 1mmの白・黒・茶砂粒
28	81	302	B53	H-07・2面	雄生 土唇	夏	14.6	-	-	6.0	□: 22♂、体: n♂→22♂	□: 22♂、体: n♂→22♂	灰白 灰白	灰白 灰白	○ ○	10	VI-1	0.5 ~ 1mmの白基色砂粒付
28	84	303	B53	H-07・2面	雄生 土唇	夏	17.8	-	-	6.1	□: 22♂、体: n♂→22♂	□: 22♂、体: n♂→22♂	灰白 灰白	灰白 灰白	○ ○	10	V-2-3	
28	105	304	B53	H-07・2面	雄生 土唇	夏	16.2	18.0	5.3	23.9	□: 22♂、体: n♂→22♂	□: 22♂、体: n♂→22♂	灰白 灰白	灰白 灰白	○ ○	100	VI-0- VI-2	0.5 ~ 2mmの白色砂粒多。表面すすき草付。Aa
28	114	305	B53	H-07・2面	雄生 土唇	底口蓋	14.0	22.8	4.9	27.1	□: 22♂、体: n♂→22♂+n♂→22♂	□: 22♂、体: n♂→22♂+n♂→22♂	灰白 灰白	灰白 灰白	○ ○	96	V-0-1	0.5 ~ 2mmの白基色砂粒多。体盤に穿孔3カ所 (5.0×4.5/6.0×2.8/3.6×5.0)。Aa
28	90	306	B53	H-07・下唇・黑 2色粘土	雄生 土唇	鉢	7.4	-	3.3	5.3	□: 22♂、体: n♂→22♂	□: 22♂、体: n♂→22♂	灰白 灰白	灰白 灰白	○ ○	55	V-2-3	0.3mmの白基色砂粒。AI
29	39	307	B53	H-07・上唇・黑 2色粘土	雄生 土唇	鉢	9.2	-	3.6	4.9	□: 22♂+n♂→22♂+n♂→22♂	□: 22♂、体: n♂→22♂	褐斑 褐斑	褐斑 褐斑	○ ○	80	VI-27	0.3 ~ 0.5mmの白色砂粒少、AI
29	38	308	B53	H-07・2面	雄生 土唇	鉢	8.9	-	3.3	6.1	□: 22♂、体: n♂→22♂	□: 22♂、体: n♂→22♂	灰白 灰白	灰白 灰白	○ ○	100	V-2-3	0.3mmの基色砂粒多。AI
29	37	309	B53	H-07・下唇・黑色粘土	雄生 土唇	鉢	11.6 ?	-	4.2	7.2	□: 22♂、体: n♂→22♂	□: 22♂、体: n♂→22♂	灰白 灰白	灰白 灰白	○ ○	60	V-2	0.5 ~ 2mmの白基色砂粒付。AI
29	14	310	B53	H-07・下唇・黑 2色粘土	雄生 土唇	鉢	10.2	-	3.6	7.6	□: 22♂、体: n♂→22♂	□: 22♂、体: n♂→22♂	灰白 灰白	灰白 灰白	○ ○	75	VI-0	0.3mm以下の基色砂粒少、AI
29	90	311	B53	H-07・下唇・黑 2色粘土	雄生 土唇	鉢	8.3	-	2.1	6.1	□: 22♂+n♂→22♂+n♂→22♂	□: 22♂、体: n♂→22♂	褐斑 褐斑	褐斑 褐斑	○ ○	80	VI-0	0.5 ~ 1mmの白色砂粒少、AI
29	49	312	B53	H-07・2面・下 2面・黑褐色土唇	雄生 土唇	小断鉢	4.25 ?	-	2.6	8.2	□: 22♂、体: n♂→22♂	□: 22♂、体: n♂→22♂	灰白 灰白	灰白 灰白	○ ○	80	VI-37	0.5 ~ 1.3mmの白基色砂粒少、AI
29	94	313	B53	H-07・2面	雄生 土唇	鉢	12.2	-	3.8	8.4	□: 22♂+n♂→22♂	□: 22♂+n♂→22♂	にぶい 灰白	灰白	○ ○	95	V-3- VI-0	0.3 ~ 1mmの黒褐色砂粒少、AI
29	66	314	B53	H-07・2面	雄生 土唇	鉢	-	-	5.0	5.6	体: □: 22♂	体: □: 22♂	灰白 灰白	灰白 灰白	○ ○	70	VI-2	0.3mmの基色砂粒少、AI
29	40	315	B53	H-07・上唇・黑 2色粘土	雄生 土唇	鉢	-	-	-	-	□: 22♂+n♂→22♂	□: 22♂+n♂→22♂	灰白 灰白	灰白 灰白	○ ○	85	VI-3	0.5 ~ 1mmの白基色砂粒少、表面は褐色、体盤は褐色に内変形のみに上方に伸びる部分は黒がありを持ち伸びる。E
29	88	316	B53	H-07・2面	雄生 土唇	鉢 (基部部 立式)	13.5	-	6.3	7.4	□: 22♂、体: n♂→22♂	□: 22♂、体: n♂→22♂	灰白 灰白	灰白 灰白	○ ○	30	V-2	0.3 ~ 1mmの白基色砂粒少、E
29	100	317	B53	H-07・上唇・黑褐色土 2土唇	雄生 土唇	多孔鉢	12.6	-	3.9	7.7	□: 22♂	□: 22♂	灰白 灰白	灰白 灰白	○ ○	20	VI-7	0.3 ~ 1mmの白基色砂粒少、AI

29	13	318	BSX B ハシナ - 森灰白筋 2 土壌	幼生 土壌	有孔部 14.0 7	-	112.37 口:27' ~ 99'	994	灰白 灰白	○ ○	80	V-I	0.5 ~ 5mm の砂粒多、A2	
29	12	319	BSX B ハシナ第 2 図	幼生 土壌	有孔部 14.1 8	-	4.6 11.2 口:27' ~ 79'	994 (7) (79)	灰白 灰白	○ ○	100	V-I V-II	0.3mm 程の白・黒砂粒、孔径: 0.7 ~ 1.0cm, A1	
29	13	320	BSX B ハシナ - 森灰白筋 2 土壌	幼生 土壌	有孔部 - 2.2 ~ 2.8	-	体: 27' ~ 79' 口: 32' 7. 次: 27' 79'	994	灰白 灰白	○ ○	75	V-I V-II	0.3 ~ 1mm の黒色砂粒多、A1	
29	98	322	BSX B ハシナ第 2 図・下 層	幼生 土壌	有孔部 - 1.6	-	7.6 口: 27' ~ 79'	994	灰白 灰白	○ ○	25	V-I V-II	0.3 ~ 1mm の白灰色砂粒多、孔径: 0.5 ~ 0.6cm, A1	
29	43	322	BSX B ハシナ第 2 図・下 層	幼生 土壌	有孔部 13.1	-	3.4 13.0 口: 27' ~ 79' 体: 口: 27' ~ 79'	994	灰白 灰白	○ ○	90	V-	0.3mm の黑色砂粒少含、Bt	
29	42	323	BSX B ハシナ第 2 図	幼生 土壌	鉢 15.6	-	4.3 13.2 口: 27' ~ 79'	994	灰白 灰白	○ ○	85	V-I V-II	0.3 ~ 1mm の白灰色砂粒含、Gt	
29	89	324	BSX B ハシナ - 下層、黑 色地土	幼生 土壌	鉢 16.97	-	5.7 口: 27'	994	灰白 灰白	○ ○	20	V-I V-II	0.3 ~ 1mm の白灰色砂粒多、Gt	
29	44	325	BSX B ハシナ - 下層、黑 色地土	幼生 土壌	小形付鉢 11.1	-	6.9 7.8 口: 27' ~ 79' 体: 口: 27' ~ 79'	994	灰白 灰白	○ ○	98	V-I V-II	0.3 ~ 1mm の白黒褐色砂粒含	
29	97	326	BSX B ハシナ第 2 図	幼生 土壌	高坪 - -	-	11.0 10.9 口: 27' ~ 79' 体: 口: 27' ~ 79'	994	灰白 灰白	○ ○	60	V-I V-II	0.3 ~ 1mm の白黒色砂粒、鉢周に黒斑は斑点等に 3 ヶ 所孔: 0.8cm、孔径: A2	
29	46	327	BSX B ハシナ第 2 図	幼生 土壌	高坪 12.3	-	8.4 10.6 口: 27' ~ 79' 体: 口: 27' ~ 79'	994	灰白 灰白	○ ○	90	V-I V-II	0.3 ~ 1mm の白黒色砂粒、鉢周: A2	
29	46	328	BSX B ハシナ - 上層、黑 色地土	幼生 土壌	高坪 - -	-	10.2 7.8 口: 27'	994	灰白 灰白	○ ○	90	V-I V-II	0.3 ~ 3mm の白色砂粒含、鉢周: Gt	
29	47	329	BSX B ハシナ - 上層、黑 色地土	幼生 土壌	高坪 10.9	-	6.3 9.3 口: 27'	994	灰白 灰白	○ ○	80	V-I V-II	0.3 ~ 1mm の黒斑	
29	48	330	BSX B ハシナ - 上層、黑 色地土	幼生 土壌	小形容器 10.2	-	10.1 10.1 口: 27' ~ 79' 体: 口: 27' ~ 79'	994	灰白 灰白	○ ○	90	V-I V-II	0.3 ~ 1mm の白黒色砂粒、5mm 程度の小石含、孔通孔: 0.8cm, A1	
29	54	331	BSX B ハシナ第 2 図・下 層	幼生 土壌	融合 13.5	-	13.6 13.6 口: 27' ~ 79' 体: 口: 27' ~ 79'	994	灰白 灰白	○ ○	90	V-I V-II	0.3 ~ 1mm の白黒色砂粒、二段 (植物と岩面) に三つづき 孔あきらる、黒斑は三つづき三つのもの、孔は大きめで 1cm 位にある、これは表面は斑点ないが黒斑が散在してある、A 孔: 0.5 ~ 1cm の白色砂粒含、口部: 0.5 ~ 1cm の白色砂粒含、 上部: 孔径: 0.4cm、下部: 0.4cm、孔: 0.4cm 位の大きさで、A 穴: 0.5 ~ 1cm の白色砂粒含、孔: 0.5 ~ 1cm の白色砂粒含	
29	53	332	BSX B ハシナ - 下層、黑 色地土	幼生 土壌	融合 10.67	-	12.4 10.1 口: 27' ~ 79' 体: 口: 27' ~ 79'	994	灰白 灰白	○ ○	85	V-I V-II	0.3 ~ 1mm の白黒色砂粒含、口部: 0.5 ~ 1cm の白色砂粒含、 上部: 孔径: 0.4cm、下部: 0.4cm、孔: 0.4cm 位の大きさで、A 穴: 0.5 ~ 1cm の白色砂粒含、孔: 0.5 ~ 1cm の白色砂粒含	
29	110	333	BSX B ハシナ第 2 図	幼生 土壌	融合 - -	-	22 10.9 口: 27' ~ 79'	994	灰白 灰白	○ ○	60	V-I V-II	0.5 ~ 2mm の白黒色砂粒、孔: 1.3cm 位 2 段開存 4 個、A	
29	111	334	BSX B ハシナ - 融合	幼生 土壌	生駒西園成 土壌	- -	-	35.6 口: 27' ~ 79' 体: 口: 27' ~ 79'	994	灰白 灰白	○ ○	70	V-I V-II	0.5 ~ 2mm の白黒色砂粒、孔: 1.3cm 位 4 段 × 4 個 × 17 個、住居: φ: 12.3 ~ 16cm、厚さ: φ: 1.5 cm、A 穴: 0.5 ~ 1cm の白色砂粒含、外縁含: 4.1cm の小石も含、 疊合長: 3.8cm
29	41	335	BSX B ハシナ - 下層、黑 色地土	幼生 土壌	融合 6 ~ 6.5	-	5.1 口: 27'	994	灰白 灰白	○ ○	50	-	0.5 ~ 1mm の白黒色砂粒、厚さ: 1.5cm 位 2 段開存 4 個、A	
29	51	336	BSX B ハシナ - 上層、黑 色地土	幼生 土壌	融合 10.6	-	2.6 7.0 口: 27' ~ 79'	994	灰白 灰白	○ ○	95	V-	0.3 ~ 1mm の白色砂粒含	
29	119	337	BSX B ハシナ - 下層、黑 色地土	幼生 土壌	土壌 - 4.2	-	3.6 - -	-	灰白 灰白	○ ○	80	-	0.5mm の白黒色砂粒含	
29	4	338	CSD C ハシナ - 中央 - 黄 4 XV 帯	幼生 土壌	土壌 5.6	-	3.7 口: 27'	994	灰白 灰白	△ △	100	II ~ IV	石灰、長石、斜長石、ワラブ: 0.5 ~ 3mm 白色砂粒や多 (生物相観察)、厚さ: 2.6cm	
29	6	339	CSD C ハシナ北側洞内 4 中 - 下層	幼生 土壌	小形量 6.7	-	4.5 口: 27'	994	灰白 灰白	○ ○	90	II ~ IV	~ 1mm 大長石長石や多含、つまり径: 2.7 ~ 3.0cm	
29	5	340	CSD C ハシナ北側洞内 4 中 - 下層	幼生 土壌	量 6.0	-	2.4 口: 27'	994	灰白 灰白	○ ○	75	II ~ IV	~ 0.1mm 大白色粒	
29	2	341	CSD C ハシナ	幼生 土壌	量 - -	-	12.4 2.9 口: 27'	994	灰白 灰白	△ △	40	II ~ IV	長石: 0.6 ~ 3mm 大砂粒多含、つまり径: 12.4cm、孔径: 4.5mm	
29	18	342	CSD C ハシナ - 下層、黑 色地土	幼生 土壌	量 32.0	-	3.5 口: 27'	994	灰白 灰白	△ △	20	IV	長石・斜長石 0.5 ~ 2mm 大砂粒や多含	
29	20	343	CSD C ハシナ - 下層、黑 色地土	幼生 土壌	広口量 (33.2)	-	4.6 口: 27'	994	灰白 灰白	○ ○	15	IV	長石・斜長石 0.5 ~ 1mm 大砂粒や多含	
29	22	344	CSD C ハシナ - 下層、黑 色地土	幼生 土壌	広口量 (33.2)	-	4.6 口: 27'	994	灰白 灰白	○ ○	15	IV	~ 1mm 大砂粒・長石少含	
29	12	344	CSD C ハシナ	新生 土壌	広口量 (33.2)	-	6.6 口: 27'	994	田端文・円筒浮文・n/a	△ ○	15	V-I ~ 3	~ 0.5mm 大砂粒や多、口端部基盤供給物	
29	25	345	CSD C ハシナ - 下 - 直下層	新生 土壌	量 (33.7)	-	9.6 口: 27'	994	田端文・圓筒文・直安文	△ ○	15	IV	~ 1mm 以下の黑色砂粒や多含	
29	3	346	CSD C ハシナ - 下層、黒 色地土	新生 土壌	生駒西園成 土壌	(38.0)	-	5.7 口: 32' 9"	994	口: 内筒浮文 φ: 0.75 ~ 1.0cm n/a	△ ○	5	II ~ IV	黒雲母 - 0.5mm 砂粒
29	15	347	CSD C ハシナ北側洞内 4 上層、黒端石	新生 土壌	量 (38.0)	-	5.6 口: 27'	994	口: n/a	○ ○	15	II ~ 2	~ 1mm 大砂粒・長石少含	
29	28	348	CSD C ハシナ - 下 - 直下 4 層	新生 土壌	量 (38.0)	-	8.5 口: 32' 9"	994	直状文	△ ○	15	IV	石灰、長石、斜長石、ワラブ: 0.5 ~ 3mm 白色砂粒多含	
29	13	349	CSD C ハシナ - 4 層	新生 土壌	量 (38.0)	-	3.5 口: 27'	994	口: n/a 田端文・圓筒文・直安文	△ ○	10	II ~ 2 ~ 3	~ 0.5mm 砂粒少含	
29	17	350	CSD C ハシナ - 下層	新生 土壌	量 (38.0)	-	6.0 口: 27'	994	口: n/a 田端文・圓筒文	△ ○	18	IV ~ 3	~ 0.5mm 石灰・長石 etc の砂粒合	
29	16	351	CSD C ハシナ - 下 - 直下 4 层	新生 土壌	量 (38.0)	-	5.3 口: 27'	994	口: n/a 田端文	○ ○	10	IV ~ 1 ~ 2	~ 0.5mm 大砂粒少含	
29	19	352	CSD C ハシナ - 直下層	新生 土壌	量 (38.0)	-	6.7 口: 27'	994	田端文 3 条・n/a	○ ○	10	IV ~ 2	長石・斜長石少含	
29	22	353	CSD C ハシナ - 下層、黒 色地土	新生 土壌	量 (38.0)	-	6.3 口: 27'	994	口: 直播波状文 口部: 直播文 (3 条)・n/a 田端文・圓筒文	△ ○	10	IV	~ 1mm 後の白色砂粒や多含	
29	10	354	CSD C ハシナ北側洞内 4 中 - 下層	新生 土壌	量 (38.0)	-	6.1 口: 27'	994	口: 直播波状文	△ ○	5	IV ~ 1	~ 2mm 大砂粒や多	
29	39	355	CSD C ハシナ	新生 土壌	量 (38.0)	-	4.8 口: 27'	994	田端文 (5 条)・円筒浮文・n/a 状刻文	○ ○	10	IV ~ 1 ~ 2	長石・斜長石 1mm 大少含	
29	38	356	CSD C ハシナ - 中 - 黒 色地土	新生 土壌	量 (38.0)	-	2.3 口: 27'	994	田端文・円筒浮文 (2 形)	○ ○	-	V	~ 1mm 後の黑色砂粒や多含	
29	32	357	CSD C ハシナ	新生 土壌	量 (38.0)	-	7.6 口: 27'	994	田端文・n/a・三角形突起	○ ○	16	IV ~ 2	~ 1mm 以下の砂粒	

29	24	359	CSD	下層・粗粒層 洪生土帶	広口壺	Q1-E	-	-	7.1 口部部：基 底状文	口部部：韌繊維（3条）・韌 波状文	灰青褐色 灰白～ 細纖	○ ○	15	IV	- 1mm 以下の砂粒含合
29	27	359	CSD	中・下層・粗 粒層	洪生 土帶	広口壺	Q1-E	-	9.5 口部部	口部部：韌繊維（3条）・韌 波状文	灰青 灰白	○ ○	15	III～IV	- 1mm 以下の砂粒少含
29	21	360	CSD	C リンナ C リンナ・下層 C リンナ	洪生 土帶	広口壺	Q1-E	-	13.1 口部部	口部部：韌繊維（3条）・韌 波状文	灰青 灰白	○ ○	20		- 0.2mm 大白色砂少
29	37	361	CSD	C リンナ・下層 C リンナ	洪生 土帶	広口壺	Q1-E	-	10.1 口部部	口部部：韌繊維（3条）・韌 波状文	灰青 灰白	○ ○	-	III	- 1mm 以下砂粒少含
29	29	362	CSD	C リンナ	洪生 土帶	広口壺	Q1-E	-	9.1 口部部	口部部：韌繊維（3条）・韌 波状文	灰青 灰白	○ ○	15	III	- 1mm 砂粒含合
29	34	363	CSD	C リンナ・下層 C リンナ	洪生 土帶	深凹口壺 (灰青色 底部)	Q1-E	-	6.0 口部部	口部部：韌繊維（3条）・韌 波状文	黄褐色 灰青	○ ○	5	IV	- 1mm 以後白色砂粒少含
29	42	364	CSD	C リンナ	洪生 土帶	広口壺	Q1-E	-	8.5 口部部	口部部：韌繊維（3条）・韌 波状文	黄褐色 灰青	○ ○	-	IV	- 1mm 白色粘や多含
29	8	365	CSD	C リンナ北側溝内・ 中～下層	洪生 土帶	粗粒層	H1-E	-	11.8 口部部	口部部：韌繊維（3条）・韌 波状文	灰青 灰白	△ ○	35	II?	- 2mm 大砂粒や多
29	41	366	CSD	C リンナ	洪生 土帶	壁	U1-E	-	5.2 口部部	口部部：韌繊維（3条）・韌 波状文	灰青 灰白	○ ○	5	IV-1・2	- 1mm 以下白色砂粒少含
30	42	367	CSD	C リンナ	洪生 土帶	壁	U1-E	-	5.3 口部部	口部部：韌繊維（3条）・韌 波状文	灰青 灰白	○ ○	8	II～III	- 1mm 以下砂粒多含
30	44	368	CSD	C リンナ	洪生 土帶	壁	U1-E	-	7.7 口部部	口部部：韌繊維（3条）・韌 波状文	灰青 灰白	○ ○	8	III～IV-1	- 1mm 以下砂粒多、外：植物付
30	33	369	CSD	C リンナ・下層下 C リンナ	洪生 土帶	壁	U1-E	-	7.0 口部部	口部部：韌繊維（3条）・韌 波状文	灰青 灰白	○ ○	5	III～IV-1	- 1mm 以下の墨色砂粒
30	40	370	CSD	C リンナ	洪生 土帶	壁	U1-E	-	7.8 口部部	口部部：韌繊維（3条）・韌 波状文	灰青 灰白	○ ○	10	III～IV	
30	29	371	CSD	C リンナ	洪生 土帶	壁	U1-E	-	8.6 口部部	口部部：韌繊維（3条）・韌 波状文	灰青 灰白	○ ○	5	IV	- 1mm の白色砂粒含合
30	11	372	CSD	C リンナ	洪生 土帶	壁	U1-E	-	9.9 口部部	口部部：韌繊維（3条）・韌 波状文	灰青 灰白	○ ○	5	III-2・ IV-2	- 2mm 大砂石4個
30	14	373	CSD	C リンナ	洪生 土帶	壁	U1-E	-	9.4 口部部	口部部：韌繊維（3条）・韌 波状文	灰青 灰白	△ ○	5	III-3～ IV-2	- 2mm 大風石・斜長石砂粒多含
30	23	374	CSD	C リンナ・下層下 C リンナ	洪生 土帶	高所	U1-E	-	6.9 口部部	口部部：韌繊維（3条）・韌 波状文	灰青 灰白	○ ○	30	III-1	
30	1	375	CSD	C リンナ	洪生 土帶	高所	-	-	8.3 口部部	口部部：韌繊維（3条）・韌 波状文	灰青 灰白	△ ○	60	IV-3	- 1mm 大砂粒多含
30	36	376	CSD	C リンナ・下層下 C リンナ	洪生 土帶	高所 (河床)	U1-E	-	5.0 口部部	口部部：韌繊維（3条）・韌 波状文	灰青 灰白	○ ○	10	IV	
30	31	377	CSD	C リンナ	洪生 土帶	巻台 (既耕)	-	-	10.8 口部部	口部部：韌繊維、内孔	灰青 灰白	○ ○	5	IV	- 1mm 以下の白色墨色粒
30	7	378	CSD	C リンナ北側溝内・ 中～下層	洪生 土帶	小形者孔跡	-	-	3.8 口部部	口部部：韌繊維	灰青 灰白	○ ○	15	II～IV	- 0.1mm 白色砂多含、孔径：3.0～3.5mm
30	9	379	CSD	C リンナ北側溝内・ 中～下層	洪生 土帶	跡	U1-E	-	8.7 口部部	口部部：韌繊維	灰青 灰白	○ ○	15	III-1・ IV-3～4	- 2mm 大砂粒少
30	30	380	CSD	C リンナ	洪生 土帶	苔付斜 用	-	-	6.5 口部部	口部部：韌繊維、体・夢縫添 灰文・韌波状	灰青 灰白	x ○	5	III	1mm 後の白色砂粒多
30	36	381	CSD	C リンナ・下層下 C リンナ	洪生 土帶	苔	U1-E	-	9.2 口部部	口部部：韌繊維、体・夢縫添 灰文・韌波状	灰青 灰白	○ ○	10	IV	- 1mm 以下の砂粒
30	32	382	CSD	C リンナ・下層・黑 S 色粘土	洪生 土帶	壁	U1-E	-	21.4 口部部	口部部：韌繊維（3条）・韌 波状文	灰青 灰白	○ ○	65	III?	0.3～1mm の黒・白色砂粒合
30	35	383	CSD	C リンナ	洪生 土帶	迹	-	-	5.7 口部部	口部部：韌繊維（3条）・韌 波状文	灰青 灰白	○ ○	40	III	0.5～2mm の黒・白色砂粒合
30	52	384	CSD	C リンナ・D1 層・基 色粘土	洪生 土帶	水底	U1-E	-	8.6 口部部	口部部：韌繊維、直縞文、n/a	灰青 灰白	○ ○	10	III～IV	0.3～1mm の黒・白色砂粒合
30	56	385	CSD	C リンナ・中層・黑 S 色粘土	洪生 土帶	木底（ひよ うたん形）	U1-E	-	13.5 口部部	n/a	灰青 灰白	○ ○	40	I-4～ II	0.3～1mm の純灰色砂粒合
30	55	386	CSD	C リンナ・D1 層・基 色粘土	洪生 土帶	水底	U1-E	-	5.8 口部部	口部部：韌繊維直縞文（多段）	灰青 灰白	○ ○	10	III	0.3～2mm の白・純灰色砂粒合
30	52	387	CSD	C リンナ・中層・基 色粘土	勞生 土帶 (既耕)	水底 (既耕)	U1-E	-	4.4 口部部	n/a	灰青 灰白	○ ○	5	III	0.3～3mm の白・黑色砂粒合
30	61	388	CSD	C リンナ・中層・基 色粘土	勞生 土帶 (既耕)	林	U1-E	-	2.8 口部部	n/a	灰青 灰白	○ ○	5	III	0.3～1mm の純灰色砂粒合
30	24	389	CSD	C リンナ・下層・基 色粘土	勞生 土帶	水底 水底	U1-E	-	7.4 口部部	口部部：韌繊維直縞文	純灰 灰白	○ ○	10～ 15	IV-2	- 1mm 大石英・黃石含
30	64	390	CSD	C リンナ・中層・下 层	勞生 土帶	黑風面 0.1m	U1-E	-	5.0 口部部	口部部：韌繊維（4段）・n/a・内孔	灰青 灰白	○ ○	5	IV	
30	50	391	CSD	C リンナ・中層・基 色粘土	勞生 土帶	樹根處	U1-E	-	14.1 口部部	口部部：韌繊維（3条）、n/a n/a-韌波狀平行文、波狀文	灰青 灰白	○ ○	80	III～IV	0.3～1mm の黒・白色砂粒合
30	29	392	CSD	D1 層・黑色粘土	勞生 土帶	底口壺	U1-E	-	4.8 口部部	口部部：韌繊維直縞文、n/a n/a	灰青 灰白	○ ○	20	II	
30	47	393	CSD	C リンナ・D1 層・基 色粘土	勞生 土帶	底口壺	U1-E	-	9.7 口部部	口部部：韌繊維直縞文、n/a n/a	灰青 灰白	○ ○	20	III	0.3～0.8mm の黒・白色砂粒合
30	49	394	CSD	C リンナ・下層・基 色粘土	勞生 土帶	底口壺	U1-E	-	8.8 口部部	口部部：韌繊維直縞文、n/a n/a	灰青 灰白	○ ○	20	II～III	0.3～1mm の黒・白色砂粒合
30	48	395	CSD	C リンナ・D1 層・基 色粘土	勞生 土帶	底口壺	U1-E	-	6.4 口部部	口部部：韌繊維直縞文、n/a n/a	灰青 灰白	○ ○	20	II～III	0.3～1mm の黒・白色砂粒合
30	41	396	CSD	C リンナ・中層・下 层	勞生 土帶	底口壺	U1-E	-	4.5 口部部	口部部：韌繊維、口部：韌波狀平行 文（2段）	灰青 灰白	○ ○	5	III	0.3～2mm の黒・純灰色砂粒合
30	25	397	CSD	S 中～下層・0.1m	勞生 土帶	底口壺	U1-E	-	2.7 口部部	口部部：韌繊維、n/a	灰青 灰白	△ ○	3～5	II-1～ III-1	- 1mm 大砂粒や多、石英

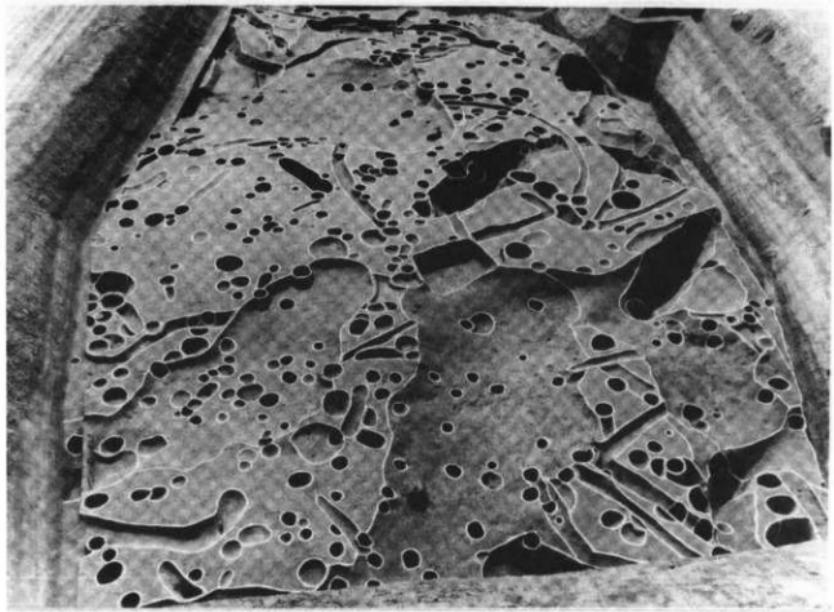
30	98	286	CSD C ハツナ - 中層～下 5 隅	野生 土植	小形広口壺	9.6	-	-	4.9	内	口部形：斜口・深緑、体部 直腹直縫文	灰白	灰白	○ ○	5	II	0.5～2mmの褐色沙粒多		
30	51	299	CSD C ハツナ - 下層・基 5 隅	野生 土植	広口壺	10.4	-	-	5.0	内	口部～32°、内	内	灰白	灰白	○ ○	5	II	0.3～1mmの基・白色砂粒多	
30	10	400	CSD C ハツナ - 中層	野生 土植	小形壺	(3.1)	-	-	6.6	内	口部～32°	内	にぶい 質感	淡黄褐	○ ○	10～ 16	II	長石・斜長石～1mm以内	
30	46	401	CSD C ハツナ - DI 層・高 5 隅	野生 土植	広口壺	16.0	-	-	6.5	内	口部～51°、内	内	灰白	灰白	○ ○	7	II	0.5～1mmの基・白色砂粒多	
30	9	402	CSD C ハツナ - 中下層 5 隅	野生 土植	広口壺	(2.7)	-	-	5.8	内	口部～32°	内	灰白	灰白	○ ○	5～ 10	II-3	～0.5mm大砂粒少、石英・霰晶多含	
30	5	403	CSD C ハツナ 2階・中 5 隅	野生 土植	広口壺	(5.1)	-	-	7.0	内	内	内	灰白	にぶい 質感	○ ○	15	II-3	～1mm以下石英・長石	
30	79	404	CSD C ハツナ - 下層・基 5 隅	野生 土植	広口壺	19.5	-	-	9.0	内	口部～57°、内	内	灰白	灰白	○ ○	10	I-4	0.5～3mmの白色砂粒多	
30	80	405	CSD C ハツナ - 下層・基 5 隅	野生 土植	広口壺	13.4	-	-	8.7	内	口部～57°、内	内	灰白	灰白	○ ○	10	I-3～ 10	0.3～3mmの黒色砂粒多	
30	81	406	CSD C ハツナ - 底下層 5 隅	野生 土植	広口壺	-	-	-	内	内	口部形：5底、内	内	灰白	灰白	○ ○	10	I-3～ 10	0.5～1.5mm	
30	66	407	CSD C ハツナ - 下層・基 5 隅	野生 土植	広口壺	19.6	-	-	10.0	内	口部～57°、32°、内	内	灰白	灰白	○ ○	10	II		
30	39	408	CSD C ハツナ - DI 層・高 5 隅	野生 土植	広口壺	19.2	-	-	8.0	内	内	内	灰白	灰白	○ ○	10	II	0.5～1mmの基白色砂粒多	
30	84	409	CSD C ハツナ - 下層・基 5 隅	野生 土植	広口壺	37.2	-	-	10.1	内	口部～57°	内	灰白	灰白	○ ○	5	I-3～ 10	0.3～1mm	
30	67	410	CSD C ハツナ - DI 層・高 5 隅	野生 土植	実	27.6	-	-	6.9	内	口部～32°	内	灰白	灰白	○ ○	5	II	0.3～3mmの白・薄灰色砂粒多	
30	87	411	CSD C ハツナ - DI 層・高 5 隅	野生 土植	広口壺	21.4	-	-	6.5	内	内	内	灰白	灰白	○ ○	5	II-III	0.3～1.5mmの褐灰色砂粒	
30	87	412	CSD C ハツナ - DI 層・高 5 隅	野生 土植	広口壺	24.0	-	-	6.7	内	口部(内)	内	灰白	灰白	○ ○	5	II-III	0.5～1.5mmの褐灰色砂粒多	
31	27	413	CSD C ハツナ - 底下層 5 隅	野生 土植	広口壺	(1.6)	-	-	7.7	内	口部～32°	内	灰白	灰白	○ ○	10	II-2	～2mm大長石・石英・斜長石少	
31	102	414	CSD C ハツナ - 下層・高 5 隅	野生 土植	広口壺	16.4	-	-	4.6	内	口部形：口幅較大：内	内	灰白	灰白	○ ○	5	II	0.3～1mmの基白色砂粒	
31	85	415	CSD C ハツナ - 下層・高 5 隅	野生 土植	広口壺	17.4	-	-	7.3	内	口部～57°	内	灰白	灰白	○ ○	10	I-4～ 11	0.3～2mmの灰白色砂粒	
31	38	416	CSD C ハツナ - 下層・高 5 隅	野生 土植	広口壺	20.6	-	-	7.4	内	口部(2.5～ 4.0cm)の内	内	灰白	灰白	○ ○	10	II	0.3～2mmの褐灰・褐褐色砂粒多	
31	40	417	CSD C ハツナ - DI 層・高 5 隅	野生 土植	広口壺	18.0	-	-	6.5	内	口部、液状文	内	灰白	灰白	○ ○	20	II	0.3～2mmの基・白色砂粒多	
31	43	418	CSD C ハツナ - DI 層・高 5 隅	野生 土植	広口壺	15.3	-	-	8.5	内	内	内	灰白	灰白	○ ○	40	III-IV VI-17	0.3～1mmの褐灰色・白色砂粒多含	
31	88	419	CSD C ハツナ - DI 層・高 5 隅	野生 土植	広口壺	29.0	-	-	7.6	内	内	内	灰白	灰白	○ ○	10	II	0.3～1mmの白色砂粒多	
31	54	420	CSD C ハツナ - DI 層・高 5 隅	野生 土植	広口壺	24.0	-	-	7.1	内	口部～32°	内	灰白	灰白	○ ○	15	II-IV	0.3～3mmの褐色沙粒多含	
31	56	421	CSD C ハツナ - DI 層・高 5 隅	野生 土植	広口壺	21.6	-	-	11.7	内	内	内	灰白	灰白	○ ○	15	II-IV	0.3～3mmの褐灰色砂粒多	
31	51	422	CSD C ハツナ - DI 層・高 5 隅	野生 土植	広口壺	20.3	-	-	8.2	内	内	内	灰白	灰白	○ ○	7	II-2	0.3～1mmの基・白色砂粒多	
31	109	423	CSD C ハツナ - 下層・高 5 隅	野生 土植	広口壺	-	-	-	23.7	内	(深)(浅)	内	灰白	灰白	○ ○	50	I-3～4	0.5～2mmの白色砂粒多	
31	69	424	CSD C ハツナ - 5 重下層 5 隅	野生 土植	広口壺	33.2	-	-	18.0	内	口部～51°～57°	内	口部形：斜口・深緑、体部 直腹直縫文	灰白	灰白	○ ○	40	I-4～ 12	0.3～1mmの基白色砂粒多
31	58	425	CSD C ハツナ - 下層・高 6 隅	野生 土植	広口壺	29.0	-	-	8.2	内	口部～57°	内	灰白	灰白	○ ○	5	II	0.3～2mmの白・黑色砂粒多	
31	55	426	CSD C ハツナ - DI 層・高 5 隅	野生 土植	広口壺	31.2	-	-	11.5	内	口部～57°～58°	内	灰白	灰白	○ ○	20	II-3	0.5～2mmの白・褐灰色砂粒多	
31	57	427	CSD C ハツナ - 下層・高 5 隅	野生 土植	広口壺	37.2	-	-	6.5	内	口部～32°	内	灰白	灰白	○ ○	5	II	0.3～2mmの白・黑色砂粒多	
31	58	428	CSD C ハツナ - DI 層・高 5 隅	野生 土植	広口壺	36.3	-	-	10.1	内	内	内	灰白	灰白	○ ○	10	I-4	0.3～2mmの白・褐灰色砂粒多	
31	110	429	CSD C ハツナ - 下層・高 5 隅	野生 土植	広口壺	(26.2)	-	-	(30.0)	内	口部：内～57°、内 底盤：深褐色(暗緑)～(一部)淡褐色(3色)、内 下部：内	内	底盤：深褐色 内	底盤：深褐色 内	○ ○	10	II	長石・斜長石1mm前後砂粒やや含	
31	44	430	CSD C ハツナ - DI 層・高 5 隅	野生 土植	有孔隠葉	32.1	-	-	5.1	内	内	内	灰白	灰白	○ ○	5	III-17	0.3～1mmの基・白色砂粒多	
31	59	431	CSD C ハツナ - 下層・高 5 隅	野生 土植	広口壺	29.6	-	-	12.8	内	内	内	灰白	灰白	○ ○	10	II	0.3～1.5mmの褐灰色砂粒多	
31	30	432	CSD C ハツナ - 薩摩灰土 5 隅	野生 土植	実	(11.3)	-	-	7.7	内	口部～32°	内	底盤：深褐色 内	底盤：深褐色 内	○ ○	10	II	0.5mm次の白色・長石・石英を若干含む	
31	96	433	CSD C ハツナ - DI 層・高 5 隅	野生 土植	実	12.8	-	-	7.0	内	内	内	灰白	灰白	○ ○	60	II	0.3～1mmの白・黑色砂粒少含、表面すり付層	
31	95	434	CSD C ハツナ - 中層～下 5 隅	野生 土植	実	14.0	-	-	6.3	内	口部～57°	内	底盤：深褐色 内	底盤：深褐色 内	○ ○	6	II	0.3～2mmの褐灰色砂粒多	
31	71	435	CSD C ハツナ - DI 層・高 5 隅	野生 土植	実	17.5	-	-	8.5	内	内	内	灰白	灰白	○ ○	10	II-2	0.3～1mmの基白色砂粒多	
31	15	436	CSD C ハツナ - 中層	野生 土植	小形實	(27.0)	-	-	3.9	内	内	内	底盤：深褐色 内	底盤：深褐色 内	○ ○	5～7	II-2	～0.5mm大砂粒少、薄葉狀	
31	17	437	CSD C 中～下層・DI 層	野生 土植	實	(16.0)	-	-	6.2	内	内	内	にぶい 質感	底盤	○ ○	5	II-	～0.6mm大砂粒少、外側 壊れ多且付層	

31	3 439	CSE	Cリンドウ・下部・基 色粘土	寄生 土器	裏	117.0	-	5.5 ~	カバーリング アート	アート→329°	にぶい 硬度	にぶい 硬度	△ ○	5~7	II~2~3	~1m 砂粒や多 孔	
31	13 439	CSE	Cリンドウ・中~下部・基 色粘土	寄生 土器	裏	116.0	-	6.6 ~	カバーリング アート	アート	灰白	灰白	△ ○	5~7	II~	1~2m 大長石・斜長石や多 孔	
31	82 440	CSE	Cリンドウ・下部・基 色粘土	寄生 土器	裏	116.0	-	8.0 ~	カバーリング アート	アート	灰白	灰白	○ ○	10	II~1	0.2~2m の褐色砂粘土、表面すす付着	
31	6 441	CSE	Cリンドウ・下部・基 色粘土	寄生 土器	裏?	117.0	-	9.7 ~	アート	アート→329°	にぶい 硬度	にぶい 硬度	○ ○	25	II~3	~1m 長石・斜長石	
31	77 442	CSE	Cリンドウ・D1 層・基 色粘土	寄生 土器	裏	116.0	-	8.0 ~	カバーリング アート	アート	灰白	灰白	○ ○	10	II	0.3~2m の墨緑色砂粘土、表面すす付着	
31	92 443	CSE	Cリンドウ・下部・基 色粘土	寄生 土器	裏	8.1	-	4.8 ~	カバーリング アート	アート→329°	灰白	灰白	○ ○	10	II	0.5~2m の褐灰色白砂粘土	
31	14 444	CSE	Cリンドウ・中層・基 色粘土	寄生 土器	裏	115.0	-	5.9 ~	カバーリング アート	アート	-	-	△ ○	5~7	II~2~ III~1	~1m 大砂粒や多、長石・斜長石・石英	
31	93 445	CSE	Cリンドウ・中層・基 色粘土	寄生 土器	裏	114.0	-	3.8 ~	カバーリング アート	カバーリング アート	灰白	灰白	○ ○	10	II	0.3~1m の褐灰色砂粘土	
32	16 446	CSE	Cリンドウ・中~下部・基 色粘土	寄生 土器	裏	116.0	-	4.8 ~	アート	アート→329°	-	-	△ ○	3~5	-	~0.5m 大砂粒や多	
32	94 447	CSE	Cリンドウ北側底内・ S 中層・基色粘土	寄生 土器	裏	117.0	-	4.4 ~	カバーリング アート	アート→329°	灰白	灰白	○ ○	5	II	0.5~2m の砂粘少含	
32	89 448	CSE	Cリンドウ・中層・基 色粘土	寄生 土器	裏	116.0	-	7.3 ~	カバーリング アート	アート	灰白	灰白	○ ○	5	II	0.5~2m の白灰色砂粘土	
32	11 449	CSE	Cリンドウ・中~下部・基 色粘土	寄生 土器	裏	118.0	-	5.6 ~	カバーリング アート	アート→329°	渋青碧 ・塊状	灰白	○ ○	5~7	II~III~ IV~V	~1m 大砂粒少含	
32	12 450	CSE	Cリンドウ・D1 層・基 色粘土	寄生 土器	裏	119.0	-	9.2 ~	□ カバーリング アート	□ カバーリング アート→329°	灰白～ 淡黄	灰白～ 淡黄	○ ○	25	II~III~ IV~V	~1m 大砂粒や多	
32	73 451	CSE	Cリンドウ・下部・基 色粘土	(深浮型 A)	裏	118.0	-	13.0 ~	カバーリング アート	アート→329°	灰白	灰白	○ ○	20	E	0.5~1m の黒風化砂粘土、表面すす付着 (多量)	
32	80 452	CSE	Cリンドウ・D1 層・基 色粘土	寄生 土器	裏	118.0	-	7.2 ~	カバーリング アート	アート→329°	灰白	灰白	○ ○	5	II	0.5~1m の褐灰色砂粘土	
32	83 453	CSE	Cリンドウ・下部・基 色粘土	寄生 土器	裏	119.0	-	6.1 ~	カバーリング アート	アート→329°	灰白	灰白	○ ○	10	II	0.3~1m の白色砂粘土	
32	91 454	CSE	Cリンドウ・下部・基 色粘土	寄生 土器	裏	128.0	-	6.7 ~	カバーリング アート	アート→329°	灰白	灰白	○ ○	5	II	0.5~4m の褐灰色砂粘土	
32	78 455	CSE	Cリンドウ・D1 層・基 色粘土	寄生 土器	裏	20.0	-	8.5 ~	カバーリング アート	アート→329°	灰白	灰白	○ ○	10	II~III~ IV~V	0.3~1m の黒風化砂粘土	
32	7 456	CSE	Cリンドウ第2・中 S 黑色粘土	寄生 土器	裏	110.0	-	13.9 ~	カバーリング アート	アート	灰白	灰白	△ ○	-	II~2	~2m 大砂粒や多、挟持 A型	
32	8 457	CSE	Cリンドウ・D1 層・基 色粘土	寄生 土器	底口盤	118.0	-	7.0 ~	カバーリング アート	アート	灰白・灰 黑色	灰白・灰 黑色	x	5~7	II~III	1~3m 大砂粒多含	
32	70 458	CSE	Cリンドウ・D1 层・基 色粘土	寄生 土器	裏	20.0	-	9.8 ~	カバーリング アート	カバーリング アート→329°	灰白	灰白	○ ○	10	I~4~ II~1	0.3~1.5m の褐灰色砂粘土	
32	76 459	CSE	Cリンドウ・下部・基 色粘土	寄生 土器	裏	20.2	-	10.3 ~	カバーリング アート	アート→329°	灰白	灰白	○ ○	15	II~III~ IV~V	0.3~1m の褐灰色砂粘土	
32	104 460	CSE	Cリンドウ・D1 層・基 色粘土	寄生 土器	裏	22.0	-	7.8 ~	カバーリング アート	カバーリング アート	灰白	灰白	○ ○	5	II	0.5~1m ~2~4m の褐灰色砂粘土、小石含	
32	100 461	CSE	Cリンドウ・中層・基 色粘土	寄生 土器	裏	22.0	-	8.0 ~	□ カバーリング アート	□ カバーリング アート→329°	灰	黑	○ ○	10	II	0.5~1m の白色砂粘土	
32	4 462	CSE	Cリンドウ・中~下部・基 色粘土	寄生 土器	裏	25.0	-	9.2 ~	カバーリング アート	アート	橙・淡 黄色	橙・淡 黄色	△ ○	10	II	~2m 砂粒や多	
32	1 463	CSE	Cリンドウ・D1 層・基 色粘土	寄生 土器	裏	22.0	-	4.5 ~	□ カバーリング アート	□ カバーリング アート→329°	灰白	灰白	○ ○	5	II~2	~0.5m 石英・長石少含	
32	2 464	CSE	Cリンドウ第2・中 S 黑色粘土	寄生 土器	裏	05.0	-	6.7 ~	カバーリング アート	アート	淡黄 ・灰 黑色	淡黄 ・灰 黑色	○ ○	5	II~2	~0.5m 石英・長石少含	
32	21 465	CSE	Cリンドウ第2・中 S 黑色粘土	寄生 土器	裏	01.0	-	6.6 ~	カバーリング アート	カバーリング アート→329°	灰白	灰白	○ ○	5	II~2	~1.5m の褐灰色砂粘土	
32	25 466	CSE	Cリンドウ・D1 層・基 色粘土	寄生 土器	裏	04.0	-	8.7 ~	カバーリング アート	カバーリング アート→329°	渋青碧 ・塊状	渋青碧 ・塊状	△ ○	7	II~2	~2m 大砂粒や多含、長石・石英 etc	
32	22 467	CSE	D1 層・黑色粘土	寄生 土器	裏	08.0	-	12.3 ~	カバーリング アート	カバーリング アート→329°	渋青碧 ・塊状	渋青碧 ・塊状	△ ○	10	-	0.5~1m 大砂粒や多、長石・石英 etc	
32	23 468	CSE	D1 層・黑色粘土	寄生 土器	-	10.0	-	13.7 ~	カバーリング アート	カバーリング アート→329°	-	-	○ ○	-	-	-	
32	103 469	CSE	Cリンドウ・下部・基 色粘土	寄生 土器	裏	36.4	-	6.1 ~	カバーリング アート	アート	灰白	灰白	○ ○	5	II	0.5~2m の白色砂粘土	
32	75 470	CSE	Cリンドウ・D1 層・基 色粘土	寄生 土器	裏	34.2	-	11.9 ~	カバーリング アート	カバーリング アート→329°	口唇：測定文、口縁一部破 アート	灰白	灰白	○ ○	5	II	1~2.5m の褐灰色砂粘土
32	74 471	CSE	Cリンドウ・中層・基 色粘土	寄生 土器	裏	29.7	-	6.5 ~	カバーリング アート	アート	灰白	灰白	○ ○	5	II	0.3~1m の白色砂粘土	
32	18 472	CSE	D1 層・黑色粘土	寄生 土器	裏	04.0	-	9.5 ~	カバーリング アート	アート	灰白	灰白	○ ○	5~7	II~3	0.5~1m 大砂粒や多	
32	19 473	CSE	D1 層・黑色粘土	寄生 土器	裏	05.0	-	9.0 ~	カバーリング アート	カバーリング アート→329°	灰白	灰白	△ ○	5~7	-	~2m 大砂粒多、長石・石英ほか	
32	20 474	CSE	D1 層・黑色粘土	寄生 土器	裏	04.0	-	7.0 ~	カバーリング アート	カバーリング アート→329°	灰白	灰白	○ ○	5	-	長石ほか0.5m 大砂粒多	
32	31 475	CSE	Cリンドウ・中層・基 色粘土	寄生 土器	高坪	-	12.9	11.6	□ カバーリング アート	□ カバーリング アート	灰白	灰白	○ ○	60	II~2	0.3~1m の基・白・灰褐色砂粘合	
32	33 476	CSE	Cリンドウ・下部・基 色粘土	寄生 土器	高坪	-	12.2	16.0	評定：アート4、 剥離：アート1	ローコン：アート4	灰白	灰白	○ ○	60	II~2	0.3~1.5m の基・白色砂粘合	
32	32 477	CSE	Cリンドウ・下部・基 色粘土	寄生 土器	高坪	23.7	-	6.9 ~	カバーリング アート	カバーリング アート	灰白	灰白	○ ○	10	II~3	0.3~2m の基・白色砂粘合	

32	479	CSD 5	D1 層・黑色粘土 生土層	高井# 錄 (31.4)	-	-	8.1 ~	59°→52° 52°→51° 51°→52°	59° 51° 52°	灰白 灰白	○ ○	10	II-3 II-1	1~2mm 大長石・石英や多孔	
32	479	CSD 5	C16シヤ・D1 層・黑 色粘土 生土層	録 26.8	-	-	5.2 ~	59°→52° 52°→51° 51°→52°	59° 51° 52°	灰白 灰白	○ ○	5	II	0.3~1mm の黒・白色砂粒合	
33	480	CSD 5	C16シヤ・D1 層・黑 色粘土 生土層	録 9.7	-	-	7.0 ~	59°→51° 51°→52°	59° 51° 52°	灰白 灰白	○ ○	10	II-3	0.3~1mm の黒褐色砂粒合	
33	724	CSD 5	C16シヤ・D1 層・黑 色粘土 生土層	録 25.0	-	-	8.3 ~	59°→51° 51°→52°	59° 51° 52°	灰白 灰白	○ ○	10	II	0.3~1mm の褐色砂粒	
33	35482	CSD 5	生土層	録	-	-	5.8 8.0	59° 59°	59° 59°	灰白 灰白	○ ○	80	II	0.3~1mm の黒・白色砂粒合	
33	101483	CSD 5	C16シヤ・D1 層・黑 色粘土 生土層	録 24.7	-	-	5.0 ~	59° 59°	59°→52° 52°→51°	灰白 灰白	○ ○	5	II	黒斑あり	
33	34486	CSD 5	C16シヤ・下層・黑 色粘土 生土層	録 7.0	-	-	3.7 9.0	59° 59°	59°→52° 52°→51°	灰白 灰白	○ ○	97	II-(1) 2	0.5~1mm の深褐色、51°砂粒合	
33	53485	CSD 5	C16シヤ・剖層・黑 色粘土 生土層	録 2.3	-	-	5.2 ~	59° 59°	59°	灰白 灰白	○ ○	70	II-2	0.3~1mm の黒・白色砂粒合	
33	63486	CSD 5	C16シヤ・中層一下 生土層	録 30.2	-	-	7.9 ~	59° 59°	失羽根状・株子目立	灰白 灰白	○ ○	5	IV	0.3~0.5mm の黒褐色砂粒多	
33	1487	CSD 7	C16シヤ・褐灰色土 生土層	広口壺 (8.0)	-	-	3.4 ~	59° 59°	59°	にない にない 黄緑	○ ○	10	-	~0.5mm 大白色砂少~中	
33	8488	CSD 7	C16シヤ・下層 生土層	広口壺 (11.0)	-	-	7.7 ~	59° 59°	口: 茎縁、59°	にない にない 黄緑	○ ○	15	II-	表石・斜長石・0.5mm 大少	
33	7489	CSD 7	C16シヤ・下層・薄 皮土	広口壺 (21.2)	-	-	8.7 ~	口: 59° 59°	口: 壁面粗面、口: 59°	細粒 口: 黄 色、体: △	△	5	II-2	0.5~2mm 大砂粒や多孔	
33	4490	CSD 7	C16シヤ・下層 生土層	水槽 (21.7)	-	-	8.9 ~	59° 59°	口: 回転文 4 条、59°	にない にない 黄緑	△	5	VI-	0.5~1mm 大砂粒多	
33	34891	CSD 7	C16シヤ・下層 生土層	広口壺 (16.4)	-	-	4.7 ~	59° 59°	59°	にない にない 黄緑	△	5	II-7	~2mm 大白色・褐色砂粒・全濃度・黄褐色多	
33	54892	CSD 7	C16シヤ・下層 生土層	裏 (21.0)	-	-	8.4 ~	59° 59°	59°	にない にない 黄緑	△	5	II-2	1~2mm 大長石・斜長石・石英・砂粒多	
33	2493	CSD 7	C16シヤ・下層・薄 皮土	録 (20.5)/ (11.6)	-	-	4.8 ~	59° 59°	59°→51°→59°	浅黄緑 浅黄緑	○ ○	20	-	~0.3mm 大白色少	
33	7494	CSD 5	C16シヤ第1・西北側 表中央・砂質	生土層	11.8	-	-	4.7			灰 灰	○ ○			0.2~1mm の白色砂粒合
33	105495	CSD 5	C16シヤ	生土層	押壓 12.9	-	-	3.5 ~	59°目	59°目	灰白 灰白	○ ○	5	TK23~TK47 ~TK15 TK26~TK38	時間: 5c 束~6c 前
33	105496	CSD 5	C16シヤ	生土層	底 (14.0)	-	-	5.0 ~	59°目	底部偏紅59°	灰白 灰白	○ ○	40	TK23~ TK47	0.5~1mm の濃色砂粒合
33	1497	CSD 5	C16シヤ・CSD-01 及 びCSD-02 表層 (生土層)	生土層	8.3	-	-	2.9			灰白 灰白	○ ○			0.1~0.5mm の黒・白色砂粒合白色砂粒合
33	6498	CSD 5	C16シヤ第1・西北側 表中央・砂質	生土層	10.0	-	-	5.3			灰 灰	○ ○			0.2~2mm の白色砂粒合
33	3499	CSD 5	C16シヤ・にない表 色土	生土層	10.4	-	-	4.6			灰白 灰白	○ ○			0.1~0.5mm の黒・白色砂粒合
33	2500	CSD 5	C16シヤ・CSD-01 及 びCSD-02 表層 (生土層)	生土層	12.9	-	-	3.1			灰 灰	○ ○			0.1~2mm の白色砂粒少
33	106501	CSD 5	C16シヤ	有茎高岡 (序種)	(31.4)	-	-	4.6 ~	59°目	59°目	灰 灰	○ ○	5	TK23~ TK47	0.3mm 以下の白色少砂粒少木、内部: 赤褐色
33	8502	CSD 5	C16シヤ第1・西北側 表中央・砂質	生土層	10.1	-	-	3.7			灰白 灰白	○ ○			0.1~1mm の白褐色砂粒合
33	68503	CSD 5	C16シヤ (下の土状 化層)	生土層	10.75	-	-	1.6 ~	59° 59°	59°	灰白 灰白	○ ○	65	12c 使~ 13c 使 (中段)	0.5mm の褐色砂粒合
33	4504	CSD 5	C16シヤ第1・西北側 表中央・砂質	生土層	10.1	-	-	8.45 9.4				○ ○			0.2~1mm の黒・白色砂粒合
33	5505	CSD 5	C16シヤ第1・西北側 表中央・砂質	生土層	10.2	-	-	8.95			灰白 灰白	○ ○			0.2~3mm の白色砂粒合、底部にすかし窓3ヶ所あり
33	107506	CSD 5	C16シヤ	有茎高岡 (序種)	-	-	-	8.7 4.8	59°目	59°目	灰白 灰白	○ ○	10	TK23~ TK47	0.3mm の黒白色砂粒少
33	9507	CSD 5	C16シヤ・7m 内 -15	生土層	13.5	-	-	8.6			灰白 灰白	○ ○			0.2~3mm の白・褐灰色砂粒合
33	10508	CSD 5	C16シヤ・7m 内 -15	生土層	13.5	-	-	9.5			灰白 灰白	○ ○			0.2~3mm の白・褐灰色砂粒合

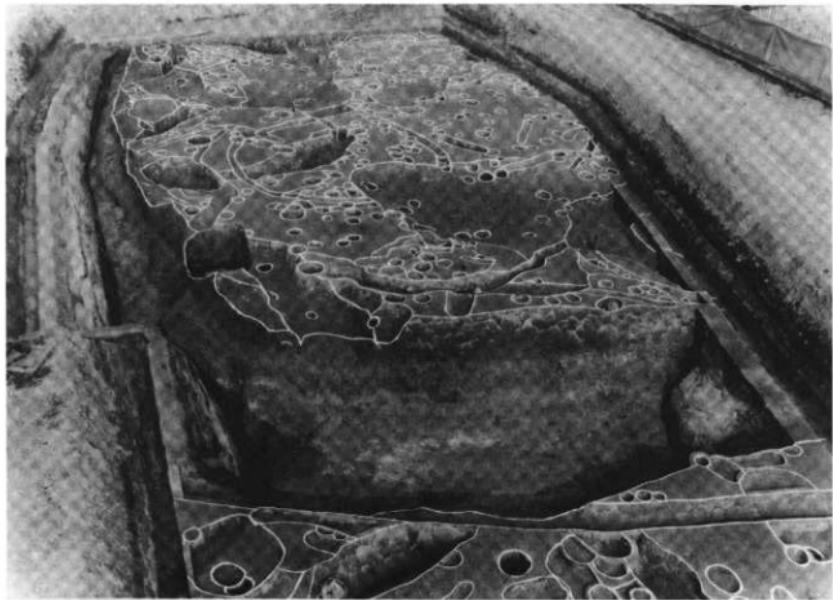


A トレンチ南半部全景（北から）



A トレンチ北半部全景（北から）

第35図 東奈良遺跡（HN06-3）発掘写真（1）

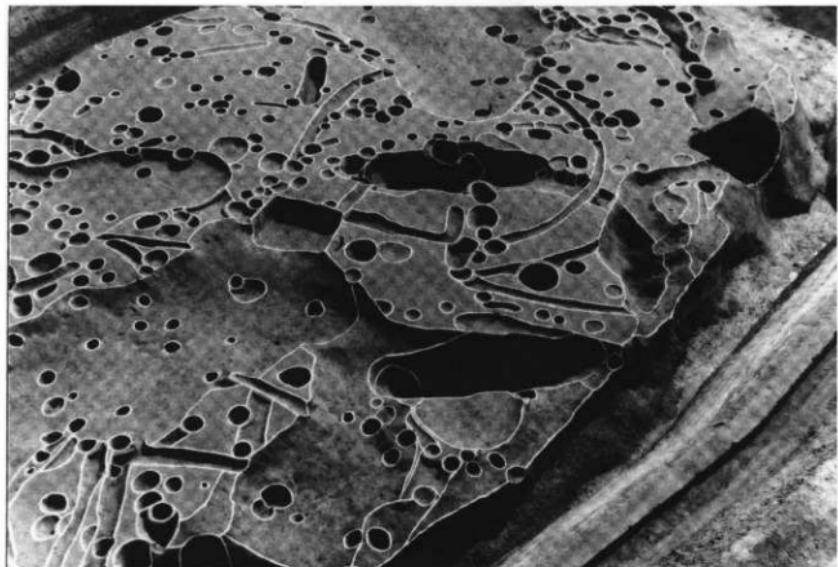


A トレンチ北半部全景（南から）

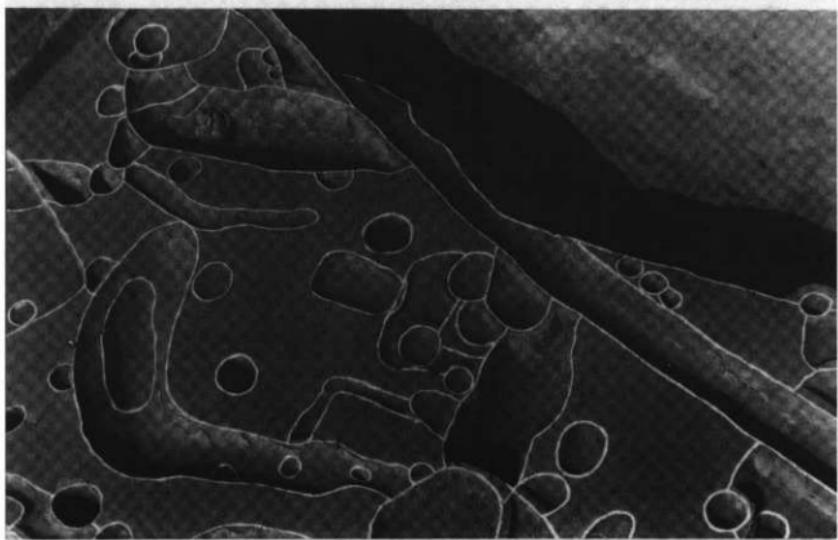


A トレンチ南半部全景（東から）

第36図 東奈良遺跡（HN06-3）発掘写真（2）

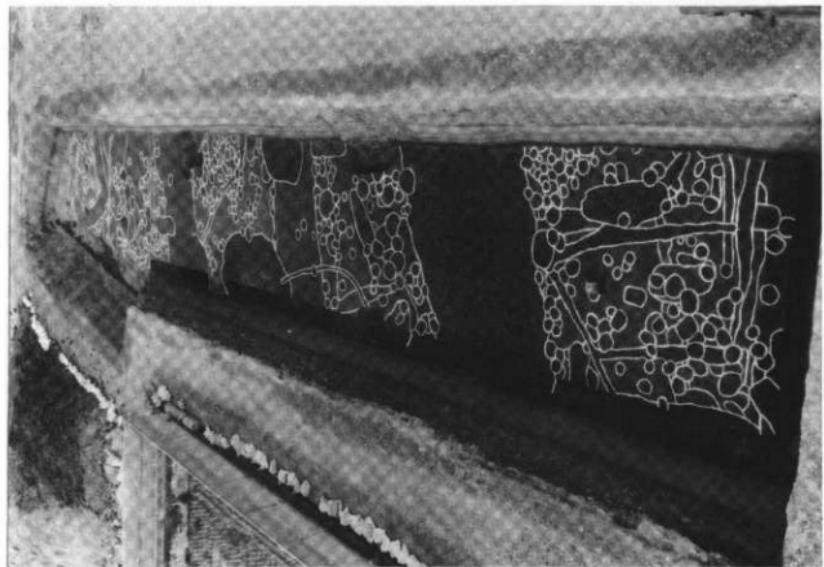


A トレンチ全景（北西から）

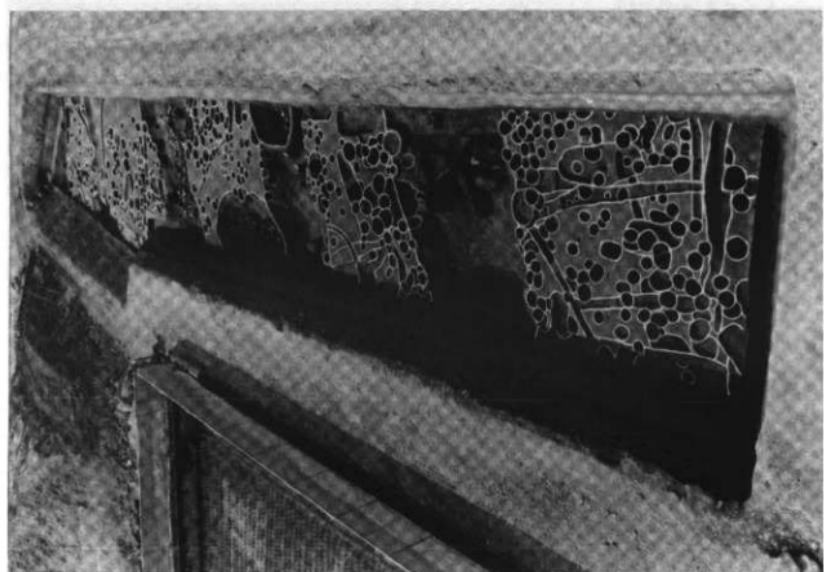


A トレンチ方形周溝墓4全景（南から）

第37図 東奈良遺跡（HN06-3）発掘写真（3）

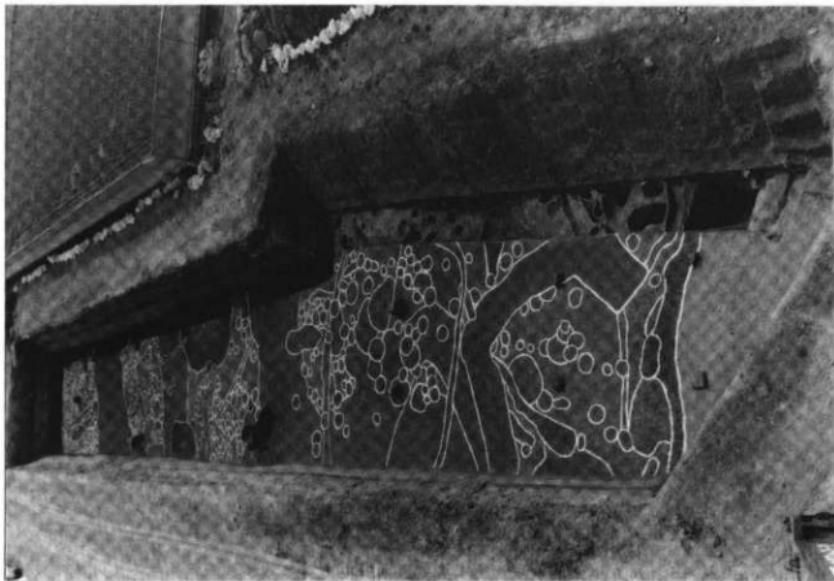


B トレンチ第2面検出状況全景（東から）

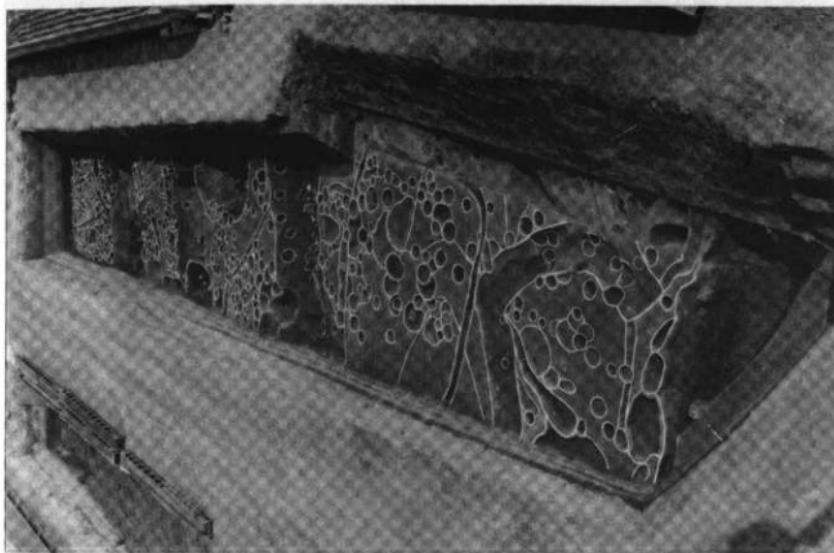


B トレンチ第2面完掘状況全景（東から）

第38図 東奈良遺跡（HN06-3）発掘写真（4）

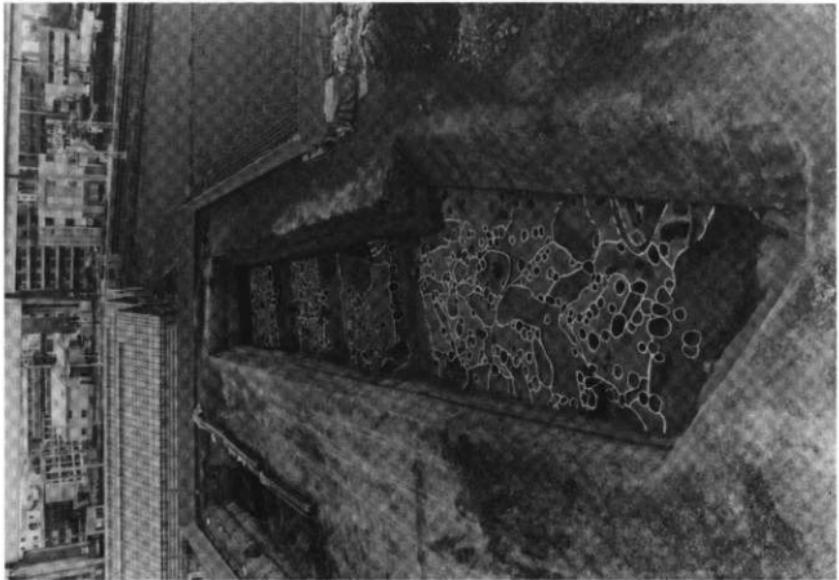


B トレンチ第2面検出状況全景（西から）

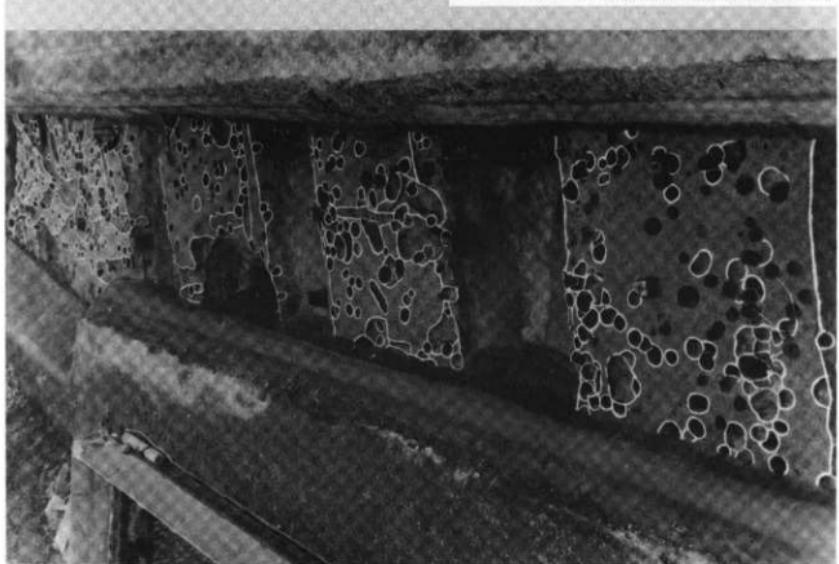


B トレンチ第2面完掘状況全景（西から）

第39図 東奈良遺跡（HN06-3）発掘写真（5）



B トレンチ第3面完掘状況遠景（西から）



B トレンチ第3面完掘状況全景（東から）

第40図 東奈良遺跡（HN06-3）発掘写真（6）